

DP-V1710 DP-V1711

動画ディスプレイ

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、この使用説明書はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

使用説明書

日本語

目次

2 はじめに 3

- 本書について 3
- 商標 3
- 規格 3
- 付属品の確認 4

安全上のご注意 5

取り扱い上のご注意 9

本機の特長 11

各部名称 12

設置／接続のしかた 15

- 本機を持ち運ぶ 15
- キャリングハンドルを取りはずす 15
- 保護板を取り付けるープロテクトパネルPP-17U (別売)ー 16
- スタンドを取りはずす／取り付ける 17
- 転倒・落下防止の処置をする 18
- 本機をスタンドや壁に取り付ける 19
- 本機を19インチラックに取り付けるーラックマウント金具RB-02(別売)ー 20
- 本機と入力機器を接続する 22

電源の入れかた 24

- 本機の電源を入れる 24
- 付属のAC電源コードランプHC-01を取り付ける／取りはずす 25

操作のしかた 26

- OSDメニューの基本操作 26
- 映像全体を見ながら画質を調整する 27
- 調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定) 29
- ズーム表示を調整する 29
- 入力信号に応じて自動的に画質を切り換える 30
- 画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード) 31
- 画像の表示エリアを変更する 31
- キャリブレーションを行う 32
- エクスポート／インポートする 33

- 日時を設定する 35
- 文字を入力する 36
- ファンクション(F)ボタンを使う 36
- チャンネル(CH)ボタンを使う 37
- 信号情報や本機の状態を確認する 40
- 外部機器を使って本機を操作する [REMOTE端子(GPI)] 40
- 外部機器を使って本機を操作する [LAN端子] 41
- 外部機器を使って本機を操作する [USB端子：Wi-Fi接続] 42
- Webブラウザを使って本機をリモート操作する 43

OSDメニュー 45

- OSDメニューインデックス 45
- 画質設定 49
- チャンネル設定 64
- ディスプレイ設定 69
- オーディオ設定 72
- マーカー設定 73
- ファンクション設定 78
- ピクチャーファンクション設定 87
- システム設定 90
- シグナルインフォメーション 98
- システムインフォメーション 98

主な仕様／性能 99

- 外形寸法 101

付録 103

- 対応信号フォーマット 103
- 画像・フレーム表示 118

エラーメッセージ 121

こんなときは 124

保証書とアフターサービス 127

修理について 128

本機で使用しているソフトウェアについて 129

索引 134

はじめに

このたびは、動画ディスプレイDP-V1710 / DP-V1711をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご購入時、本機のOSD(On Screen Display)メニューや表示されるメッセージは、英語表記になっています。必要に応じて、OSDメニューで言語を切り換えてください(90)。

本書について

本書で使用しているイラストは、DP-V1710です。本書では、見やすくするために加工した画面を一部、使用しています。

本文中の表記

📖 : 参照ページを示します。

🔍 参考 : 参考情報を示します。

📌 メモ : 知っておいていただきたいことを示します。

⚠️ ご注意 : 守っていただきたいことを示します。

[MENU] ➡ **[画質設定]** ➡ **[ピクチャーモード]** : MENUボタンを押し、OSDメニューの階層を移動して項目を選ぶことを示します。

OPTION : 有償ライセンスの適用によって、使用できる機能です。

商標

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPA2は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Apple、Safariは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

規格

DP-V1710

この装置はクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

DP-V1711

この装置はクラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

本機はJIS C 61000-3-2適合品です。

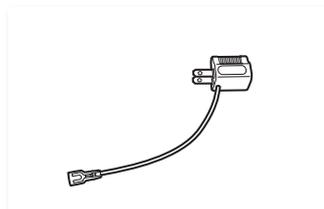
付属品の確認

本機には、次の物が付属されています。ご使用になる前にお確かめください。

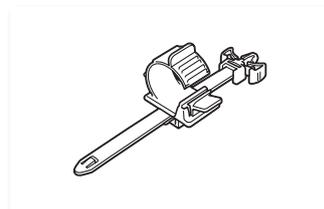
4



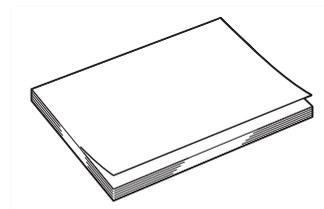
AC電源コード HT-20



電源プラグアダプター PU-01
(二芯変換アダプター)



AC電源コードクランプ
HC-01



使用説明書
(本書)

安全上のご注意

安全上の注意を表す記号

本書で使用している記号について説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次の記号を使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または重症を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、火災の発生が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
   	これらの記号は、行ってはいけない行為(禁止事項)を示しています。
禁止 接触禁止 分解禁止 ぬれ手禁止	
  	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。
強制 アース線を接続する 電源プラグを抜く	

 警告		 	
	ディスプレイを分解・改造しない。 内部には高電圧・高温・可動部があり、火災や感電、やけど、けがの原因となります。内部の点検・整備は販売店にご依頼ください。		正しい電源電圧で使用する。 指定の電源電圧以外で使用すると火災や感電の原因となります。 本製品付属(指定)のAC電源コードをご使用ください。また、このAC電源コードは、安全のため他の機器には使用できません。
	異物を入れない。液体を置かない。 本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。 万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、販売店にご相談ください。		DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけない。 DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけると火災や感電の原因となることがあります。



次のような場所で使用しない。

火災や感電、故障の原因となります。

- 雨天や積雪中の窓際
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- 可燃性ガスのある環境
- 直射日光の当たる場所

直射日光の当たる場所に設置・保管しない。

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない。

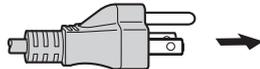
電源コードに重い物をのせる、引っ張る、加工する、加熱する、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損(芯線の露出、断線など)し、火災や感電の原因となります。

アース付き3ピンプラグの場合

アースを接続する。

アースが接続されないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。

本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。

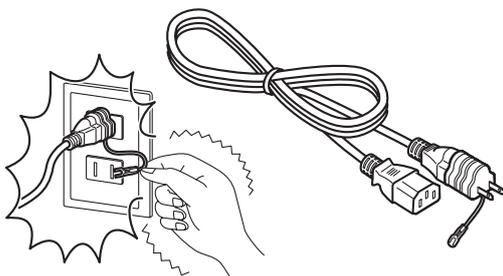


付属の電源プラグアダプター(二芯変換アダプター)を使用する場合

電源コードの取り扱いについて

以下の点にご注意ください。感電またはけがの原因となります。

- 電源コードのアース端子を必ずアースに接続してください。アース端子を接続しないと感電の原因となります。
- アース端子の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース端子をはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



雷が鳴り出したら、電源プラグや電源コードには触れない。

感電の原因となります。



ぬれた手で電源プラグをさわらない。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



電源および電源プラグの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグを抜くときはプラグ部分を持ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついて火災や感電の原因となります。
- 電源プラグはほこりなどが付着しないように定期的に清掃してください。
- 電源プラグの周囲に物を置かないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源プラグを抜く。

本製品は精密機器です。そのまま使用を続けるとショートして、火災や感電の原因となります。販売店にご相談ください。

お手入れの際は、電源を切り、電源プラグを抜く。

感電の原因となることがあります。



異常現象(煙、異音、においなど)が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜く。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。販売店へご相談ください。

本製品の移動や取り付け・取りはずし、周辺機器との接続の際は、本製品に接続している機器および本製品の電源を切り、電源プラグを抜く。

火災や感電、故障の原因となります。

**設置および取り扱い上のご注意**

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。

いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かない。

万一、本製品に異常が起きたとき、すぐに電源プラグが抜けないと、火災や感電の原因となることがあります。



通気孔をふさがない。

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 密閉された狭い場所に押し込めないでください。
- 布などで包まないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

警告

画面が破損して漏れた液晶(液体)には、触れない。

誤って液晶パネルを破損し、中の液晶(液体)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水ですすいでください。また、皮膚や衣服についた場合は、すぐにアルコールなどでふき取り石鹸で洗い流してください。付着したまま放置すると、皮膚や衣服を傷めることがあります。



本製品のキャリングハンドルを使って持ち運ぶ。

本製品を持ち運ぶときは、必ずキャリングハンドルを使ってください。本製品が落下して、けがの原因となることがあります。

梱包用の袋は子供の手の届かない場所に保管する。

梱包用の袋をかぶったりすると、窒息の原因となります。

 **注意**

本製品の上に物を置いたり、上に乗ったりしない。

倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



不安定な場所に設置しない。

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。

転倒・落下防止の対策をする。

地震の場合などに倒れる恐れがあります。安全のため、スタンドを固定するなど、必ず転倒・落下防止処置をしてください(18)。転倒・落下防止対策は、けがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。



本機を設置するときは、指定手順に従って行う(15)。

設置が正しく行われないと、本機が傾いたり落下したりすることにより、けがの原因となることがあります。

一年に一度程度、取り付け状態を点検する。取り付け状態に不備があると、落下してけがの原因になります。



キャリングハンドルの取り付け状態を、定期的に点検する。

キャリングハンドルの取り付けネジがゆるんでいたり、破損していたりすると、本製品が落下して、けがの原因となることがあります。

キャリングハンドルは確実に取り付ける。

一度はずしたキャリングハンドルの取り付けネジは、確実に締めつけてください。本製品が落下して、けがの原因となることがあります。

ヘッドホン使用時には音量を上げすぎない。

ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



長時間、画面を見続けない。

目が疲れたり、視力低下の原因となることがあります。画面を見続ける場合は、定期的に休憩をとってください。長時間、画面を見続けることにより、身体に不調を感じた場合は、すぐに製品の使用を中止して、休憩をとってください。それでも体調がすぐれない場合は、医師に相談してください。

本機を使用するときは

- 画面を強い光に向けたままにすると、画面を傷めてしまいます。窓際や室外などで使用するときはご注意ください。
- 画面を強く押したり、引っかいたり、画面上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因となります。
- 使用中に画面やキャビネットが温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 長時間、画面を見続けると、目が疲れたり、視力低下の原因となることがあります。画面を見続ける場合は、定期的に休息をとってください。
- ITU-R勧告BT.1702 “Guidance for the reduction of photosensitive epileptic seizures caused by television (テレビ映像による光感受性発作を抑えるための指針)” や関連するガイドラインをご参照ください。

バックライトについて

バックライトには寿命があり、経年劣化により輝度の低下や色の変化などが起こる恐れがあります。

焼き付きについて

同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残像として見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。

輝点・滅点について

液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。また、これは、液晶パネルの特性上、長期間の使用により増加する場合があります。これらの現象は、故障ではありません。

結露について

本機を冷えた状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、室温を急に上げたりすると、製品の表面や内部に露が発生することがあります(結露)。そのままの状態で使用すると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。結露した場合は、水滴が消えるまで製品の電源を入れずに放置してください。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグを抜いてください。
- 画面には特殊な表面処理をしていますので、直接手で触れないようにしてください。また、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどは、画面を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 画面の汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの乾いた柔らかい布でそっと拭いてください。強く拭くと、画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。また、クリーニングクロスにゴミなどが付着したまま強く拭くと、画面に傷が付くことがありますのでご注意ください。
- 画面の汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に、水で薄めた中性洗剤を少し含ませて軽く拭いてください。
- 画面の表面からほこりを取り除くときは、ブローアーをご使用ください。
- キャビネットの汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、布に水または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてください。また、アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、キャビネット上の文字などが消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

本機の特長

動画ディスプレイDP-V1710 / DP-V1711は、撮影現場や放送局の副調整室、中継車での映像確認用など、映像制作を幅広くサポートするディスプレイです。

11

17 型4K ディスプレイ

- 解像度3840×2160のパネルおよびバックライトシステムを搭載
- 高い階調精度と高コントラストを実現
- 19 インチラックマウント対応(7U) (EIA規格に準拠)
- 温度変化や経年劣化による変動を抑えて高均一性を実現
- 各種規格色域に対応 (ITU-R BT.2020、ITU-R BT.709 等)
- HDR表示機能を搭載 (SMPTE ST 2084、Hybrid Log-Gamma対応)

利便性が向上する、さまざまなインターフェースを搭載

- 6G-SDIに対応 (V1711 12G-SDI対応)
- DC 12V電源入力に対応 (XLR 4 ピン)
- 外部機器による制御が可能なREMOTE端子 (GPI)、LAN端子を搭載
- USB 接続による外部からのグレーディングコントローラやキャリブレーションセンサー接続が可能 (Tangent Wave 社製Element-Tk、コニカミノルタ社製CA-310 等)

撮影～編集まで各現場の多彩なワークフローに対応

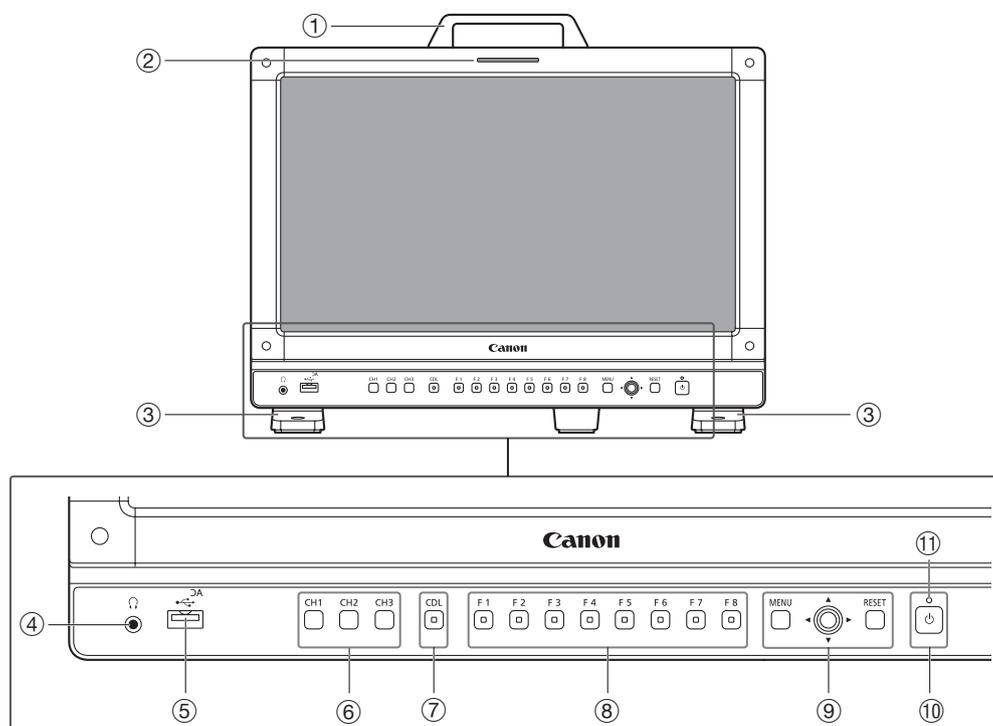
- 4K RAWに対応。ACES2065-1上で4K RAWワークフローを構築
- CINEMA EOS SYSTEM 連携
- ARRI 社製 / パナソニック株式会社製カメラシステム連携
- 複数のLUT/CDL設定に対応
- 信号の伝送方式「2 Sample Interleave」に対応
- 2 画面表示、4 画面表示に対応。2画面表示では、HDRとSDRの比較表示や各画面の画質調整が可能
- 波形モニター、ベクトルスコープ、ズーム、ピーキング、フォルスカラーなどを搭載
- タリーランプを搭載

堅牢性・設置性

- 金属外装を採用した高い堅牢性
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと、安定設置・転倒防止に配慮したスタンドを装備

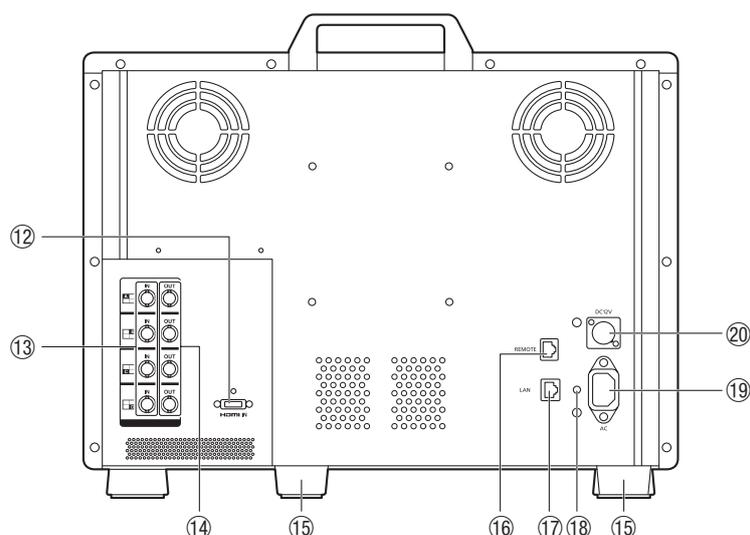
各部名称

12 本体前面



- ① キャリングハンドル(15)
- ② タリーランプ(40)
- ③ 前部スタンド(17)
- ④ ヘッドホン端子(72)
- ⑤ USB端子
キャリブレーション用外付けセンサー(32)、USBメモリー、HUB、カラーグレーディング用コントローラー(Tangent Wave社製 Element-Tk)、無線LAN子機(Wi-Fiアダプター、 42)接続用
- ⑥ チャンネル(CH)ボタン CH1 ~ CH3(37)
- ⑦ CDLボタン
CDLモード切替用
- ⑧ ファンクション(F)ボタン F1 ~ F8(36)
- ⑨ MENUボタン(26)
ジョグダイヤル(26)
RESETボタン(26)
- ⑩ 電源(電源)ボタン(24)
- ⑪ 電源ランプ(24)

本体背面



- ⑫ HDMI入力端子(23)
- ⑬ SDI入力端子(22)
- ⑭ SDI出力端子
⑬に対応するスルーアウト出力用
- ⑮ 後部スタンド(17)
- ⑯ REMOTE端子(40)
外部制御機器の接続用
- ⑰ LAN(10/100 BASE)端子(41)
ディスプレイコントローラー CL-01 (DP-V3010に付属)や外部制御機器の接続用
- ⑱ コードクランプ取り付け穴(25)
- ⑲ AC電源入力端子(24)
- ⑳ DC電源入力端子(24)

! ご注意

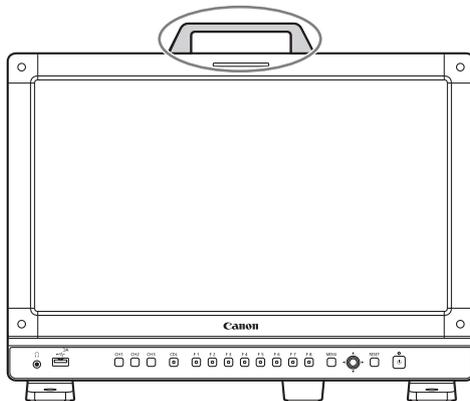
- USB端子にキャリブレーション用外付けセンサーを接続する場合、3 mを超える長さのUSBケーブルは使わないでください。通信エラーが起き、正しくキャリブレーションできない可能性があります。
- 本機は、キャノン製DP-V Color Adjustmentソフトウェアを使って、ディスプレイの検査/キャリブレーションを行うことができます。DP-V Color Adjustmentの詳細については、キャノンのホームページなどでご確認ください。
- **V1711** DP-V Color Adjustmentを使って、ディスプレイの検査/キャリブレーションを行うとき、またはLAN経由で使用するときに、「DP-V1710」と表示されます。
- USB端子に無線LAN子機(Wi-Fiアダプター)を接続する場合、HUBは使わないでください。本機が正しく動作しない可能性があります。
- 周辺機器を接続するときは、安全のために、過大電圧を持つ可能性があるコネクタを本機の端子に接続しないでください。
- SD-SDI信号は、正しくスルーアウト出力されません。

i メモ

- USBメモリーについて
 - USBメモリーは、FAT16または FAT32でフォーマットされたものに対応しています。
 - すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
 - USBメモリーが認識されるまで、10秒以上かかる場合があります。認識中に、USBメモリーに保存する機能を実行すると、[USBメモリー検出中です。]が表示されます。
- ディスプレイコントローラー CL-01 (DP-V3010に付属)を本機で使用するときは、コントローラーのファームウェアを Version 4.19.0以降にアップデートしてからお使いください。

本機を持ち運ぶ

本機を持つときは、必ずキャリングハンドルを使用してください。



! ご注意

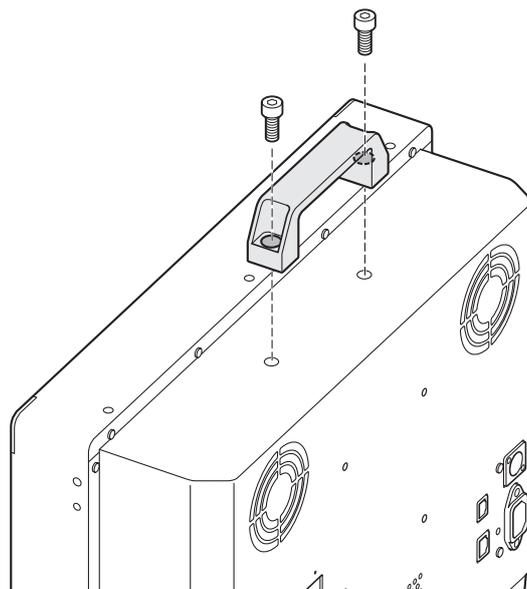
- 本機を持ち運ぶときには、画面に触れたり、画面を傷つけないようにご注意ください。

キャリングハンドルを取りはずす

キャリングハンドルは、取りはずすことができます。

1 上面の2つのネジをはずす

- 六角レンチ(6mm)をご使用ください。
- はずしたキャリングハンドルとネジは、紛失しないように保管してください。また、他の用途に使用しないでください。



! ご注意

- 作業中に、画面に触れたり、画面を傷つけないようにご注意ください。
- 本機にキャリングハンドルを取り付けるときは、ネジで固定した後、キャリングハンドルが確実に取り付けられていることをご確認ください。

保護板を取り付けるープロテクトパネルPP-17U(別売)ー

運搬や屋外の使用時に画面を保護する保護板を取り付けることができます。別売のプロテクトパネル PP-17Uの取り付けかたは、次のとおりです。プロテクトパネル PP-17U 使用説明書もあわせてご覧ください。

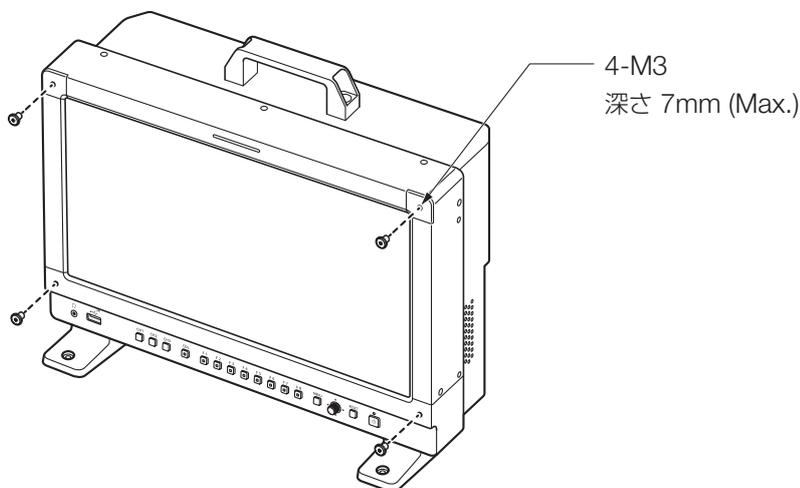
16

! ご注意

- 作業中に、画面に触れたり、画面を傷つけないようにご注意ください。

ネジの取りはずし／取り付けは、プロテクトパネル取り付け工具 HK-02(プロテクトパネルに付属。1.5 mmの六角レンチ)をご使用ください。

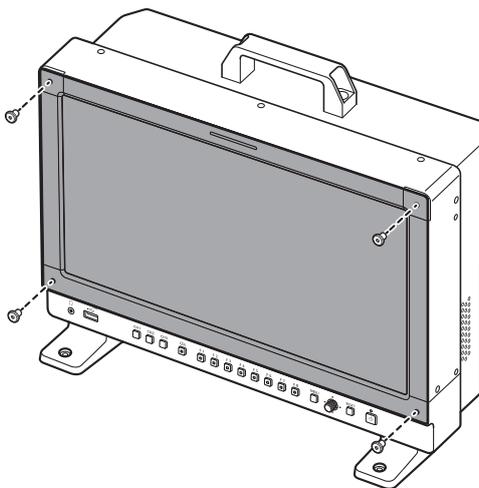
1 ディスプレイ前面にある4つのネジをはずす



2 プロテクトパネルの両面から保護フィルムをはがす

3 プロテクトパネルとディスプレイのネジ穴の位置を合わせて、手順1のネジで固定する

- プロテクトパネルが割れないように注意して、取り付けてください。



i メモ

- プロテクトパネルを取り付けて画面を見たとき
 - 取り付けしていないときと、異なる色および輝度に見えることがあります。
 - 画面に光が反射することがあります。

スタンドを取りはずす／取り付ける

本機には2種類のスタンドがあり、取りはずすことができます。

！ ご注意

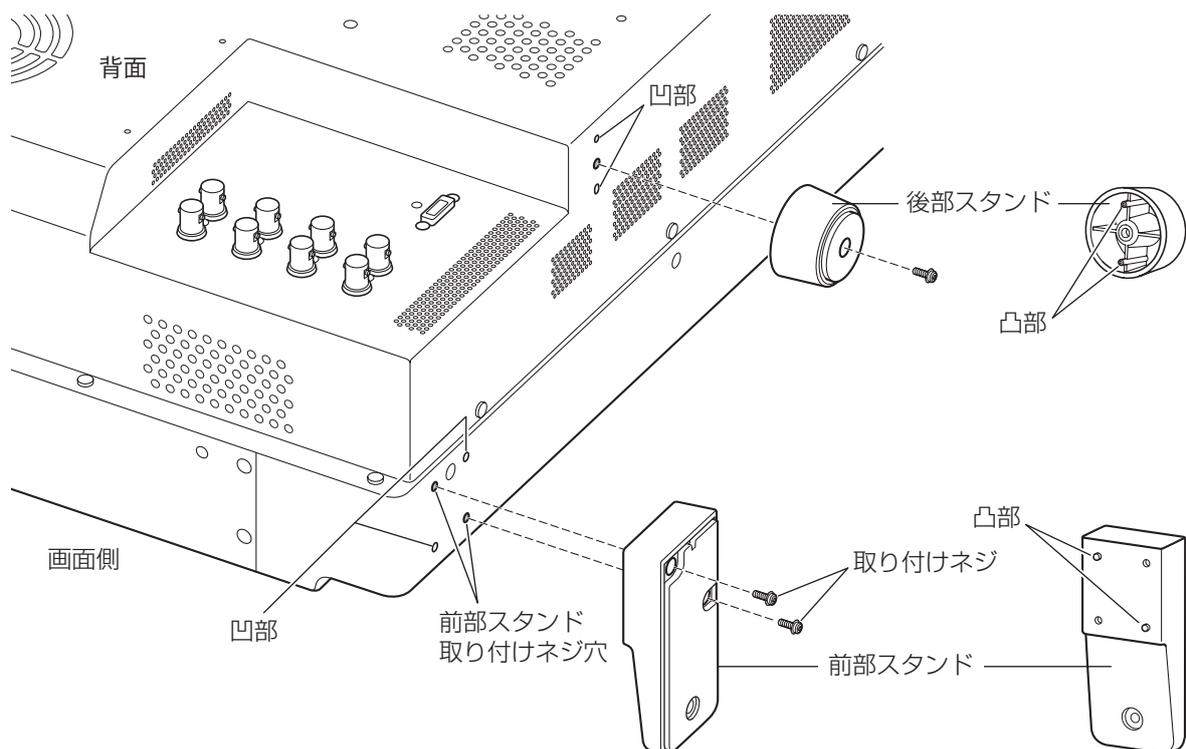
- 取りはずし／取り付けの作業は、机の端などを利用し、スタンドが机の上に乗らないように置いて作業してください。また、突起物のない、平らな机をご使用ください。
- スタンドをはずした状態で机や台に置くときには、転倒しないような処置をしてください。
- 作業中に、画面に触れたり、画面を傷つけたりしないようにご注意ください。

取りはずしかた

- 1 ディスプレイの外形より一回り大きい柔らかい布やクッション材の上に、画面を下にしてディスプレイを置く
- 2 前部スタンド：左右のスタンドから取り付けネジ(各2個)をはずす
後部スタンド：左右のスタンドから取り付けネジ(各1個)をはずす
 - はずしたネジは紛失しないように保管してください。このネジは他の用途に使用しないでください。

取り付けかた

- 1 ディスプレイの外形より一回り大きい柔らかい布やクッション材の上に、画面を下にしてディスプレイを置く
- 2 スタンドと本機のネジ穴の位置を合わせる
 - スタンドの凸部と本機の凹部を合わせます。
- 3 前部スタンド：左右のスタンドを取り付けネジ(各2個)で固定する
後部スタンド：左右のスタンドを取り付けネジ(各1個)で固定する



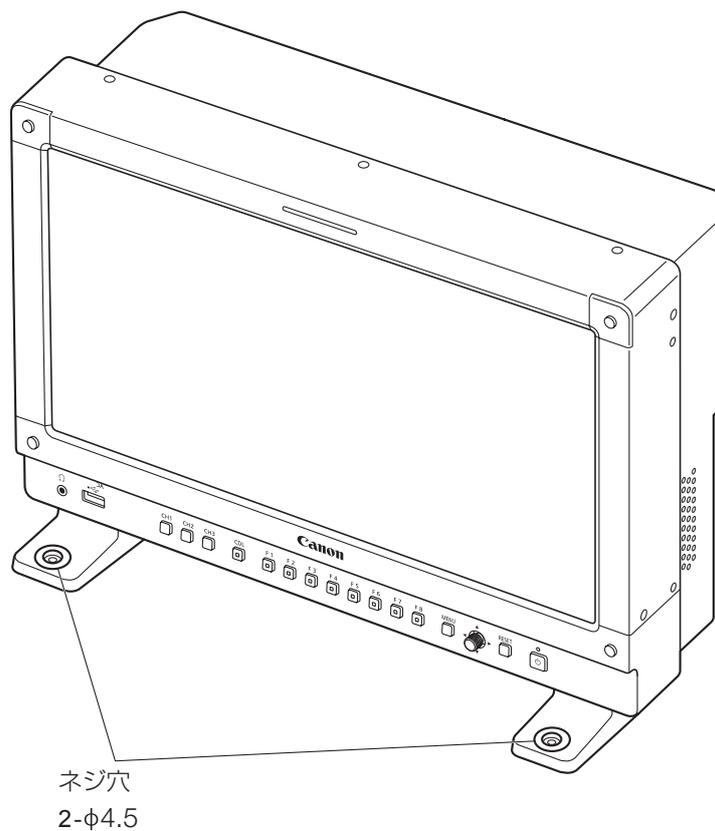
転倒・落下防止の処置をする

本機のスタンドにあるネジ穴を利用して、机や台などに固定できます。

18 **!** ご注意

- 台に固定する場合には、本機の重量に耐える堅牢な物をご使用ください。
- 作業中に、本機が落下、転倒などしないように必ず2人以上で作業してください。
- 作業中に画面に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。

1 ネジ穴のサイズに合うネジを使用して、机や台に固定する



本機をスタンドや壁に取り付ける

市販のスタンドや壁掛け金具などに、本機を取り付けることができます。事前にスタンドを取りはずしてください (17)。

！ ご注意

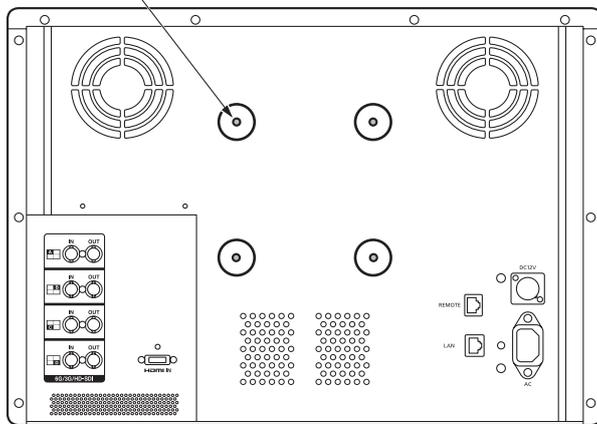
- 安全のため、必ず2人以上で作業してください。
- 本機を壁に取り付けるときは、壁の強度を確認のうえ、適切な補強を行ってください。また、スタンドや壁掛け金具の耐荷重もご確認ください。
- 本機をラックやディスプレイ棚に収納した場合、上下および周辺の機器によりディスプレイ周辺の通気が妨げられると、動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。本機の動作条件温度0℃から40℃を保つように、上下に1 U (4.4 cm)以上の隙間、また、背面から4 cm以上の隙間をあげ、周辺機器との隙間を十分にとり、通気孔の確保や通気ファンの設置などの配慮をしてください。
- 壁に取り付ける場合には、ケーブル類が折れないように、壁との間に十分なスペースを取ってください。
- 作業中に、画面に触れたり、画面を傷つけないようにご注意ください。
- 取り付け／取りはずし時は、落下にご注意ください。

1 本体背面や側面のネジ穴に、市販のスタンドや壁掛け金具を取り付ける

4×M4

深さ6 mm(Max.)

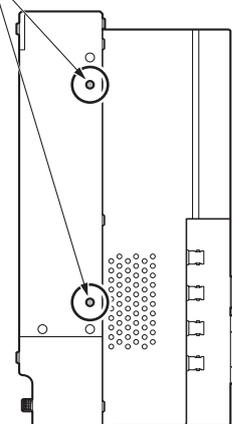
背面



2×M4

深さ7 mm(Max.)

側面



反対側も同様

本機を19インチラックに取り付ける—ラックマウント金具RB-02(別売)—

本機は、19インチラックマウント(7U、EIA規格に準拠)に対応しています。別売のラックマウント金具RB-02を使って、本機を19インチラックに取り付けることができます。取り付けかたにより、傾斜角度を選択できます(-15/-6/6/15度)。事前に、キャリングハンドルとスタンドを取りはずしてください(15、17)。

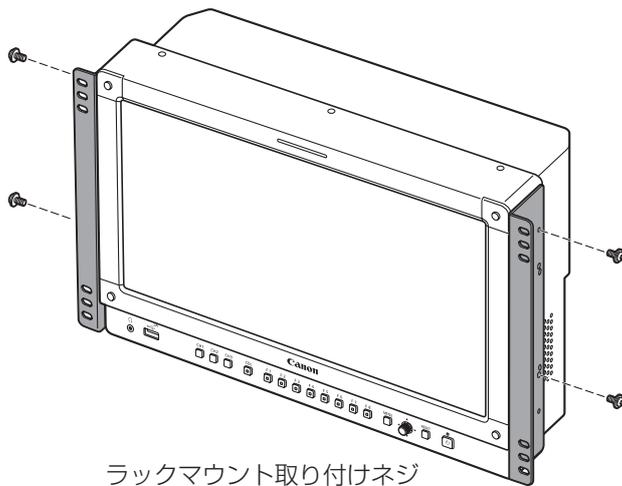
ラックマウント金具には、ラックマウント取り付けネジSW-04とSW-05が付属されています。ラックマウント金具RB-02 使用説明書もあわせてご覧ください。

! ご注意

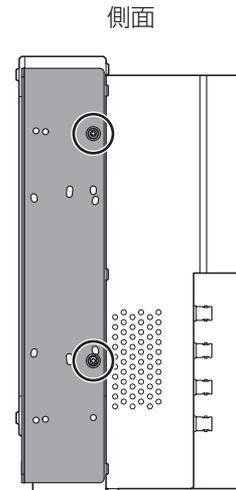
- 安全のため、必ず2人以上で作業してください。
- 本機をラックに収納した場合、上下および周辺の機器によりディスプレイ周辺の通気が妨げられると、動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。本機の動作条件温度0℃から40℃を保つように、上下に1U(4.4cm)以上の隙間、また、背面から4cm以上の隙間をあげ、周辺機器との隙間を十分にとり、通気孔の確保や通気ファンの設置などの配慮をしてください。
- 作業中に、画面に触れたり、画面を傷つけないようにご注意ください。
- 取り付け／取りはずし時は、落下にご注意ください。

1 本機にラックマウント金具を取り付ける

- ラックマウント取り付けネジSW-04を使って、左右2カ所ずつ固定します。

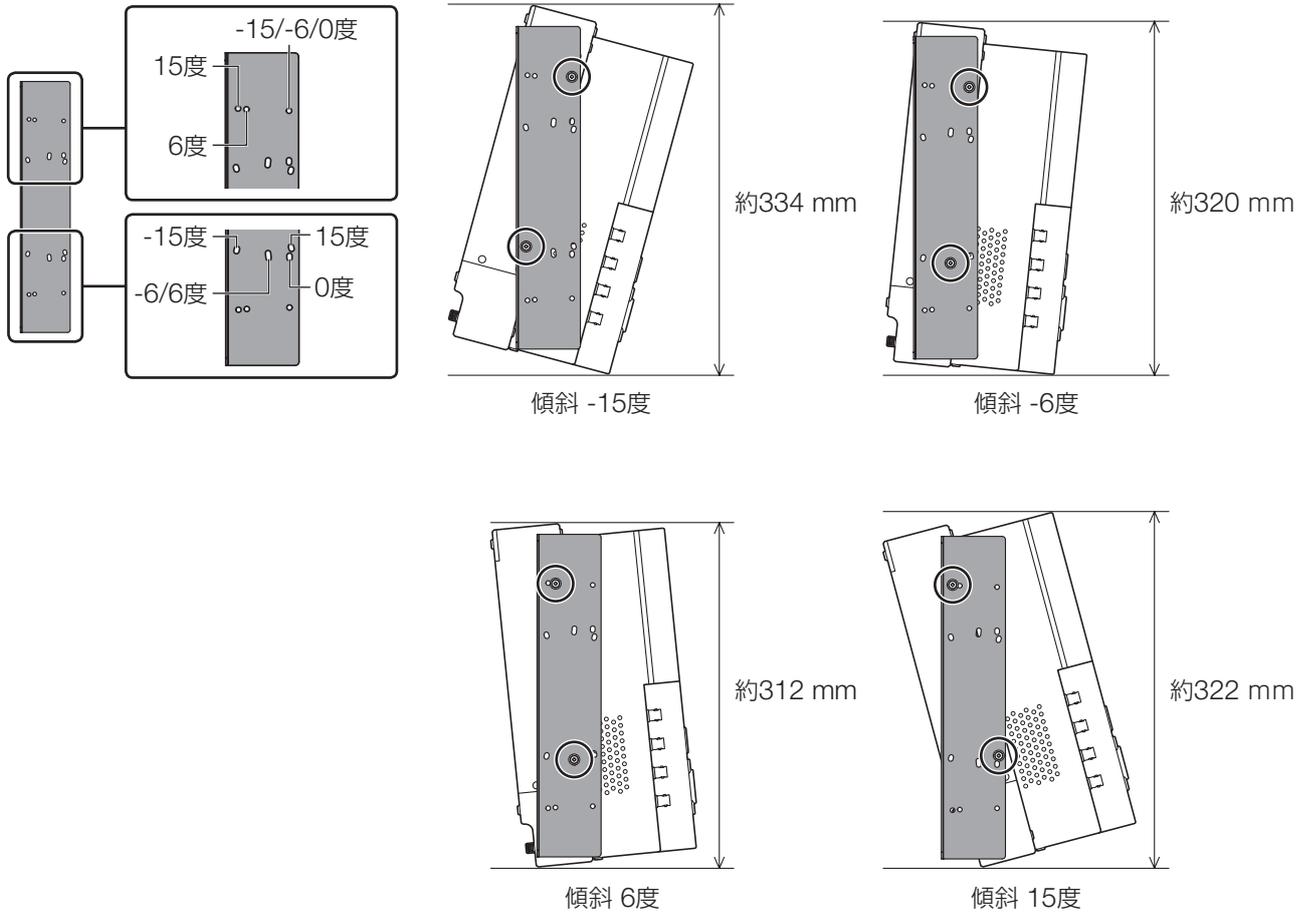


ラックマウント取り付けネジ
SW-04



反対側も同様

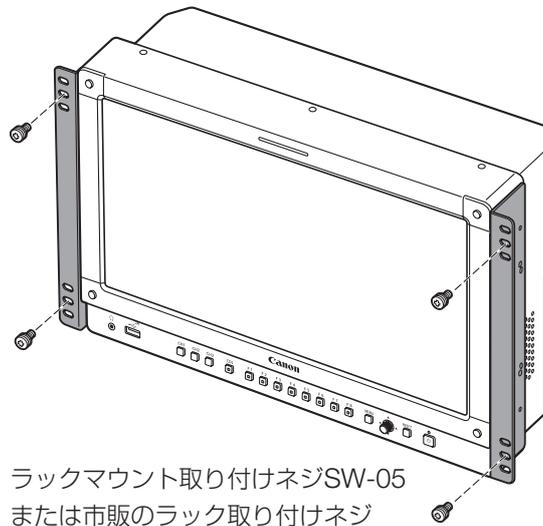
- 傾斜 -15/-6/6/15度で本機を取り付ける場合のネジ穴の位置は、次のとおりです。



2 本機をラックに取り付ける (102)

- ラックマウント取り付けネジSW-05、またはラックに合った市販のラック取り付けネジを使って、左右2カ所ずつ固定します。ラックマウント金具の各2番目のネジ穴を使って取り付けることをおすすめします(イラスト参照)。

SW-05 : M5、長さ 7 mm(座金部を除く)



ラックマウント取り付けネジSW-05
または市販のラック取り付けネジ

本機と入力機器を接続する

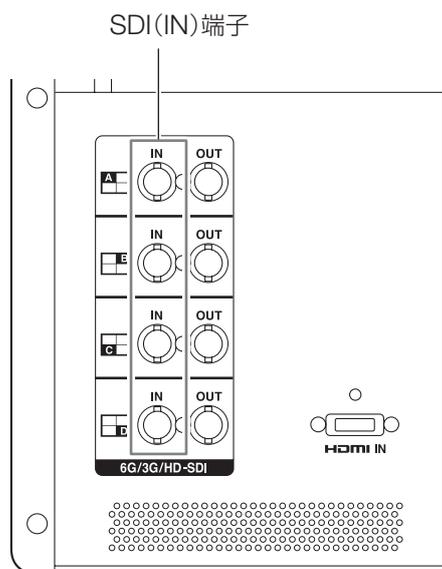
本機にはSDIとHDMIの入力端子があり、これらの端子に入力機器を接続します。

22 **!** ご注意

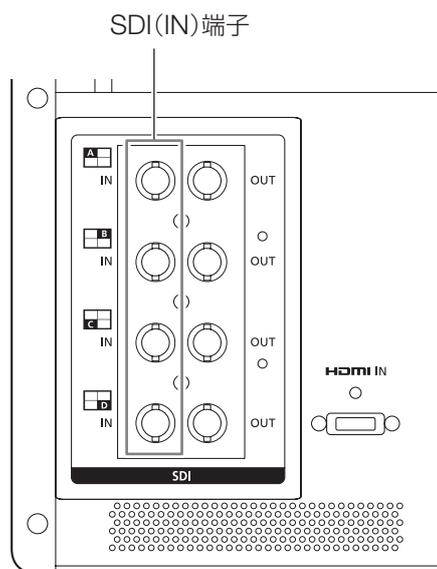
- 接続する前に、本機と入力機器の電源が入っていないことをご確認ください。

SDI入力信号

DP-V1710



DP-V1711



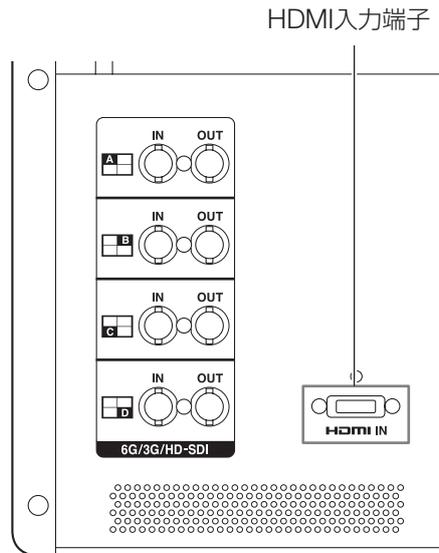
		入力信号	入力端子	
Quad Link (Square Division)	V1710 6G/3G/HD-SDI	左上 マッピング信号	Input A	1系統
		右上 マッピング信号	Input B	
		左下 マッピング信号	Input C	
		右下 マッピング信号	Input D	
Quad Link ¹ (2 Sample Interleave)	3G-SDI	Link 1	Input A	1系統
		Link 2	Input B	
		Link 3	Input C	
		Link 4	Input D	
Dual Link ¹	6G/3G-SDI	Link 1	Input A	2系統
		Link 2	Input B	
		Link 1	Input C	
		Link 2	Input D	
Single Link	V1710 6G/3G/HD/ SD-SDI V1711 12G/6G/3G/HD/ SD-SDI	—	Input A/Input B/ Input C/Input D	4系統

¹ [Image Division]が[オート]のときは自動で切り換わります。

 参考

- **V1710** カナレ電気株式会社製 BNCケーブル(マルチ) 4VS03A-5Cで動作確認しています。
- **V1711** カナレ電気株式会社製 BNCケーブルD5.5UHDC03Eで動作確認しています。
- 3G-SDI RAWは、30.00Pを超える周波数の場合、Dual接続になります。
- スルーアウト出力は、各入力端子に対応しています。Input Aから入力しているときは、Input AのSDI(OUT)端子にケーブルを接続します。

HDMI入力信号



 ご注意

- HDMIケーブルは、High Speedロゴが明記されたHDMI規格に適合するケーブルをご使用ください。HDMI規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。

24 本機の電源を入れる

1 AC電源を使用するとき

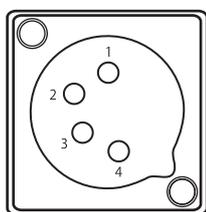
背面のAC電源入力端子に、付属のAC電源コード HT-20を差し込む

- スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。

DC電源(DC 12 V)を使用するとき

背面のDC電源入力端子に、DC電源コードを差し込む

- 正常に接続されると、スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。
- DC電源入力端子の仕様は、次のとおりです。



ピン番号	信号
1	-(GND)
2	N.C.
3	N.C.
4	+(12V、最大10A)

2 前面の電源ボタン を押す

- 電源ランプが緑色に点灯します。

電源ランプについて

本体の状態を表示します。電源ランプの明るさを[オフ]、[1(暗い)]～[5(最も明るい)]に設定できます(☑93)。ファームウェアアップデート中/異常検出時は、[オフ]を設定時でも点滅します。

消灯：電源が接続されていないとき

緑点灯：電源が接続されていて、本機の電源が「入」のとき

緑点滅：キャリブレーション中/ファームウェアアップデート中

橙点灯：スタンバイ(電源が接続されていて、本機の電源が「切」のとき)時

橙点滅：異常検出時

ご注意

- 付属の電源プラグアダプター PU-01を使用する場合は、必ずアース端子をアースに接続してください。
- DC電源入力端子の仕様をご確認のうえ、本機に適合するものをご使用ください。特に電圧と極性が適合しないものを使用すると、火災や感電の原因となります。
- DC電源コードは、許容電流10 A以上、長さ2 m以下のものを使用してください。2 mを超えるDC電源コードを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- DC電源入力端子には、音声機器や音声用ケーブルを接続しないでください。故障の原因となります。

メモ

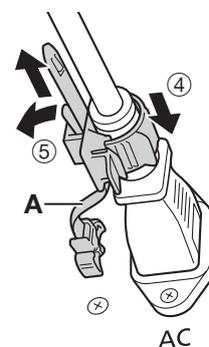
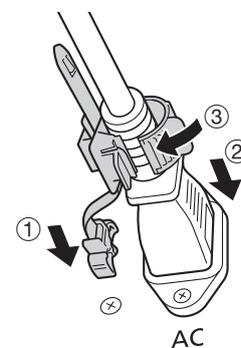
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからご使用ください。
- DC電源を使用中にAC電源を接続すると、優先的にAC電源に切り替わります。その場合、一度電源が「切」になり、再起動します。

付属のAC電源コードクランプHC-01を取り付ける／取りはずす

取り付けかた

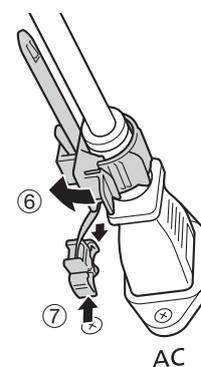
AC電源コードクランプは、AC電源コードを本機に接続する前に取り付けます。

- 1 コードクランプ取り付け穴に、AC電源コードクランプのコネクター部を差し込む(①)
- 2 AC電源コードを本体に接続する(②)
- 3 AC電源コードをホルダーで固定する(③)
 - ホルダーは、必ずAC電源コードのイラストの位置に固定します。
- 4 ホルダーを本体側に押しつける(④)
 - (A)にたるみがないことを確認します。
 - ホルダーのロックレバーを矢印方向に引くと、ホルダーの位置を調整できます(⑤)。



取りはずしかた

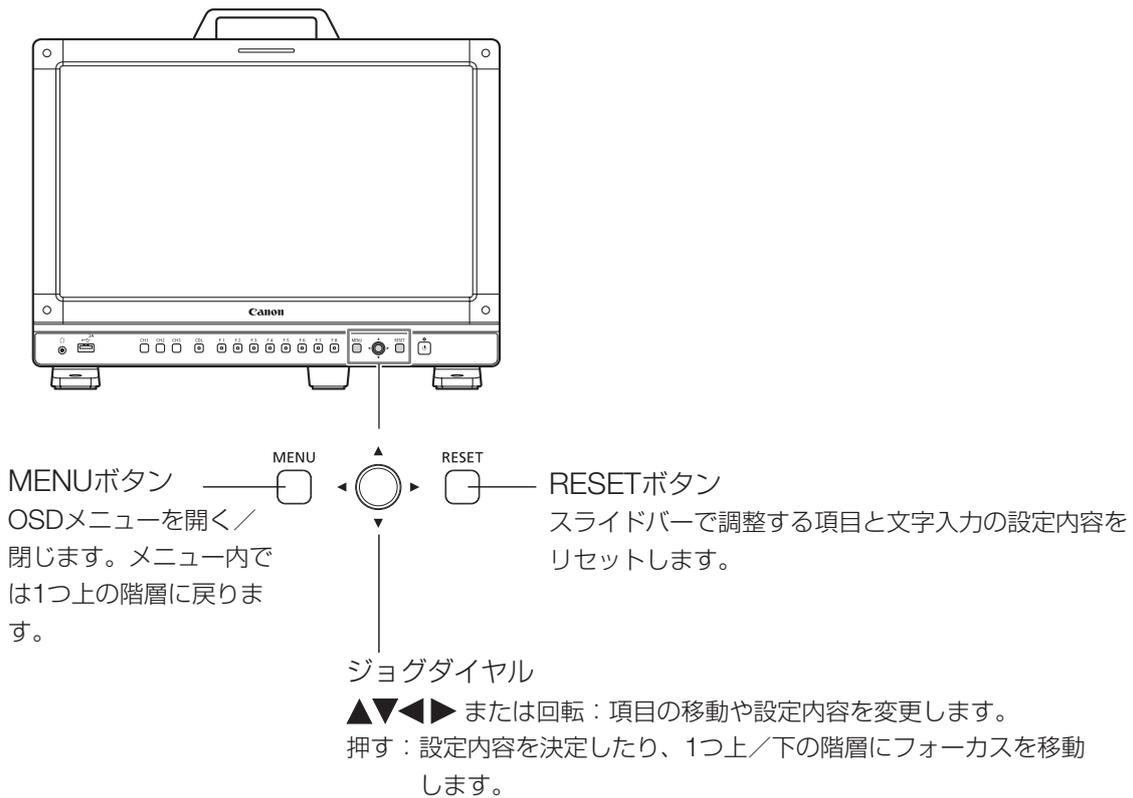
- 1 ホルダーのレバーを矢印方向に引いて(⑥)、AC電源コードからAC電源コードクランプを取りはずす
- 2 上下のツマミを押して、AC電源コードクランプを本機から引き抜く(⑦)



操作のしかた

26 本機のボタンやジョグダイヤルで、画質調整や入力信号の設定を行います。また、CH(チャンネル)ボタンやF(ファンクション)ボタンには、よく使う設定や機能を登録することができます。

OSDメニューの基本操作



本機の設定は、OSDメニューで変更します。

- 1 OSDメニューを開く
 - MENUボタンを押します。
- 2 メインメニューを選択する
 - ジョグダイヤルでメインメニュー項目を選択し、押して決定します。
- 3 サブメニューを選択する
 - ジョグダイヤルでサブメニュー項目を選択し、押して決定します。



4 設定内容を選択する

- ジョグダイヤルで設定内容を選択し、押して決定します。サブメニュー項目の選択画面に戻ります。

5 メニューを終了する

- MENUボタンを押すと、メインメニュー項目の選択画面に戻ります。もう一度、MENUボタンを押すと、メニュー画面を閉じます。

画質設定	
ピクチャーモード	SMPTC-C
コントラスト	EBU
ブライトネス	ITU-R BT.709
クロマ	ITU-R BT.2020
シャープネス	Adobe RGB
バックライトコントロール	DCI-P3
色温度	User 1 (2020 PQ)
カラーガマット	User 2 (2020 HLG)
ガンマ/EOTF	User 3 (DCI PQ)
カラーレンジ	User 4
CDL/User LUT	User 5
詳細設定 (ブースト、LUTインポート)	User 6
画質設定アンカー	User 7
画質設定リセット	CINEMA EOS SYSTEM
	ACESproxy (ver. 1.0.1)

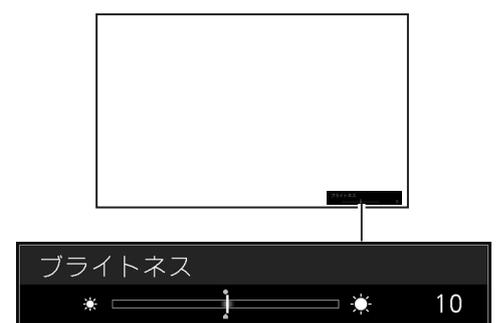
i メモ

- 画質を調整するときには、本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて、10分以上経ってから実施してください。
- OSDメニューとスライダーは約1分間、Fボタンは約10秒間何も操作をしないと自動的に消えます。
- 設定できない項目は、グレー表示になります。
- 次の機能は、画質を調整後にRESETボタンを押すと、工場出荷時の設定またはアンカーポイント(29)に戻すことができます。
 - [コントラスト]、[ブライトネス]、[クロマ]、[シャープネス]、[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]
- [ピクチャーモード] ▶ [User 1-7]のとき：キャリブレーションを実行した場合は、画質を調整中にRESETボタンを押すと、キャリブレーション後の設定内容に戻ります。

映像全体を見ながら画質を調整する

OSDメニューを表示しているときに、画面下部にスライダーだけを表示させ、映像全体を見ながら画質を調整できます。

- 1 設定内容にフォーカスがあるときに、ジョグダイヤルを押す
 - スライダーが画面の下部に表示されます。
- 2 スライダーを目安にジョグダイヤルで調整する
- 3 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
 - 元のOSDメニュー画面に戻ります。



色温度の詳細設定(ゲイン、バイアス)

[ゲイン]または[バイアス]の調整画面が表示されているときに、RGBをまとめて、または個別に調整できます。

1 [色温度]メニューを開く

[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [色温度]

- [ゲインR]、[ゲインG]、[ゲインB]、[バイアスR]、[バイアスG]、[バイアスB]を、ジョグダイヤル(◀▶)で個別に設定できます。

2 いずれかを選択する

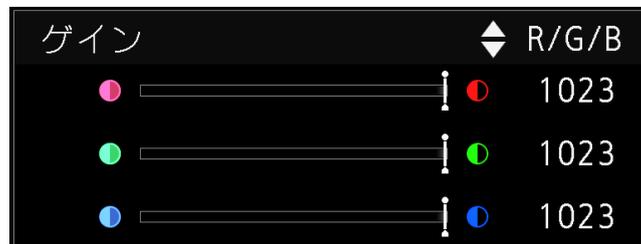
- [ゲイン]または[バイアス]の設定画面が表示されます。

3 スライダー画面右上のガイドをジョグダイヤル(▲▼)で切り換える

- [RGB]、[R]、[G]、[B]と表示が切り換わります。[RGB]を選択すると、RGBをまとめて調整できます。

4 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- 元のOSDメニュー画面に戻ります。



色温度の詳細設定(xy値)

1 [色温度]メニューを開く

[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [色温度]

2 [カスタム(xy)]を選択する

- [x]、[y]を、ジョグダイヤル(◀▶)で個別に設定できます。

3 [x]または[y]を選択する

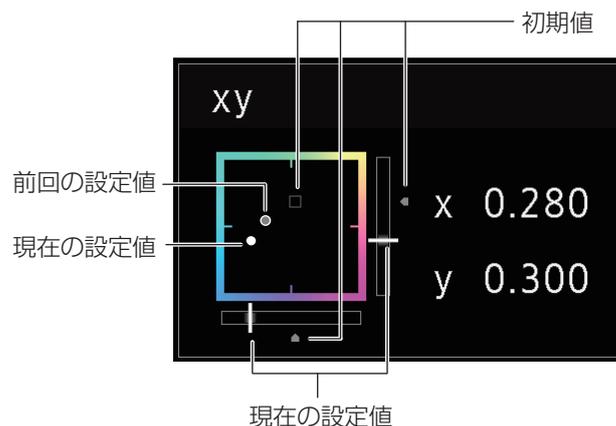
- カラーマップが表示されます。

4 [x]はジョグダイヤル(◀▶)、[y]はジョグダイヤル(▲▼)で調整する

- 設定した値がカラーマップ上に(○)で表示されます。

5 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- 元のOSDメニュー画面に戻ります。



調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)

[コントラスト]、[ブライトネス]、[クロマ]、[シャープネス]、[HDRレンジ]の調整値を一時的に保存できます。CDL調整時のアンカーポイントの設定は 54 をご覧ください。

1 [画質設定アンカー]メニューを開く

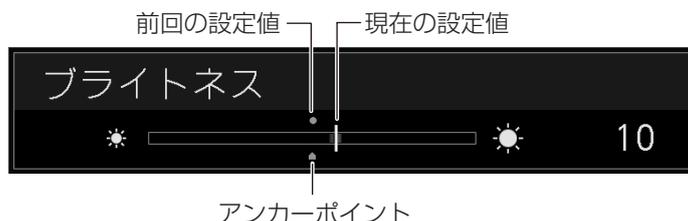
[MENU] ➤ [画質設定] ➤ [画質設定アンカー]

2 ジョグダイヤルを押して、確認画面が表示されたら、[OK]を選択する

- 調整値が保存され、アンカーポイントが設定されます。

3 再度、画質を調整後、本機のRESETボタンを押す

- 各機能のアンカーポイントに戻ります。



① メモ

- [画質設定] ➤ [画質設定リセット]または[システム設定] ➤ [全設定リセット]を実行すると、アンカーポイントはリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。
- キャリブレーションを実行した場合、その値がアンカーポイントとして上書きされます。

ズーム表示を調整する(70)

ズームの表示位置を変更したり、ズーム倍率(2倍、4倍、8倍)を選択できます。

1 [ズーム]メニューを開く

[MENU] ➤ [ディスプレイ設定] ➤ [ズーム]

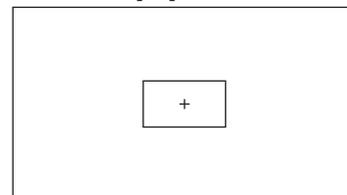
2 ジョグダイヤルで[ズームプリセット]を選択する

- ズーム表示のプリセットを選択します。

3 ジョグダイヤルで[ポジション]を選択する

- ズーム調整画面が表示されます。
 - 表示位置を移動する：ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かす
 - 中央に戻す：RESETボタンを押す

ズーム 2 [x4]



4 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- 元のOSDメニュー画面に戻ります。

① メモ

- 画像がズーム表示中、OSDメニューを閉じているときは、ジョグダイヤルを押すことで倍率を設定できます。
- 画像がズーム表示中、OSDメニューを閉じているときは、ジョグダイヤル(▲▼◀▶)を動かすことで表示位置を移動できます。

入力信号に応じて自動的に画質を切り換える

本機では、映像の解像度やメタデータに応じて、画質を自動で切り換えることができます。

30 【ピクチャーモード】を自動で切り換える (📖67)

1 【セレクトチャンネル】メニューを選択する

[MENU] ➡ [チャンネル設定] ➡ [セレクトチャンネル]

- チャンネルを選択します。

2 【タイプ】メニューを開く

[MENU] ➡ [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]

3 ジョグダイヤルでタイプを選択する

映像の解像度(4K/2K)ごとに切り換える場合

- ① [4K/2K] を選択する
- ② [ピクチャーモード] を設定する

映像の解像度(4K/2K)またはメタデータに応じて切り換える場合(SDI)

- ① [オート] を選択する
- ② [ピクチャーモード] を設定する

4 ジョグダイヤルを押して決定する

- 設定内容が決定されます。

映像のメタデータに応じて画質の設定を切り換える(HDMI) (📖57)

1 【User 1】～【User 7】を選ぶ

[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [User 1-7]

2 【タイプ】メニューを開く

[MENU] ➡ [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]

- [L/R]以外を選択します。

3 【自動設定】メニューを開く

[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [詳細設定] ➡ [HDMIリンク] ➡ [自動設定]

- [オン] を選択します。
- 設定できる内容は[HDMIリンク] (📖57)をご覧ください。

4 ジョグダイヤルを押して決定する

- 設定内容が決定されます。

📌 メモ

- 映像の解像度(4K/2K)またはSDIメタデータに応じた画質の自動切替が設定されているとき、メニュー画面の右上に、選択されている対象(4K、2Kなど)を示す情報が表示されます。

Resolution: 4K

画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード)

本機では、画面を左右に2分割して、画面ごとに画質を調整できます。

1 [タイプ]メニューを開く

[MENU] ➤ [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]

- [L/R]を選択します。

2 画質を調整する画面を選ぶ

- OSDメニューを開いているとき：
 - [画質設定]のメインメニューを選択時に、ジョグダイヤルの ◀ を押します。
 - [画質設定]のメインメニューまたはサブメニューを選択時に、CH1ボタンを押します。
- OSDメニューを閉じているとき：ジョグダイヤル(◀▶)で切り換えます。
- 対象画面を切り換えると、画面上部に、設定されている[ピクチャーモード]が表示されます。

3 選んだ画面の画質を調整する

メモ

- 画質比較モード時に、[画質設定]メニュー画面の右上に、画質調整の対象画面として選択されている画面を示すアイコン(L/R)が表示されます。 
- 右画面が選択されているとき、使用できない機能は次のとおりです。
 - [画質設定]のサブメニュー項目：[コントラスト]、[バックライトコントロール]、[ブースト(コントラスト)] **OPTION**、[HDR/SDR比較表示]、[キャリブレーション]
- 2画面表示時にも、画面ごとに画質を調整して比較表示ができます。
 - 同一映像を2画面表示したとき([1入力 Dual View]  68)
 - 異なる映像を2画面表示したとき([Multi View (Dual)]  65)
 - HDR(High Dynamic Range)表示とSDR(Standard Dynamic Range)表示を左右に並べて確認できます。([HDR/SDR比較表示]  57)

画像の表示エリアを変更する

[4096×2160]または[2048×1080]の映像を入力した場合、左右部分がトリミングされて表示されます。

1 [Image Division]メニューを開く

[MENU] ➤ [チャンネル設定] ➤ [Image Division]

- [Square Division]を選択したら、ジョグダイヤルを押して決定します。

2 [スクリーンスケール]メニューを開く

[MENU] ➤ [ディスプレイ設定] ➤ [スクリーンスケール]

- [Native]を選択したら、ジョグダイヤルを押して決定します。

3 OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤル(◀▶)を押す

- 左／右側にずれます。

キャリブレーションを行う(📖57)

外付けセンサーを使用して、コンピューターを使用せずにキャリブレーションできます。

対応の外付けセンサーは、コニカミノルタ株式会社製ディスプレイカラーアナライザ CA-310、CA-210です。

CA-310、CA-210の説明書も合わせてご覧ください。

本機は、キヤノン製DP-V Color Adjustmentソフトウェアを使って、ディスプレイの検査/キャリブレーションを行うことができます。DP-V Color Adjustmentの詳細については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

1 ディスプレイカラーアナライザを本機のUSB端子に接続する

2 [User 1]～[User 7]を選び、[キャリブレーション]メニューを開く

- ① **MENU** ➤ [画質設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [User 1-7]
 - ② **MENU** ➤ [画質設定] ➤ [詳細設定] ➤ [キャリブレーション]
- 各目標値を設定します。

3 ジョグダイヤルを押して[スタート]を選択する

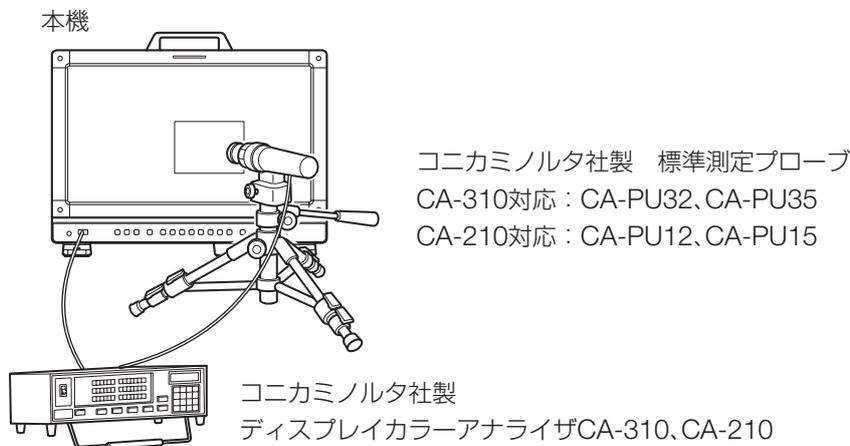
- 画面に表示される案内に従い、操作してください。

4 センサーを初期化する

- 標準測定プローブのモードダイヤルを[0-CAL]にセットします。
- 本機のジョグダイヤルを押し[OK]を選択して、初期化を実行します。

5 標準測定プローブを本機の中央に向けて設置する

- 標準測定プローブのモードダイヤルを[MEAS]にセットし、表示にしたがって図のとおり標準測定プローブを設置してください。本機のジョグダイヤルを押し[OK]を選択してキャリブレーションを実行します。



6 キャリブレーションを終了する

- [キャリブレーションを終了しました。]が表示されたら、ジョグダイヤルを押し[OK]を選択します。
- [エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。]が表示されたときエラーによりキャリブレーションが強制的に終了しました。本機はキャリブレーション実行前の状態に戻ります(📖121)。
- キャリブレーションを中止したいとき
キャリブレーション実行中にジョグダイヤルを押し[中止]を選択します。本機はキャリブレーション実行前の状態に戻ります。

① メモ

- キャリブレーション前にディスプレイカラーアナライザのマトリクス校正を行ってください。マトリクス校正を行わずにキャリブレーションを実行すると、エラーになる場合があります。操作方法は、CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからキャリブレーションを実施してください。
- センサー部に外光が入らないように、室内を暗くしてキャリブレーションを行ってください。外光が入ると低輝度部の特性が正しく補正されません。
- 液晶パネルの特性およびCA-310、CA-210の個体差により、キャリブレーションの結果が異なる場合があります。

エクスポート／インポートする

LUTやCDLの調整値、各メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートできます。

LUTをインポートする(☞55)

1 USBメモリーを本機のUSB端子に接続する

2 [LUTインポート]メニューを開く

[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [詳細設定] ➡ [LUTインポート]

3 ジョグダイヤルでファイルを選択する

- [ファイル名]の箇所に、ルートフォルダー内の拡張子[.clut]を検索して表示します。

4 ジョグダイヤルでLUTのタイプを選択する

- [User LUT]、[Gamma LUT]または[Gamut LUT]から、LUTの種類を選択します。
- 「ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図」(☞34)をご参照ください。また、キヤノンのホームページにある「ユーザー LUT作成ガイド」を合わせてご覧ください。

5 ジョグダイヤルで[LUT選択]を選択する

- User LUT 1～8/Gamma LUT 1～8/Gamut LUT 1～8を選択します。

6 ジョグダイヤルで基準となる色域を選択する

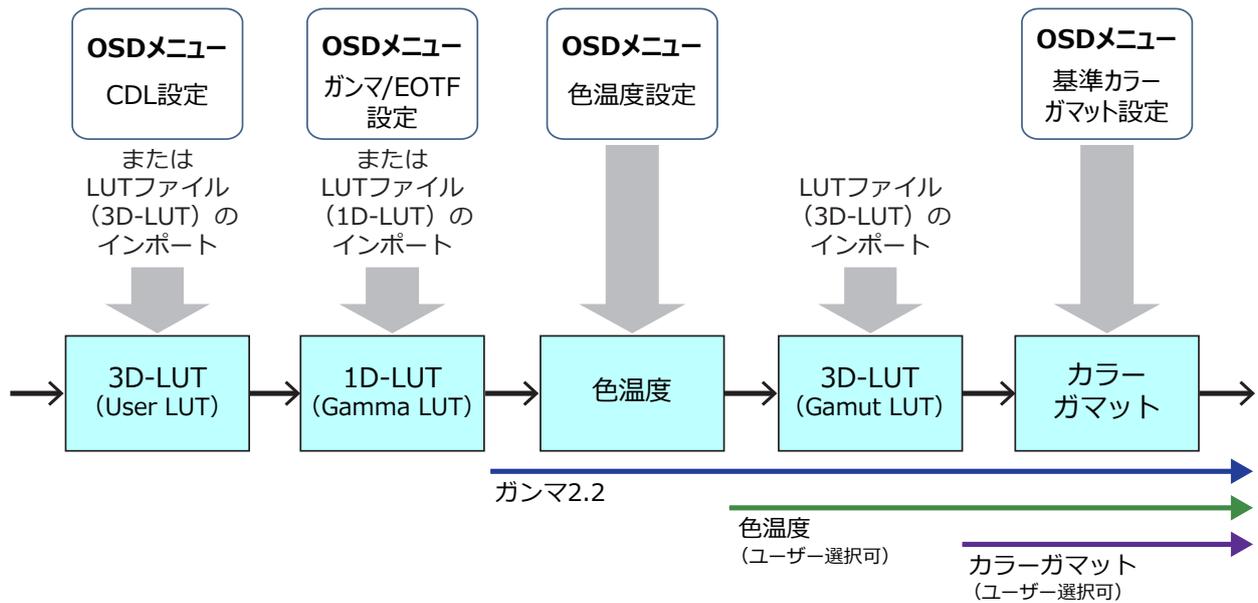
- [LUTタイプ]で[Gamut LUT]を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。

7 ジョグダイヤルで[実行]を選択する

- 確認画面が表示されたら[OK]を選択します。インポートを開始します。

① メモ

- LUTのファイルは、キヤノンディスプレイ独自のものです。ファイルフォーマットや作成のしかたなどについては、キヤノンのホームページでご確認ください。
- LUTのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- インポートしたLUTは消去できます。LUT名を変えることもできます(☞56)。



ディスプレイの画像処理とユーザー LUT の概念図

メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートする (94)

1 [エクスポート／インポート]メニューを開く

[MENU] ➡ [システム設定] ➡ [エクスポート／インポート]

2 ジョグダイヤルで[エクスポート]または[インポート]を選択する

エクスポートの場合

- ① [ターゲット] を [USB] または [User 1]～[User 3] から選択する
[USB] は USB メモリーに、[User 1]～[User 3] は本体内のメモリーに、エクスポートします。
- ② [USB] を選択時、[ファイル名] を選択する
工場出荷時の初期値は [dinfo_dpv1710.dat] (V1711 [dinfo_dpv1711.dat]) です。USB メモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。

インポートの場合

- ① [ターゲット] を [USB] または [User 1]～[User 3] から選択する
インポートするファイルの保存先を指定します。
- ② [USB] を選択時、[ファイル名] を選択する
- ③ [設定種別] から [すべて] またはメインメニュー名を選択する

3 ジョグダイヤルで[実行]を選択する

- 確認画面が表示されたら [OK] を選択します。エクスポート／インポートを開始します。

① メモ

- [User 1]～[User 3] にエクスポートすると、[システム設定] の [パワーオン設定] で、起動時の設定状態を [User 1]～[User 3] から選択できます (95)。

CDLの調整値をエクスポート／インポートする(📖54)

1 [タイプ]メニューを開く

[MENU] ➡ **[画質設定]** ➡ **[CDL/User LUT]** ➡ **[タイプ]**

2 ジョグダイヤルで[CDL]を選択する

3 ジョグダイヤルで[詳細設定] ➡ [CDLエクスポート]または[CDLインポート]を選択する

エクスポートの場合

- ① [CDLプリセット]を選択する
- ② ファイル形式[.ccc]または[.cdl]を選択する

インポートの場合

- ① [ファイル名]を選択する
- ② [CDLプリセット]を選択する

4 ジョグダイヤルで[実行]を選択する

- 確認画面が表示されたら[OK]を選択します。エクスポート／インポートを開始します。

メモ

- エクスポート時のファイル名は、「YYYYMMDDhhmmss_プリセット名.ccc (cdl)」で自動的に保存されます。
- CDLのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。

日時を設定する(📖90)

日時の設定のしかたを説明します。本機は、約20日間電源コードが接続されないと、日時がリセットされます。

1 [日時]メニューを開く

[MENU] ➡ **[システム設定]** ➡ **[日時]**

- 日時を入力する画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルで日時を設定する

- ジョグダイヤルでフォーカスを移動させたり、数値を選択します。年／月／日／時／分すべてを入力するまで、繰り返します。

3 すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- フォーカスが[OK]に移動します。

4 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す

参考

- [キャンセル]を選択、または[OK]を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。

文字を入力する

文字の入力のしかたを説明します。

- 1 文字入力画面が表示されたら、入力したい場所をジョグダイヤル(◀▶)で選択する
- 2 ジョグダイヤル(▲▼または回転)で文字を選択する
 - 入力できる文字は次のとおりです。▲▼を押し続けると順番に表示されます。16文字まで入力できます。
英数(半角): A～Z, a～z, 0～9
記号(半角): , . : ; ` ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース
 - 入力できない文字は、自動でスキップします。
- 3 入力したい内容が終了するまで、手順1、2を繰り返す
- 4 すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す
 - フォーカスが[OK]に移動します。
- 5 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す



参考

- [キャンセル]を選択、または[OK]を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。
- 本機のRESETボタンを押すと、フォーカスされている文字を消去したり、入力内容をリセットできます。

ファンクション(F)ボタンを使う

本機のFボタンに機能を登録し、ワンタッチで実行できます。Fボタンには、通常モードとCDLモードごとに、異なる機能を割り当てることができます。

- 1 [ディスプレイファンクション]または[ディスプレイファンクション(CDL)]メニューを開く
 [MENU] ➡ [システム設定] ➡ [ファンクション/チャンネルボタン] ➡ [ディスプレイファンクション]または[ディスプレイファンクション(CDL)]
 - ボタンの選択画面が表示されます。
- 2 ジョグダイヤルでボタン名を選択し、押して決定する
- 3 ジョグダイヤルで登録したい機能を選択する
 - 設定できる機能は「ディスプレイのFボタンに登録できる機能(📺96)」をご覧ください。
- 4 ジョグダイヤルを押して決定する
 - 設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機の各Fボタンには、次の内容が登録されています。

Fボタン	通常モード時	CDLモード時
F1	コントラスト	CDL RGB
F2	ブライトネス	CDL SOP/SAT
F3	タイムコード	CDL/User LUTバイパス
F4	WFM/VEC	1入力Dual View
F5	オーディオレベルメーター	フォルスカラー
F6	ズームプリセット	オーバーレンジ
F7	ピクセル値/フレーム輝度	2020 色域外表示
F8	フォルスカラー (OPTION プースト (コントラスト))	比較表示

参考

- Fボタンを長押しすると、機能の選択画面が表示され、登録したい機能を設定できます。
- 本機のFボタンに登録されている機能を確認できます。

[MENU]  [システム設定]  [OSD設定]  [ファンクションボタンガイド]メニューを開き、[オン]を選択します。OSD非表示中にジョグダイヤルを押すと、機能一覧が表示されます。

チャンネル(CH)ボタンを使う

本機のCHボタンにチャンネル(入力信号に関する各種設定)を登録し、ワンタッチでチャンネルを切り換えることができます。

1 [ディスプレイチャンネル]メニューを開く

[MENU]  [システム設定]  [ファンクション/チャンネルボタン]  [ディスプレイチャンネル]

- ボタンの選択画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルでボタン名を選択し、押して決定する

3 ジョグダイヤルで登録したいチャンネルを選択する

- 設定できる内容は[チャンネル設定] (P.64)をご覧ください。

4 ジョグダイヤルを押して決定する

- 設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機各CHボタンと各チャンネルには、次の内容が登録されています。

CH		CH1	CH2	CH3	CH4	CH5
入力設定	V1710	6G/3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW	6G/3G/HD-SDI	6G/3G/HD-SDI
	V1711	12-3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI
入力信号選択		オート	オート	オート	オート	オート
Image Division		オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット		オート	オート	オート	オート	オート
音声端子		オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/WFM/VEC端子		Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名		(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード  タイプ		ノーマル	ノーマル	ノーマル	4K/2K	L/R
ピクチャーモード ピクチャーモード L ピクチャーモード 4K		ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	CINEMA EOS SYSTEM	User 1 (2020 PQ)	User 1 (2020 PQ)
ピクチャーモード R ピクチャーモード 2K		ITU-R BT.709				
Payload Colorimetry UHD		ITU-R BT.2020				
Payload Colorimetry 709		ITU-R BT.709				
Payload Colorimetry VANC		—				
Payload Colorimetry Unknown		—				
Camera CINEMA EOS SYSTEM		CINEMA EOS SYSTEM				
Camera ARRI		User 6				
Camera VARICAM		User 7				
1入力 Dual View		オフ	オフ	オフ	オート	オフ
セパレーター		オフ	オフ	オフ	オフ	ホワイト

CH	CH6	CH7	CH8	CH9	CH10～CH20	
入力設定	V1710	6G/3G/HD-SDI	6G/3G/HD-SDI	6G/3G/HD-SDI	6G/3G/HD-SDI	—(未設定)
	V1711	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI	—(未設定)
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート	
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート	
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート	
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート	
Marker/TC/WFM/VEC端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A	
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	
ピクチャーモード  タイプ	L/R	4K/2K	L/R	L/R	ノーマル	
ピクチャーモード ピクチャーモード L ピクチャーモード 4K	User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 2 (2020 HLG)	User 2 (2020 HLG)	ITU-R BT.709	
ピクチャーモード R ピクチャーモード 2K	ITU-R BT.709					
Payload Colorimetry UHD	ITU-R BT.2020					
Payload Colorimetry 709	ITU-R BT.709					
Payload Colorimetry VANC	—					
Payload Colorimetry Unknown	—					
Camera CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM					
Camera ARRI	User 6					
Camera VARICAM	User 7					
1入力 Dual View	オート	オート	オフ	オート	オフ	
セパレーター	オフ	オフ	ホワイト	オフ	オフ	

メモ

- CHボタンを長押しすると、チャンネルリストが表示され、チャンネルを選択できます。また、6G-SDI信号 (**V1711**) 12G-SDI または6G-SDI(信号)のみを入力時、[入力信号選択]が[オート]の場合は、入力信号リストが表示され、一時的に信号を切り換えることができます。

信号情報や本機の状態を確認する

本機にはバナーを表示する機能があります。

1 OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤルを押す

- バナーにチャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。6秒後に自動的に消えます。

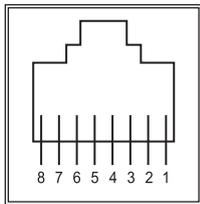
i メモ

- バナーの表示方法を設定できます。(92)
 [MENU] ➡ [システム設定] ➡ [OSD設定] ➡ [バナー表示]
- 詳細な信号情報を確認したい場合には、[シグナルインフォメーション] (98)をご覧ください。
- 入力信号が同期するまでは[同期検出中]というバナーが表示されます。

外部機器を使って本機を操作する [REMOTE端子(GPI)]

REMOTE端子に接続した外部機器から操作して、各ピンに登録した機能を実行できます。外部機器からの操作は、本機の電源が入っているときに行います。

REMOTE端子のピン配列



ピン番号	信号	工場出荷時の設定内容
1	Pin1	CH1
2	Pin2	CH2
3	Pin3	CH3
4	Pin4	タイムコード
5	Pin5	タリー グリーン
6	Pin6	タリー レッド
7	Pin7	電源オン
8	Pin8(GND)	—

1 外部制御機器をREMOTE端子に接続する

2 [リモート(GPI)]メニューを開く

[MENU] ➡ [システム設定] ➡ [ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定] ➡ [リモート(GPI)]

- ピンの選択画面が表示されます。

3 ジョグダイヤルでピン番号を選択し、押して決定する

4 ジョグダイヤルで登録したい機能を選択する

- 設定できる機能は[リモート(GPI)] (92)をご覧ください。

5 ジョグダイヤルを押して決定する

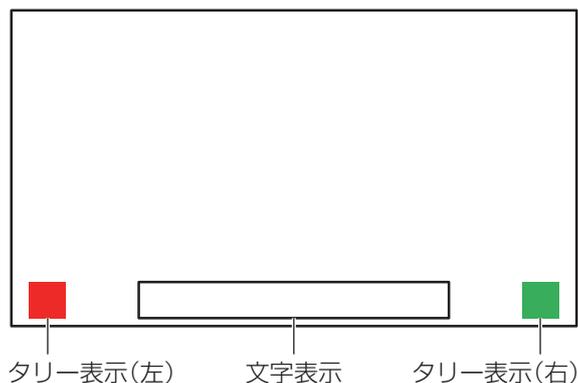
- 設定内容が決定されます。

外部機器を使って本機を操作する [LAN端子]

本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。タリーは、左右に2カ所あります。文字は、16文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。

英数(半角): A～Z、a～z、0～9

記号(半角): , . : ; ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース



- 1 外部制御機器をLAN端子に接続する
- 2 TSLプロトコルの設定で、[SCREEN]と[INDEX]を[0x0000]にする
- 3 [インモニターディスプレイ(IMD)]メニューを開く
 ➤ [システム設定] ➤ [ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定] ➤ [インモニターディスプレイ(IMD)]
- 4 ジョグダイヤルで[コントロール] ➤ [TSL Ver. 5.00]を選択する
 - 外部制御機器からの操作が可能になり、文字とタリーを表示できる状態になります。
- 5 ジョグダイヤルで[ポジション] ➤ [上]または[下]を選択する
 - 文字とタリーの表示位置を設定します。

i メモ

- [Multi View (Dual)]または[Multi View (Quad)]表示時、[INDEX]の設定を[0x0001]～[0x0004]にしてください。
- 制御するポート番号は、「45000」固定です。
- [インモニターディスプレイ(IMD)]では、本機でユーザーが指定した文字を画面に表示することもできます。(P.91)

外部機器を使って本機を操作する [USB端子：Wi-Fi接続]

本機は、USB端子にWi-Fiアダプターを接続し、お使いのWi-Fiネットワーク環境で携帯端末などと接続できます。インフラストラクチャー方式(アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式)で接続します。

- IPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定は、自動で取得します。
- 対応暗号化方式：WEP64(ASCII)、WEP128(ASCII)、WPA-TKIP、WPA-AES(CCMP)、WPA2-TKIP、WPA2-AES(CCMP)

! ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。Wi-Fiを使用しないときは、[Wi-Fi] ➤ [コントロール]の設定を[オフ]にしてください。
- Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。
- 本機は、お使いのWi-Fiアダプターの機能を保証するものではありません。Wi-Fiアダプターに関する不具合は、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。また、Wi-Fiアダプターの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかがご不明な場合は、お使いの機器のメーカーにご確認ください。

i メモ

- 動作確認済み機器(Wi-Fiアダプター)については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
- Wi-Fiアダプターの使いかたや使用上のご注意、接続先のアクセスポイントの設定方法などについては、お使いの機器の使用説明書をご参照いただくか、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 本機に表示できる選択可能なアクセスポイントは、最大24台です。

1 Wi-FiアダプターをUSB端子に接続する

2 [Wi-Fi]メニューを開く

[MENU] ➤ [システム設定] ➤ [ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定] ➤ [Wi-Fi]

3 ジョグダイヤルで[コントロール] ➤ [オン]を選択する

4 ジョグダイヤルで[アクセスポイント]を選択する

5 (使用するアクセスポイントへの接続時にパスワードの入力が必要な場合)パスワードを入力する

- パスワードは24文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。

英数(半角): A～Z、a～z、0～9

記号(半角): _

Webブラウザを使って本機をリモート操作する

LAN端子に接続したコンピューター端末や、USB端子に接続したWi-Fiアダプターを介して接続した携帯端末など(42)で、Webブラウザを使って、本機をリモートで操作します。ネットワーク接続した機器から、画質の設定を変更したり、チャンネルを切り換えたりすることができます。

本機能は、下記のWebブラウザを使用して動作を確認しています。

- Apple社のSafari
- Google社のGoogle Chrome

* すべての対応OS とWebブラウザのバージョンで動作を保証するものではありません。

1 外部制御機器とネットワーク接続をする

2 [Web]メニューを開く

[MENU] ➤ [システム設定] ➤ [ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定] ➤ [Web]

3 ジョグダイヤルで[コントロール] ➤ [オン]を選択する

4 ジョグダイヤルで[ユーザー ID]と[パスワード]を設定する

- ユーザー IDとパスワードは16文字まで入力できます。入力できる文字は、次のとおりです。
英数(半角): A～Z、a～z、0～9
記号(半角): _

5 ネットワーク接続をした機器でWebブラウザを起動する

6 アドレスバーに本機のIPアドレスを入力する

- Webブラウザ上に、リモート操作画面が表示されます。
- ベーシック認証画面が表示されたら、ユーザー IDとパスワードを入力します。

7 操作が終了したら、Webブラウザを閉じる

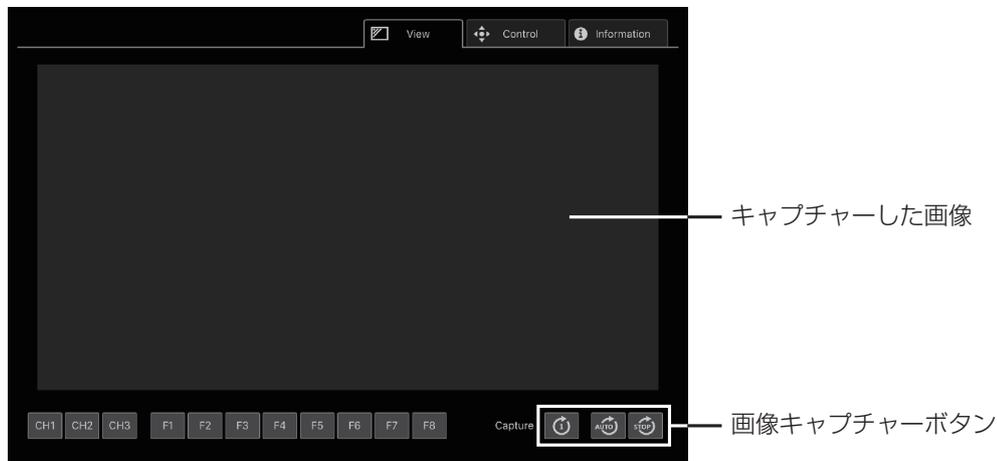
メモ

- 1つの端末からのみアクセスが可能です。
- LANとWi-Fiを使用して同時にアクセスすると、正しく動作しないことがあります。
- Webブラウザの複数のタブでページを開くと、正しく動作しないことがあります。
- [View]画面で[Capture]を実行すると、本機の映像が一時的に静止することがあります。
- Webブラウザを使ってリモート操作中に本体を操作すると、ネットワーク接続が中断されることがあります。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、映像表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- IPアドレスは、[システムインフォメーション]画面で確認できます。

■ 操作画面

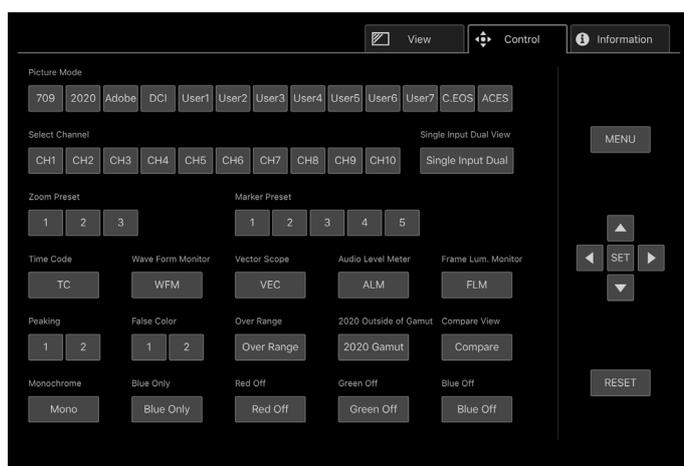
[View] 画面

画像キャプチャーボタンを押すと、キャプチャーした画像が表示されます。また、CHボタンとFボタンの操作ができます。



[Control] 画面

ピクチャーモードやチャンネル、各種マーカーの表示などを設定できます。



[Information] 画面

[画質設定]と[チャンネル設定]の各設定内容、[シグナルインフォメーション]、[システムインフォメーション]の情報を表示します。

Adjustment	
Picture Mode	ITU-R BT.709
Contrast	1000
Brightness	0
Chroma	1000
Sharpness	0
Backlight Control	Local Dimming Low
Color Temperature	D65
Gamma/EOTF	2.2
Color Range	Automatic (Limited)
CDL/User LUT	CDL 3
YCbCr Color Matrix	Automatic
Channel Settings	
Select Channel	CH1
Input Configuration	3G/HD-SDI
Select Input Signal	Automatic
Format	Automatic
Internal Sync	Off

OSDメニューインデックス

画質設定 (📖 49)

- ピクチャーモード
- コントラスト
- ブライトネス
- クロマ
- シャープネス
- バックライトコントロール
- 色温度
- カラーガマット
- ガンマ/EOTF
 - └─ HDRレンジ
- カラーレンジ
- Input Transform
- Output Transform
- Output Transform Surround
- CDL/User LUT
 - └─ タイプ
 - └─ CDLプリセット
 - └─ User LUT
 - └─ Power
 - └─ Saturation
 - └─ Offset
 - └─ Slope
 - └─ CDL/User LUTバイパス
- 詳細設定
 - └─ CDLエクスポート
 - └─ CDLインポート
 - └─ CDLプリセット名
 - └─ CDLアンカー
 - └─ CDLリセット
- 詳細設定
 - └─ ブースト(コントラスト) **OPTION**
 - └─ LUTインポート
 - └─ LUT名
 - └─ LUT消去
 - └─ YCbCr カラーマトリクス
 - └─ 2020 コンスタントルミナンス
 - └─ 2020 ガマットマッピング
 - └─ Hybrid Log-Gamma System
 - └─ HDR/SDR比較表示
 - └─ キャリブレーション
 - └─ HDMIリンク
 - └─ ピクチャーモードコピー
 - └─ ピクチャーモード名
- 画質設定アンカー
- 画質設定リセット

チャンネル設定 (📖 64)

- セレクトチャンネル
- 入力設定
- 入力信号選択
- Image Division
- フォーマット
- 音声端子
- Marker/TC/WFM/VEC端子
- インターナルシンク
- チャンネル名
- ピクチャーモード
- 1入力 Dual View
- セパレーター

ディスプレイ設定 (📖69)

- スクリーンスケール
- アナモフィック
- スケール法
- ズーム
 - ズームプリセット
 - 倍率
 - ポジション
- フレームホールド
- I/PsF
- PsF
- I/P変換
- フィルムケイデンス

オーディオ設定 (📖72)

- SDIグループ
- CH L/R(SDI)
- CH L/R(HDMI)
- 音量
- 音声切換

マーカー設定 (📖73)

- マーカープリセット
- アスペクトマーカー
 - 表示
 - マスク
 - アスペクト比
 - ライン
 - ラインの太さ
 - ラインの色
 - ラインの明るさ
 - Hポジション
 - Vポジション
- セーフティゾーンマーカー1、2
 - 表示
 - アスペクト比
 - エリアのサイズ
 - 倍率(%)
 - 幅(ドット)
 - 高さ(ドット)
 - エリアの形
 - ラインの太さ
 - ラインの色
 - ラインの明るさ
 - Hポジション
 - Vポジション
- エリアマーカー
 - 表示
 - Hポジション
 - Vポジション
 - 幅(ドット)
 - 高さ(ドット)
 - マスク
 - ライン
 - ラインの太さ
 - ラインの色
 - ラインの明るさ
- センターマーカー
 - 表示
 - サイズ
 - ラインの太さ
 - ラインの色
 - ラインの明るさ
- グリッドマーカー
 - 表示
 - 間隔
 - ラインの太さ
 - ラインの色
 - ラインの明るさ

ファンクション設定 (78)

- タイムコード
 - 表示
 - タイプ
 - サイズ
 - ポジション
 - Hオフセット
 - タイプ文字表示
 - 明るさ
- 波形モニター
 - 表示
 - 信号選択
 - 表示形式
 - ライン選択
 - ポジション
 - スケール
 - 基準ライン
 - 基準レベル
 - 基準レベル 高
 - 基準レベル 低
 - カラー
 - 明るさ **OPTION**
- ベクトルスコープ
 - 表示
 - ターゲット
 - ポジション
- オーディオレベルメーター
 - 表示
 - チャンネル数(SDI)
 - チャンネル数(HDMI)
 - サイズ
 - ピークホールド
 - 基準レベル
- ピクセル値チェック
 - 表示
 - Hポジション
 - Vポジション
 - リセットポジション
- フレーム輝度モニター
 - 表示
 - リセット
 - ピーク輝度上昇基準レベル
 - 平均輝度上昇基準レベル
- テストパターン
- スクリーンキャプチャー
 - キャプチャー実行
 - フレームホールド
 - キャプチャー対象
 - ファイル形式
 - ファイル再生
 - ファイル再生 終了
- カメラリンク
 - 自動画質設定(CINEMA EOS)
 - カラーガンマット/ガンマ/EOTF
 - 色温度
 - 表示カラーガンマット
 - 自動画質設定(ARRI)
 - User LUT
 - 自動画質設定(VARICAM)
 - User LUT
 - アナモフィック
 - エリアマーカー
 - タリー
 - ファン
 - カメラインフォメーション

ピクチャーファンクション設定 (87)

- ピーキング
 - 表示
 - モノクロ
 - 周波数
 - レンジ
 - カラー
- フォルスカラー
 - 表示
 - タイプ
 - HDRレンジ
 - レンジ
- オーバーレンジ
 - 表示
 - レンジ(HDR/SDR)
- 2020 色域外表示
 - 表示
 - カラーガンマット
 - レンジ
- モノクロ
- ブルーオンリー
- レッドオフ
- グリーンオフ
- ブルーオフ
- 比較表示
 - 表示
 - タイプ
 - HDR/SDR 変換方式

システム設定 (90)

- ファンクション/チャンネルボタン
 - ディスプレイファンクション
 - ディスプレイファンクション(CDL)
 - ディスプレイチャンネル
- 言語
- 日時
- ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定
 - ネットワーク
 - Wi-Fi
 - Web
 - インモニターディスプレイ(IMD)
 - リモート(GPI)
- ディ스플레이名
- OSD設定
 - バナー表示
 - ファンクションボタンガイド
- 設定プロテクト
 - パスワード
 - プロテクト対象
 - プロテクト
- 電源ランプ/本体ボタンLED設定
 - 電源ランプ 明るさ
 - 本体ボタン 点灯設定
 - 本体ボタン名 点灯時間(秒)
- ファン設定
 - ファンコントロール
 - ファン停止
- 互換設定
 - HDMI
 - カラーレンジ
 - バックライトコントロール
 - バックライトフラッシュ低減
- ファームウェア/ライセンスアップデート
- エクスポート/インポート
- パワーオン設定
- 全設定リセット

シグナルインフォメーション (98)

システムインフォメーション (98)

画質設定

画質を調整したり、キャリブレーションを実施するときに使うメニューです。工場出荷時の設定内容は、[ピクチャーモード]によって異なります(62)。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピクチャーモード	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1(2020 PQ) User 2(2020 HLG) User 3(DCI PQ) User 4～User 7 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy(Ver. 1.0.1) ¹	プリセットモードを選択します。 [SMPTE-C]、[EBU]、[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、 [Adobe RGB]、[DCI-P3]：各規格の輝度、色温度、ガンマ/EOTF、 3原色色度点の色域に設定されたモードです。 [User 1～7] (User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、 User 3(DCI PQ)、User 4～User 7)：[画質設定]にある各項目をそれ ぞれ設定できるモードです。モード名は半角英数記号16文字以内 で変更できます(58)。 [CINEMA EOS SYSTEM]：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影 した映像を表示するときに最適なモードです。カメラリンク機能 で、画質設定を自動的に切り換えます([自動画質設定(CINEMA EOS)] 82)。 [ACESproxy(Ver. 1.0.1)]：ACESproxyの映像を、ガンマ/EOTF、色 域を最適にして表示するモードです。
コントラスト ²	0～3000 OPTION [ブースト(コントラ スト)] ➤ [オン]のとき 0～6000	画像の白レベルを調整します。(1刻み) ● OPTION [ブースト(コントラスト)]が[オン]のときは、[コントラ スト[ブースト]]と表示されます。 ● DC電源の場合、[バックライトコントロール]が[ローカルディミング 強/弱]のとき、設定値の上限が[1000]になります。
ブライトネス	-500～500(0)	画像の黒レベルを調整します。(1刻み)
クロマ ³	0～2000(1000)	画像の彩度(色の濃さ)を調整します。(1刻み)
シャープネス	0～100(0)	画像の鮮明さを調整します。(1刻み)
バックライトコントロー ル ⁴	ローカルディミング 強 ローカルディミング 弱 オフ OPTION [ブースト(コントラ スト)] ➤ [オン]のとき グローバルディミング オフ	バックライトの制御方法を切り換えます。 [ローカルディミング 強/弱]：バックライトの発光量をエリアごとに 制御する技術です。表示するコンテンツに合わせて、画像の明るい 部分はバックライトを明るくし、暗い部分はバックライトを暗くし ます。 OPTION [ローカルディミング 強/弱]を選択時に[ブースト(コントラ スト)]を[オン]にすると、[グローバルディミング]になります。 [グローバルディミング]：画面全体でバックライトの発光量を制御する 技術です。暗い画像であれば、全体を暗くします。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
色温度 ⁵	D93、D65、 D65 Custom、D61、 D60、D56、D50、 DCI-P3 カスタム(xy)、オフ • プリセットを選択時 ゲインR/G/B： 0～ 1023 バイアスR/G/B： -500～500(0) • カスタム(xy)を選択時 x：0.260～0.360 y：0.260～0.360	色温度を設定します。( 28) [D93]、[D65]、[D61]、[D60]、[D56]、[D50]、[DCI-P3]：プリセットの色温度を選択します。 [D65 Custom]：本機と表示特性の異なるディスプレイとの色調整用プリセットです。D65を基準にして、ゲインとバイアスを調整します。 [ゲインR/G/B]、[バイアスR/G/B]：プリセットの色温度を調整します。(1刻み) [カスタム(xy)]：CIE x, y で調整します。(0.001刻み)
カラーガマット ⁶	SMPTE-C、 EBU、 ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020、 Adobe RGB、 DCI-P3 Native Cinema Gamut to 709、 Cinema Gamut to 2020、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to 709、 DCI-P3+ to DCI、 Preset Gamut 1 to 709 Preset Gamut 1 to 2020 Preset Gamut 1 to DCI Preset Gamut 2 to 709 Preset Gamut 2 to 2020 Preset Gamut 2 to DCI Gamut LUT 1～ Gamut LUT 8	色域を設定します。 [ピクチャーモード]  [User 1-7]または[CINEMA EOS SYSTEM]のとき [SMPTE-C]、[EBU]、[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、 [Adobe RGB]、[DCI-P3]：各基準に準拠した色域です。 [Native]：本機で表現可能な色域です。 [Cinema Gamut to 709]、[Cinema Gamut to 2020]、 [Cinema Gamut to DCI]、[DCI-P3+ to 709]、[DCI-P3+ to DCI]：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影したCinema Gamut、DCI-P3+の映像をモニタリングするために、色域を変換するモードです。 [Preset Gamut 1 to 709]、[Preset Gamut 1 to 2020]、 [Preset Gamut 1 to DCI]、[Preset Gamut 2 to 709]、 [Preset Gamut 2 to 2020]、[Preset Gamut 2 to DCI]：色域を変換するプリセットモードです。 [Gamut LUT 1]～[Gamut LUT 8]：外部のLUTを選択します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ガンマ/EOTF ⁷	1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、 ITU-R BT.1886、 SMPTE ST 2084 (PQ)、 Hybrid Log-Gamma、 Hybrid Log-Gamma RGB、 Canon Log、 Canon Log (HDR)、 Canon Log 2、 Canon Log 2 (HDR)、 Canon Log 3、 Canon Log 3 (HDR)、 Preset Log 1 Preset Log 2 Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8 オフ	<p>ガンマ/EOTFを設定します。</p> <p>[1.0]、[2.2]、[2.35]、[2.4]、[2.6]、[ITU-R BT.1886]、[Canon Log]、 [Canon Log 2]、[Canon Log 3]、[Preset Log 1]、[Preset Log 2]： プリセットのガンマを選択します。</p> <p>[SMPTE ST 2084 (PQ)]、[Hybrid Log-Gamma]、 [Hybrid Log-Gamma RGB]、[Canon Log (HDR)]、 [Canon Log 2 (HDR)]、[Canon Log 3 (HDR)]：HDR表示用のガン マ/EOTFを選択します。</p> <p>[Gamma LUT 1]～[Gamma LUT 8]：外部のLUTを選択します。</p> <p>※ [Hybrid Log-Gamma] について 本機では、下記の2方式に対応しています。</p> <p>[Hybrid Log-Gamma]：Y信号に対して、システムガンマ処理を行う 方式 (ITU-R BT.2100 準拠)</p> <p>[Hybrid Log-Gamma RGB]：RGB信号に対して、システムガンマ処 理を行う方式</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
HDRレンジ	HDR表示用ガンマ/EOTFを選択時の表示方法を設定します。	
SMPTE ST 2084 (PQ)	100～10000 (1000)	[SMPTE ST 2084 (PQ)]が持つ0.005～10,000 cd/m ² (nits)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100～4000：100刻み。4000～10000：1000刻み)
Hybrid Log-Gamma	100～ 1000	[Hybrid Log-Gamma]が持つダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 上限値は、[Hybrid Log-Gamma System]の設定内容に応じて変わります。(57)
Hybrid Log-Gamma RGB	100～ 1000 /2000	
Canon Log (HDR)	100～ 800	[Canon Log]が持つ0～800%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Canon Log 2 (HDR)	100～ 1600	[Canon Log 2]が持つ0～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Canon Log 3 (HDR)	100～ 1600	[Canon Log 3]が持つ0～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Preset Log 1	100～1400(1000)	[Preset Log]のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Preset Log 2	100～3900(1000)	
Gamma LUT 1～Gamma LUT 8	512～ 1023	LUTデータの10-bit (0～1023)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(1刻み)

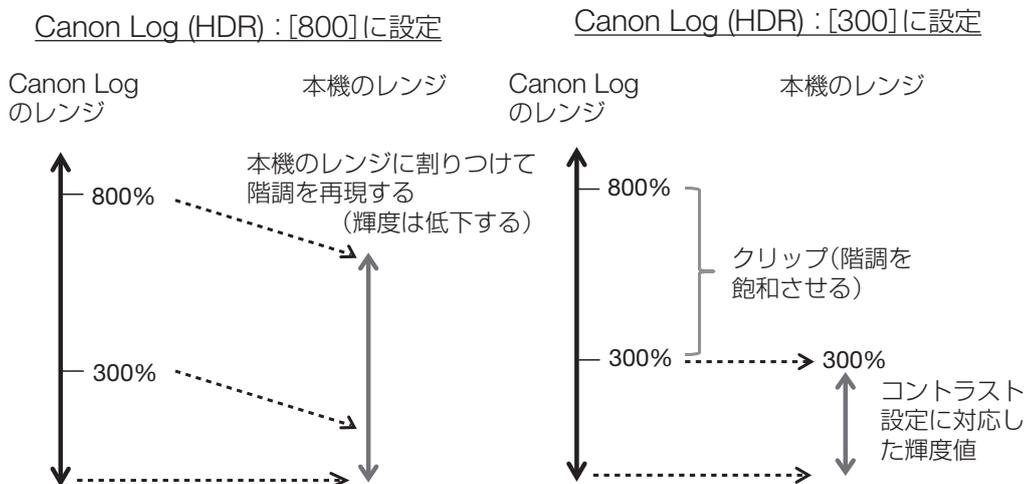
※設定のしかた

Canon Log (HDR)を例にとって説明します。

最大値(800)に設定すると、Canon Logの800%のダイナミックレンジを、本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。見た目の明るさは低下しますが、映像信号に含まれるダイナミックレンジを確認できます。[300]に設定した場合は、Canon Logの300%を超える部分はクリップ(階調を飽和させる)し、300%以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。

本機の表示輝度は、コントラスト設定値に対応した明るさになります。

Canon Logの800%の信号 (コントラスト：[3000])



サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
カラーレンジ ⁸	オート フル SDIフル(4-1019) リミテッド [カラーレンジ] ▶ [互換優先]のとき (📖94) オート フル(0-1023) SDIフル(4-1019) リミテッド1(64-940) リミテッド2 (64-1023)	量子化レンジを設定します。 [オート]: 信号情報から自動的にレンジを設定します。
Input Transform	オート オフ	[ピクチャーモード] ▶ [ACESproxy (Ver. 1.0.1)]のとき [3G-SDI RAW]の信号に(📖64)、ACES Input Transformを適用するかを設定します。 [オート]: 自動で適用します。 [オフ]: 適用しません。
Output Transform	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 DCI-P3	[ピクチャーモード] ▶ [ACESproxy (Ver. 1.0.1)]のとき [ガンマ/EOTF]、[カラーガンマット]に代わって表示されます。 [ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、[DCI-P3]: ACESproxyをそれぞれのモードに変換します。
Output Transform Surround	Dim Surround Dark Surround	[ピクチャーモード] ▶ [ACESproxy (Ver. 1.0.1)]のとき [ガンマ/EOTF]、[カラーガンマット]に代わって表示されます。 [Dim Surround]: ACESproxyで規定されているDim Surround処理を有効にします。 [Dark Surround]: ACESproxyで規定されているDark Surround処理を有効にします。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
CDL/User LUT ⁹	CDLまたはUser LUTの各種設定をします。	
タイプ	CDL User LUT オフ	タイプを選択します。
[タイプ] ➡ [CDL]のとき		
CDLプリセット	CDL 1～CDL 15	CDLのプリセットを選択します。
Power	0.50～4.00(1.00)	画像のガンマを調整します。(0.01刻み)
Saturation	0.000～2.000 (1.000)	画像の彩度を調整します。(0.001刻み)
Offset	-1.000～1.000 (0.000)	画像の黒レベルを調整します。(0.001刻み)
Slope	0.000～2.000 (1.000)	画像の白レベルを調整します。(0.001刻み)
CDL/User LUTバイパス	オン、 オフ	[オン]にすると、CDLでの調整結果を一時的に無効にし、調整前の画質に戻すことができます。
詳細設定		
CDLエクスポート		CDLでの調整値をエクスポートします。
CDLプリセット	CDL 1～CDL 15 すべて	
ファイル形式	CCC CDL	
実行		
CDLインポート		CDLでの調整値をインポートします。
ファイル名		
CDLプリセット	CDL 1～CDL 15	
実行		
CDLプリセット名		半角英数字記号16文字以内で、プリセットモードの名称を設定できます。
CDLアンカー		[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]の各調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。(アンカーポイントの設定)
CDLリセット		CDLでの調整値をリセットします。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
[タイプ] ▶ [User LUT]のとき		
User LUT	User LUT 1 ~ User LUT 8 [ピクチャーモード] ▶ [User 1-7]のとき ARRI (Rec2100-PQ-1K-100) ARRI (Rec2100-HLG-1K-200) VARICAM (V-Log to V-709) 2020 PQ to 2020 SDR 2020 PQ to 709 SDR 2020 HLG to 709 HLG	外部のLUT、ARRI社製/パナソニック社製シネマカメラ用LUTプリセット、またはHDR/SDR変換用LUTプリセットを設定します。
CDL/User LUTバイパス	オン、 オフ	[オン]にすると、User LUTを適用する前の画質に戻すことができます。
詳細設定 ▶	ピクチャーモードの詳細な設定をします。	
OPTION ブースト (コントラスト) ¹⁰	オン、 オフ	輝度を上げることができます(AC電源を使用時)。 [ブースト(コントラスト)]の設定により、[コントラスト]の上限値と[バックライトコントロール]の設定が変わります。 [オン]: [コントラスト]の設定値は[0 ~ 6000]です。 [バックライトコントロール]が[ローカルディミング 強/弱]のときに[ブースト(コントラスト)]を[オン]にすると、[グローバルディミング]になります。 [オフ]: [コントラスト]の設定値は[0 ~ 3000]です。
LUTインポート	LUTのインポートができます。インポートできるファイルの名称は、英数字記号(半角)で48文字までです(拡張子を含む)。	
ファイル名		ファイル名を選択します。
LUTタイプ	User LUT Gamma LUT Gamut LUT	LUTの種類を選択します。
LUT選択	User LUT 1~8 Gamma LUT 1~8 Gamut LUT 1~8	
基準カラーガマット	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 Adobe RGB DCI-P3 Native	[LUTタイプ] ▶ [Gamut LUT]のとき LUT作成時に使用した色域を選択します。
実行		インポートを実行します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
LUT名	半角英数字記号24文字以内で、LUTの名称を設定できます。	
LUTタイプ	User LUT Gamma LUT Gamut LUT	LUTの種類を選択します。
LUT選択	User LUT 1~8 Gamma LUT 1~8 Gamut LUT 1~8	
名称入力		LUTの名称を入力します。
LUT消去	インポートしたLUTを消去します。	
LUTタイプ	User LUT Gamma LUT Gamut LUT	LUTの種類を選択します。
LUT選択	User LUT 1~8 Gamma LUT 1~8 Gamut LUT 1~8	
消去		消去を実行します。
YCbCr カラーマトリクス	オート ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020	入力信号がYCbCrフォーマットのときのマトリクス変換方法を設定します。 [オート]: [ピクチャーモード]または[カラーガマット]の設定が [ITU-R BT.2020]のときはITU-R BT.2020規格、それ以外は ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 [ITU-R BT.709]: ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 [ITU-R BT.2020]: ITU-R BT.2020規格に準拠したマトリクス係数を設定します。
2020 コンスタントルミナンス ¹¹	コンスタント ノンコンスタント	[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➤ [ITU-R BT.2020]のとき き カラーマトリクスの変換方法を設定します。 [コンスタント]: YUV信号をリニアに変換した後、RGB信号に変換します。 [ノンコンスタント]: YUV信号をガンマ0.45のままRGB信号に変換します。
2020 ガマットマッピング	ガマットマッピング クリッピング	[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➤ [ITU-R BT.2020]のとき き [ガマットマッピング]: ネイティブ色域外の色をキャノン独自の方式でマッピングします。 [クリッピング]: ネイティブ色域外の色を一般的な方式でクリップします。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
Hybrid Log-Gamma System	[ガンマ/EOTF] ▶ [Hybrid Log-Gamma]のとき 1.000 ~ 1.500 (1.200) [Hybrid Log-Gamma RGB]のとき γ1.2 - 1000 cd/m² γ 1.2 - 2000 cd/m ²	システムガンマ値、またはピーク輝度を設定します。 [Hybrid Log-Gamma]のとき：システムガンマ値を調整します。(0.005刻み) [Hybrid Log-Gamma RGB]のとき：ピーク輝度を設定します。各設定値の最大値が、[HDRレンジ]の上限値になります。
HDR/SDR比較表示 ¹²	オン、オフ	HDR(High Dynamic Range)とSDR(Standard Dynamic Range)の表示を比較できます。 [オン]：右画面はSDRの輝度で表示されます。 [オフ]：比較表示をしません。
キャリブレーション ¹³	[ピクチャーモード] ▶ [User 1-7]のとき 設定した目標値をもとにキャリブレーションを実行します。	
ルミナンス	48 ~ 300(100) cd/m ²	目標輝度を設定します。
色温度	D93、 D65 、D61、 D60、D56、D50、 DCI-P3、 カスタム(xy) • カスタム(xy)を選択時 x：0.260 ~ 0.360 (0.313) y：0.260 ~ 0.360 (0.329)	目標色温度を設定します。 [D93]、[D65]、[D61]、[D60]、[D56]、[D50]、[DCI-P3]：プリセットの色温度を選択します。 [カスタム(xy)]：CIE x, y で調整します。(0.001刻み)
カラーガマット	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3	色域を設定します。
ガンマ	2.2 、2.35、2.4、2.6、 ITU-R BT.1886	目標ガンマを設定します。
スタート		キャリブレーションを実行します。
HDMIリンク ¹⁴	[ピクチャーモード] ▶ [User 1-7]のとき HDMIのメタデータを使い、映像の画質設定に連動した画質で表示します。	
自動設定	オン、 オフ	
カラーガマット/ガンマ/EOTF	オン 、オフ	本機の[カラーガマット]、[ガンマ/EOTF]の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。
コントラスト/HDRレンジ	オン 、オフ	本機の[コントラスト]、[HDRレンジ]、 OPTION [ブースト(コントラスト)]の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピクチャーモードコピー ¹⁵	[ピクチャーモード] ➡ [User 1-7]のとき ピクチャーモードの設定内容をコピーします。	
コピー元ピクチャーモード	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 ~ User 7	コピー元のピクチャーモードを選択します。 [User 1-7]：現在設定しているモード以外から選択します。
実行		コピーを実行します。
ピクチャーモード名		[User 1-7]の名前を、半角英数字記号16文字以内で変更できます。
画質設定アンカー	OK キャンセル	[コントラスト]、[ブライトネス]、[クロマ]、[シャープネス]、[HDRレンジ]の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます(アンカーポイントの設定)。 [OK]：アンカーポイントを設定します。 [キャンセル]：アンカーポイント設定を実行せずに、1つ前の画面に戻ります。
画質設定リセット	OK キャンセル	[ピクチャーモード]の設定内容を工場出荷時に戻します。キャリブレーションを実行している[User 1-7]モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。 選択すると[画質設定の設定値を初期状態に戻しますか?]というメッセージが表示されます。 [OK]：リセットを実行します。 [キャンセル]：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

- ¹ [ACESproxy (Ver. 1.0.1)]は、[チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]、[4K/2K]または[オート]の場合、設定できません。
- ² [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]の場合、右画面の[ピクチャーモード]では[コントラスト]を設定できません。左画面の設定値に固定されます。
- ³ [CDL/User LUT]の[User LUT]を選択時は、調整できません。
- ⁴ ● [グローバルディミング]が設定されているとき、階調性を保持するため画像によっては一時的にコントラストが変わる場合があります。気になる場合には[オフ]にしてご確認ください。
- [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]の場合、右画面の[ピクチャーモード]では[バックライトコントロール]を設定できません。左画面の設定値に固定されます。
- ⁵ ● [カスタム (xy)]と、[ゲインR/G/B]または[バイアスR/G/B]は同時に選択できません。
- [ゲインR/G/B]または[バイアスR/G/B]を調整している場合、プリセットの色温度モードに[*]が表示されます。
- 表示される色度座標(x, y)の値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。
- ⁶ CINEMA EOS SYSTEMの映像を確認するときは「CINEMA EOS SYSTEMと本機の設定値対応表(85)」をご参照ください。

- 7 • 次の場合、設定できません。
- [ピクチャーモード]が[ACESproxy (Ver. 1.0.1)]を選択時
 - [User LUT]が[User LUT 1]～[User LUT 8]以外を選択時
- CINEMA EOS SYSTEMカメラとARRI社製/パナソニック社製シネマカメラの映像を確認するときは、[カメラリンク] ➤ [自動画質設定]をご参照ください(82)。
- [カラーガマット]と選択できる[ガンマ/EOTF]の関係は次のとおりです。[カラーガマット]を変更した場合、現在設定中の[ガンマ/EOTF]の設定内容が選択できないときは、下線の値(初期値)に変更されます。

ピクチャーモード	カラーガマット	選択できるガンマ/EOTF
SMPTE-C	選択不可	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
EBU		オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
Adobe RGB		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
DCI-P3		オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
CINEMA EOS SYSTEM、 User 1-7	SMPTE-C	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
	EBU	オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
	ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
	Adobe RGB	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
	DCI-P3	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
	Native	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
	Cinema Gamut to 709、 Cinema Gamut to 2020	2.2、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	Cinema Gamut to DCI	Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	DCI-P3+ to 709、 DCI-P3+ to DCI	Canon Log、 <u>Canon Log (HDR)</u>
	Preset Gamut 1 to 709 Preset Gamut 1 to 2020 Preset Gamut 2 to 709 Preset Gamut 2 to 2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8
Preset Gamut 1 to DCI Preset Gamut 2 to DCI	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Preset Log 1、Preset Log 2、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8	
Gamut LUT 1～ Gamut LUT 8	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1～Gamma LUT 8	

- 8 • [ピクチャーモード]の[ACESproxy (Ver. 1.0.1)]を選択時は、設定できません。
- [オート]時の動作は、次のとおりです。
 - カメラのメタデータにカラーレンジの設定が含まれている場合は、その設定内容に応じて設定されます。
 - HDMI選択時は、HDMI信号情報により[フル]または[リミテッド]（[フル(0-1023)]または[リミテッド1(64-940)]）に自動的に設定されます。
 - SDI選択時は、[ピクチャーモード]、[カラーガマット]、[ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて設定されます。

	設定内容	設定されるカラーレンジ			
		[システム設定] ➤ [互換設定] ➤ [カラーレンジ]			
		[ノーマル]のとき	[互換優先]のとき		
ピクチャーモード	DCI-P3				
カラーガマット	DCI-P3	フル	フル(0-1023)		
	Cinema Gamut to DCI				
	DCI-P3+ to DCI				
ガンマ/EOTF	Canon Log (HDR)				
	Canon Log 2 (HDR)				
	Canon Log 3 (HDR)				
	Preset Log 1				
	Preset Log 2				
	Canon Log			リミテッド	リミテッド2(64-1023)
	Canon Log 2				
Canon Log 3					
上記以外		リミテッド1(64-940)			

- [フォーマット] ➤ [ICtCp]の場合の動作は、次のとおりです。
 - [カラーレンジ]の[フル]以外を選択時、[波形モニター]は[カラーレンジ]で設定されている信号のみを表示します。
 - [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[L/R]のとき：左画面の[カラーレンジ]の設定内容に固定されるのは、次のとおりです。
 - ・ 1端子入力を全画面表示時
 - ・ [2 Sample Interleave]または[Dual Link 3G-SDI]信号を表示時
- 9 • [User LUT]を選択している場合、[CDL]の全項目、[クロマ]および[ブルーオンリー]は操作できません。
- [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]を選択時、[HDRレンジ] ➤ [SMPTE ST 2084 (PQ)]の設定は[1000]になります。
- [ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]を選択時、[HDRレンジ] ➤ [Hybrid Log-Gamma]の設定は[1000]になります。
- [User LUT]の設定内容により、[カラーガマット]と[ガンマ/EOTF]は下記の設定内容に固定されます。

User LUT	カラーガマット	ガンマ/EOTF
ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)
ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma
VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2
2020 PQ to 2020 SDR	ITU-R BT.2020	2.4
2020 PQ to 709 SDR	ITU-R BT.709	
2020 HLG to 709 HLG	ITU-R BT.709	—

- 10 • 右画面のピクチャーモードでは設定できません。左画面の設定値に固定されます。
- [ブースト(コントラスト)]が[オン]のときに[バックライトコントロール]の設定を変更すると、[ブースト(コントラスト)]が[オフ]時の[バックライトコントロール]の設定も変更されます。

- ¹¹ ● SD-SDI信号は[ノンコンスタント]固定です。
- [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[L/R]のとき：[2020 コンスタントルミナンス]が[ノンコンスタント]に固定されるのは、次のとおりです。ただし、左右画面の[カラーガマット]が[ITU-R BT.2020]のときは、左画面の設定内容に固定されます。
 - 1端子入力を全画面表示時
 - [2 Sample Interleave]または「Dual Link 3G-SDI」信号を表示時
- ¹² ● 右画面の[ピクチャーモード]を選択時は、設定できません。
- 左画面の[コントラスト]が[1000]以下に設定されている場合は、左右の画面の輝度が同じになります。
- ¹³ ● DC電源を使用時、キャリブレーションは実行できません。
- [ルミナンス]を高輝度に設定した場合、[色温度]の設定内容によっては、輝度の調整範囲を越えて、目標値より低い輝度でキャリブレーションされる場合があります。その場合は、[ルミナンス]を再設定してください。
 - 右画面の[ピクチャーモード]では、キャリブレーションは実行できません。
- ¹⁴ ● HDMIメタデータと本機の設定値対応表

HDMIメタデータ		本機の設定値
カラーガマット	BT.709	ITU-R BT.709
	BT.2020	ITU-R BT.2020
ガンマ/EOTF	Traditional SDR	2.2
	PQ	PQ
	Hybrid Log-Gamma	Hybrid Log-Gamma

- [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[L/R]のとき、[HDMIリンク]は設定できません。
- ¹⁵ [User 1-7]以外の[ピクチャーモード]の場合は、工場で行ったキャリブレーション結果がコピーされます。

■ 各[ピクチャーモード]の工場出荷時の設定内容

設定項目	SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
コントラスト	1000	1000	1000	1000	1000	480
OPTION	1000	1000	1000	1000	1000	480
ブライトネス	0	0	0	0	0	0
クロマ	1000	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス	0	0	0	0	0	0
バックライトコントロール	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱
OPTION	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング
色温度	プリセット	D65	D65	D65	D65	DCI-P3
	x	0.313	0.313	0.313	0.313	0.314
	y	0.329	0.329	0.329	0.329	0.351
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023([D65 Custom]のとき：1000/1023/1023)				
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0
ガンマ/EOTF	2.2	2.35	2.2	2.2	2.2	2.6
カラーガマット	SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
カラーレンジ	オート	オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform	－	－	－	－	－	－
Output Transform	－	－	－	－	－	－
Output Transform Surround	－	－	－	－	－	－
CDLプリセット	CDL 1	CDL 2	CDL 3	CDL 4	CDL 5	CDL 6
User LUT	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
ブースト(コントラスト)	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
OPTION						
YCbCr カラーマトリクス	オート	オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミ ナンス	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント
2020 ガマットマッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System	[ガンマ/EOTF] ▶ [Hybrid Log-Gamma]のとき：1.200 [ガンマ/EOTF] ▶ [Hybrid Log-Gamma RGB]のとき：γ1.2-1000 cd/m ²					
HDR/SDR比較表示	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名	－	－	－	－	－	－

設定項目	User 1	User 2	User 3	User 4 ~ User 7	CINEMA EOS SYSTEM	ACESproxy (Ver. 1.0.1)
コントラスト	3000	3000	3000	1000	3000	480
OPTION	6000	6000	6000	1000	6000	480
ブライトネス	0	0	0	0	0	0
クロマ	1000	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス	0	0	0	0	0	0
バックライトコントロール	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱
OPTION	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング	グローバル ディミング
色温度	プリセット	D65	D65	DCI-P3	D65	D65
	x	0.313	0.313	0.314	0.313	0.313
	y	0.329	0.329	0.351	0.329	0.329
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023 ([D65 Custom]のとき : 1000/1023/1023)				
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0
ガンマ/EOTF	SMPTE ST 2084 (PQ)	Hybrid Log- Gamma	SMPTE ST 2084 (PQ)	2.2	Canon Log 2 (HDR)	—
カラーガマット	ITU-R BT.2020	ITU-R BT.2020	DCI-P3	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	—
カラーレンジ	オート	オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform	—	—	—	—	—	オート
Output Transform	—	—	—	—	—	DCI-P3
Output Transform Surround	—	—	—	—	—	Dark Surround
CDLプリセット	CDL 7	CDL 8	CDL 9	CDL 10-13	CDL 14	CDL 15
User LUT	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
ブースト(コントラスト)	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
OPTION						
YCbCr カラーマトリクス	オート	オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミ ナンス	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント	ノンコンスタ ント
2020 ガマットマッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System	[ガンマ/EOTF] ▶ [Hybrid Log-Gamma]のとき : 1.200 [ガンマ/EOTF] ▶ [Hybrid Log-Gamma RGB]のとき : γ 1.2-1000 cd/m ²					
HDR/SDR比較表示	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名	User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 3 (DCI PQ)	—	—	—

チャンネル設定

入力信号に関する設定を行うときに使うメニューです。[セレクトチャンネル]からチャンネルを選択して、設定します。

※「対応信号フォーマット」(103)

64

サブメニュー	設定内容	
セレクトチャンネル ¹	CH1 ~ CH20	チャンネル番号を表示して、チャンネルを切り換えます。また、各チャンネルには、[チャンネル設定]の各内容を設定できます(137)。
入力設定	V1710 6G/3G/HD-SDI 3G-SDI RAW SD-SDI HDMI – (未設定) V1711 12G-3G/HD-SDI 3G-SDI RAW SD-SDI HDMI – (未設定)	入力を選択します。工場出荷時の設定内容はチャンネルによって異なります(138)。
入力信号選択 ²	オート Quad Input Dual Input A,B Dual Input C,D Single Input A Single Input B Single Input C Single Input D	信号の表示方法を設定します(22)。 [オート]: 入力信号に合わせて、自動で判別します。 [Quad Input]: 4つの入力信号(Input A ~ Input D端子)を表示します。 [Dual Input A,B]: 2つの入力信号(Input A端子とInput B端子)を表示します。 [Dual Input C,D]: 2つの入力信号(Input C端子とInput D端子)を表示します。 [Single Input A]、[Single Input B]、[Single Input C]、 [Single Input D]: 1つの入力信号(Input A ~ Input Dのいずれかの端子)を表示します。

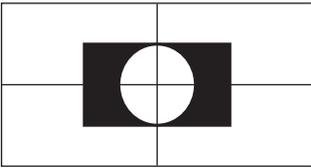
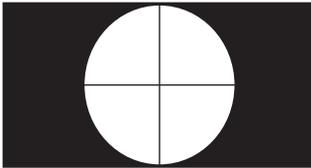
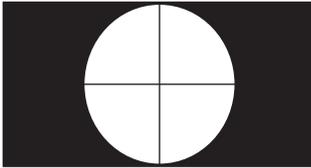
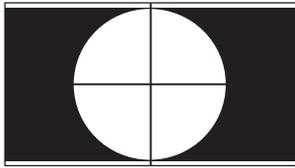
サブメニュー	設定内容
Image Division	<p>[Quad Input]または[Dual Input]の場合の表示方法を設定します。4K映像の信号は、「Square Division」と「2 Sample Interleave」の2つの分割方式に対応しています。</p> <p>[入力設定] ▶ [6G/3G/HD-SDI (V1711 12-3G/HD-SDI)]、[入力信号選択] ▶ [Quad Input] のとき</p> <p>オート Square Division 2 Sample Interleave Multi View (Quad)³</p> <p>[オート]: Payloadをもとに、自動判別して表示します。 [Square Division]: 4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 [2 Sample Interleave]: 2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 [Multi View (Quad)]: 4入力それぞれの映像を、4画面に表示します。</p> <p>[入力設定] ▶ [6G/3G/HD-SDI (V1711 12-3G/HD-SDI)]、[入力信号選択] ▶ [Dual Input A,B]または[Dual Input C,D]のとき</p> <p>オート Square Division 2 Sample Interleave Dual Link 3G-SDI Multi View (Dual)³</p> <p>[オート]: Payloadをもとに、自動判別して表示します。 [Square Division]: 4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 [2 Sample Interleave]: 2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 [Dual Link 3G-SDI]: Dual Linkの3G-SDI信号を、1映像として表示します。 [Multi View (Dual)]: 2入力それぞれの映像(Input A,BまたはInput C,D)を、2画面に表示します。</p> <div data-bbox="719 1140 1393 1308" style="text-align: center;"> </div> <p>入力信号選択: Quad Input、Image Division: Square Division</p>
フォーマット ⁴	<p>SDI信号の場合</p> <p>オート 4:2:2 YCbCr 10-bit 4:2:2 YCbCr 12-bit 4:4:4 YCbCr 10-bit 4:4:4 YCbCr 12-bit 4:2:2 ICtCp 10-bit 4:2:2 ICtCp 12-bit 4:4:4 ICtCp 10-bit 4:4:4 ICtCp 12-bit 4:4:4 RGB 10-bit 4:4:4 RGB 12-bit 4:4:4 XYZ 10-bit 4:4:4 XYZ 12-bit</p> <p>HDMI信号の場合</p> <p>オート 4:4:4 XYZ 12/10-bit</p> <p>カラーフォーマットと信号の階調を設定します。</p> <p>[オート]: 入力信号にあわせて自動で判別します。</p>

サブメニュー	設定内容	
音声端子 ⁵	[入力信号選択] ▶ [Quad Input]のとき オート、Input A、 Input B、Input C、 Input D [Dual Input A,B]の とき オート、Input A、 Input B [Dual Input C,D]の とき オート、Input C、 Input D	音声端子を設定します。 [オート]: 入力信号に合わせて、自動で判別します。
Marker/TC/WFM/VEC 端子 ⁶	[入力信号選択] ▶ [オート]または[Quad Input]のとき Input A、Input B、 Input C、Input D [Dual Input A,B]の とき Input A、Input B [Dual Input C,D]の とき Input C、Input D	[Multi View (Quad)]または[Multi View(Dual)]表示時、各種マーカー (グリッドマーカーを除く)、タイムコード、波形モニター、ベクトル スコープ、カメラインフォメーション表示の対象となる端子を設定 します。(波形モニターとカメラインフォメーションは、[Multi View (Quad)]表示時のみ)
インターナルシンク	オン、オフ	[Image Division] ▶ [Square Division]のとき 4入力を同期させるかを設定します。 [オン]: 強制的に同期をとります。 [オフ]: 同期をとりません。
チャンネル名		選択したチャンネルに、名前を設定します。入力できる文字は英数字 記号(半角)で、16文字までです。

サブメニュー	設定内容	
ピクチャーモード ⁷	チャンネルごとに[ピクチャーモード]を設定します。	
タイプ	ノーマル L/R 4K/2K オート	[ノーマル]: 1つの[ピクチャーモード]を設定します。 [L/R]: 左右画面ごとに、[ピクチャーモード]を設定します。 [4K/2K]: 4Kまたは2K信号の表示画面ごとに、[ピクチャーモード]を設定します。 [オート]: SDI信号に応じて、[ピクチャーモード]を設定します。カメラのメタデータ→Payload→解像度(4K/2K)の優先順位で、設定した[ピクチャーモード]に切り換わります。
<p>[タイプ] ▶ [ノーマル]のとき ピクチャーモード</p> <p>[タイプ] ▶ [L/R]のとき ピクチャーモード L ピクチャーモード R</p> <p>[タイプ] ▶ [4K/2K]のとき ピクチャーモード 4K ピクチャーモード 2K</p> <p>[タイプ] ▶ [オート]のとき ピクチャーモード 4K ピクチャーモード 2K Payload Colorimetry UHD Payload Colorimetry 709 Payload Colorimetry VANC Payload Colorimetry Unknown Camera CINEMA EOS SYSTEM Camera ARRI Camera VARICAM</p>	<p>SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 ~ User 7 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy (Ver. 1.0.1) -(未設定)</p>	<p>各画面の[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[ACESproxy (Ver. 1.0.1)]: [タイプ]が[ノーマル]のときに設定できません。</p> <p>[-(未設定)]: 入力信号に応じて自動的に画質を切り換えません。[タイプ] ▶ [オート]で、[ピクチャーモード 4K]と[ピクチャーモード 2K]以外を選択時に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> SDI Payload IDのColorimetry Bitは、次の規格に準拠した信号に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> SMPTE ST 2082-10:2015 (12G-SDI Single Link) V1711 SMPTE ST 2081-10:2015 (6G-SDI Single Link) SMPTE ST 2081-11:2016 (6G-SDI Dual Link) SMPTE ST 425-3:2015 (3G-SDI Dual Link) SMPTE ST 425-5:2015 (3G-SDI Quad Link)

ディスプレイ設定

表示のしかたを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スクリーン スケーリング ¹	Native Input Resolution 200% オート	画像をスケーリングして画面にどのように表示するかを設定します。 [Native Input Resolution]: スケーリングをせずに入力信号をそのまま表示します。  1920x1080(オリジナル) [200%]: 縦横2倍に拡大します。  1920x1080→3840x2160 [オート]: 画面全体に拡大／縮小して表示します。  1920x1080→3840x2160  4096×2160→3840×2025
アナモフィック ²	x2.0 x1.5 x1.33 オフ	アナモフィックレンズを使って撮影した映像を確認するときに設定します。設定した倍率に応じて表示します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スケーリング法	シェープトレース バイクュービック ニアレストネイバー	<p>[スクリーンスケーリング]の[200%]または[オート]を選択した場合の、補間法を設定します。</p> <p>[シェープトレース]: ジャギーが目立たない滑らかな斜め線が再現できる、キャノンオリジナルの処理です。</p>  <p>[バイクュービック]: 隣接する画素の情報を利用して補間画素を作る一般的な補間処理です。</p>  <p>[ニアレストネイバー]: 最も近くの画素の情報を用いて新しい画素を作る(コピー)処理です。元の画素をそのまま拡大して確認する場合には適しますが、ジャギーが目立ちます。</p> 
ズーム ³	映像の一部分を拡大します。ズーム機能は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。	
ズームプリセット	ズーム1 ズーム2 ズーム3 オフ	ズームの表示方法を設定します。3つのプリセットがあります。
倍率	x2 x4 x8	ズームの表示倍率を設定します。
ポジション		ズーム調整画面が表示されます。ジョグダイヤルを使って、表示位置を調整します。
フレームホールド ⁴	オン、 オフ	映像を一時停止します。
I/PsF	オート インターレース PsF	<p>インターレース信号またはPsF信号を、どのように表示するか設定します。</p> <p>[オート]: Payloadを元に自動判別し表示します。Payloadがない場合には、インターレースとして表示します。</p> <p>[インターレース]: インターレースとして表示します。</p> <p>[PsF]: PsFとして表示します。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
PsF	プログレッシブ インターレース	PsF信号をどのように表示するか設定します。 [プログレッシブ]: 対になる2フィールドを検知し、画質を優先して補間します。 [インターレース]: 隣接する2フィールドを用いて速度を優先して補間します。
I/P変換	画質優先 速度優先	インターレース信号のI/P変換法を設定します。 [画質優先]: 画質を優先するモードです。[速度優先]より処理時間は長くなります。 [速度優先]: 速度を優先するモードです。
フィルムケイデンス ⁵	2-2 2-3 2-3-3-2 オフ	フィルムケイデンスモードを設定します。 [2-2]: 2-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 [2-3]: 2-3プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 [2-3-3-2]: 2-3-3-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。 [オフ]: フィルムケイデンスモード設定によるプログレッシブ変換を行いません。

- ¹ • 次の場合、[オート]を選択しても、拡大率は最大200%です。
- [ピーキング]、[フォルスカラー]または[オーバーレンジ]が[オン]の場合
- 次の場合、[オート]を選択すると、縮小して表示されます。
- [4096×2160]: [Image Division] ➤ [Square Division]を選択時
- [2048×1080]: [Image Division] ➤ [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]を選択時
- ² 次の場合、設定は無効になります。
- [ピーキング]、[フォルスカラー]または[オーバーレンジ]が[オン]の場合
- ³ • 次の場合、ズーム機能は使用できません。
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中
- テストパターンを表示中
- [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時
- [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[L/R]で、いずれか片方の画面の[2020 コンスタントルミナンス]が[コンスタント]のとき
- ズーム機能を使用中、下記は表示されません。
各種マーカー、波形モニター、ベクトルスコープ、ピクセル値チェック、フレーム輝度モニター
- ズーム機能の設定を変更すると、[フレームホールド]は[オフ]になります。
- 解像度が[1920×1080]の場合、[倍率]を[x2]に設定しても表示位置は変更できません。
- [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[L/R]の場合、左画面の[ピクチャーモード]の設定値になります。
- ⁴ • [ピーキング]が[オン]の場合、設定できません。
- 映像を一時停止中に画質設定を変更した場合、正しく設定が反映されないことがあります。
- ⁵ • [I/P変換]が[画質優先]の場合にのみ設定できます。
- [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時は、設定できません。[オフ]固定になります。

オーディオ設定

ヘッドホン端子からの音声出力を設定するときに使うメニューです。

72

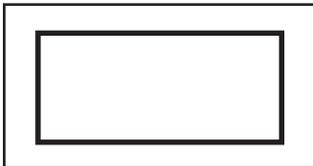
サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
SDIグループ	CH1-CH8 CH9-CH16	SDI音声入力時、入力する音声グループを切り換えます。
CH L(SDI)	[SDIグループ] ▶ [CH1-CH8]のとき CH1 ~ CH8(CH1) [CH9-CH16]のとき CH9 ~ CH16(CH9)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)にどの音声を出力するかをそれぞれ設定します。[SDIグループ]に応じて選択肢が変わります。
CH R(SDI)	[SDIグループ] ▶ [CH1-CH8]のとき CH1 ~ CH8(CH2) [CH9-CH16]のとき CH9 ~ CH16(CH10)	
CH L(HDMI)	CH1 ~ CH8(CH1)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)に、どの音声を出力するかをそれぞれ設定します。
CH R(HDMI)	CH1 ~ CH8(CH2)	
音量	0 ~ 100(30)	音量を設定します。(1刻み)
音声切換	L R L R MIX(L+R)	ステレオ出力を設定します。

マーカー設定

各種マーカーを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
マーカープリセット	マーカー1 ~ 5 オフ	マーカーをカスタマイズして、マーカー1 ~ 5に設定します。
アスペクトマーカー ¹	アスペクトマーカーとは、指定されたアスペクト比で範囲を表示するものです。 	
表示	オン、 オフ	アスペクトマーカーの表示、非表示を切り換えます。
マスク	ブラック ハーフ オフ	マスクの色を切り換えます。マスクとは、マーカーの範囲外のブランキングエリアです。 [ブラック]:  [ハーフ] (50%グレー):  [オフ]: マスクを表示しません。
アスペクト比	16:9 、15:9、14:9、 13:9、4:3、2.39:1、 2.35:1、1.896:1、 1.85:1、1.66:1、 バリエابل •バリエابلを選択時 1.00:1 ~ 3.00:1 (1.78:1)	アスペクトマーカーのアスペクト比を設定します。 [バリエابل]を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。
ライン	オン 、オフ	[マスク]▶[ブラック]または[ハーフ]のとき マスク上の線の表示、非表示を切り換えます。
ラインの太さ	太い 標準 細かい	アスペクトマーカーの線の太さを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ラインの色	ホ ホワイト 、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー	アスペクトマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	アスペクトマーカーの線の明るさを設定します。
Hポジション	-65 ~ 65(0)	設定されたアスペクトのまま、水平位置を移動できます。
Vポジション	-35 ~ 35(0)	設定されたアスペクトのまま、垂直位置を移動できます。
セーフティゾーンマーカー1、2 ¹	セーフティゾーンマーカーは2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。セーフティゾーンマーカーとは、映像の安全範囲(実際に映る範囲)を設定して、映像を確認するものです。 	
表示	オン、 オフ	セーフティゾーンマーカーの表示、非表示を切り換えます。
アスペクト比 ²	16:9 、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエابل •バリエابلを選択時 1.00:1 ~ 3.00:1 (1.78:1)	セーフティゾーンマーカーのアスペクト比を設定します。 [バリエابل]: 数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。
エリアのサイズ	80% 、88%、90%、93%、バリエابل(%）、バリエابل(ドット)	セーフティゾーンマーカーのサイズを設定します。 [バリエابل(%)]：グレー表示されていた[倍率(%)]がアクティブになります。 [バリエابل(ドット)]：グレー表示されていた[幅(ドット)]と[高さ(ドット)]がアクティブになります。
倍率(%)	50 ~ 100(80)	[エリアのサイズ]▶[バリエابل(%)]のとき スライダーを動かすことにより、1%単位で現在表示されているマーカーに対する比率を設定できます。
幅(ドット)	360 ~ 3840(3072)	[エリアのサイズ]▶[バリエابل(ドット)]のとき スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。
高さ(ドット)	240 ~ 2160(1728)	[エリアのサイズ]▶[バリエابل(ドット)]のとき スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
エリアの形	ボックス ブラケット エンクロージャー	セーフティゾーンマーカークのエリアの形を設定します。 [ボックス]:  [ブラケット]:  [エンクロージャー]: 
ラインの太さ	太い 標準 細かい	セーフティゾーンマーカークの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	セーフティゾーンマーカークの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	セーフティゾーンマーカークの線の明るさを設定します。
Hポジション	-65 ~ 65(0)	設定されたアスペクトとサイズのまま、水平位置を移動できます。
Vポジション	-35 ~ 35(0)	設定されたアスペクトとサイズのまま、垂直位置を移動できます。
エリアマーカーク ¹	エリアマーカークは、矩形を設定して所定の部分を確認するときに使用するマーカークです。 	
表示	オン、 オフ	エリアマーカークの表示/非表示を切り換えます。
Hポジション	0 ~ 3830(240)	矩形の描画開始位置(X座標)を設定します。(2刻み)
Vポジション	0 ~ 2150(120)	矩形の描画開始位置(Y座標)を設定します。(2刻み)
幅(ドット)	10 ~ 3840(240)	矩形の幅を設定します。(2刻み)
高さ(ドット)	10 ~ 2160(120)	矩形の高さを設定します。(2刻み)

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
マスク	ブラック ハーフ オフ	マスク(マーカー内)の色を切り換えます。
ライン	オン 、オフ	[マスク]▶[ブラック]または[ハーフ]のとき 矩形輪郭の線の表示、非表示を切り換えます。
ラインの太さ	太い 標準 細い	エリアマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	エリアマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	エリアマーカーの線の明るさを設定します。
センターマーカー ³	センターマーカーとは、映像の中心を表示するものです。 	
表示	オン、 オフ	センターマーカーの表示、非表示を切り換えます。
サイズ	大 中 小	センターマーカーの大きさを設定します。
ラインの太さ	太い 標準 細い	センターマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	センターマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	センターマーカーの線の明るさを設定します。
グリッドマーカー ³	グリッドマーカーとは、水平、垂直を確認するときに使用するマーカーです。 	
表示	オン、 オフ	グリッドマーカーの表示、非表示を切り換えます。
間隔	160 ドット 240 ドット 320 ドット	縦横の線の間隔を設定します。
ラインの太さ	太い 標準 細い	グリッドマーカーの線の太さを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	グリッドマーカークの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	グリッドマーカークの線の明るさを設定します。

¹ 次の場合、マーカークは表示されません。

- 無信号、非対応信号、または[入力設定]が設定されていないチャンネルを選択したとき
- 画像がズーム表示されているとき
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]実行中のとき
- [テストパターン]が表示されているとき

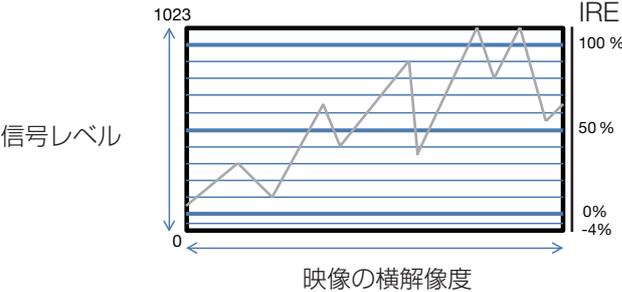
² [エリアのサイズ]で[バリエブル(ドット)]が設定されている場合、[アスペクト比]は選択できません。

³ 次の場合、マーカークは表示されません。

- 画像がズーム表示されているとき

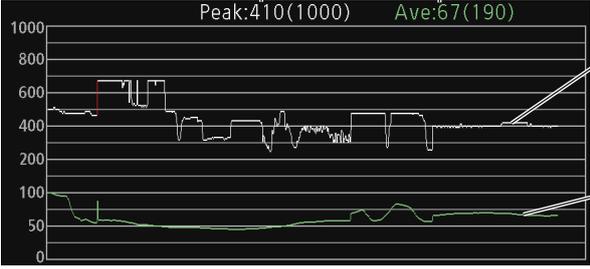
ファンクション設定

映像の信号情報の表示機能や、CINEMA EOS SYSTEMカメラや他社製シネマカメラと連携する機能などを設定するときを使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
タイムコード ¹	信号に重畳されたタイムコードを表示します。 	
表示	オン、 オフ	タイムコードの表示、非表示を切り換えます。
タイプ ²	VITC LTC	タイプを選択します。
サイズ	大 小	サイズを選択します。
ポジション ³	左上 右上 左下 右下	表示位置を選択します。
Hオフセット	0 ~ 1332 (0)	タイムコードの表示位置を調整します。
タイプ文字表示	オン 、オフ	VITC/LTC文字の表示を設定します。
明るさ	ノーマル 、ハーフ	文字の明るさを設定します。
波形モニター ⁴	波形モニターの各種設定をします。波形モニターは、横軸に映像の横解像度、縦軸に信号レベルを配置し表示します。波形モニターの右側に、使用中の[カラーレンジ]と[HDRレンジ]の情報(縦線)を表示します。 	
表示	オン、 オフ	波形モニターの表示/非表示を切り換えます。
信号選択	Y 、Cb、Cr、R、G、B	表示波形を設定します。
表示形式	すべて ライン	表示形式を設定します。 [ライン]: 1ライン分の表示をします。
ライン選択	1 ~ 2160	[ライン]を選択したとき、どのラインを表示するかを選択します。
ポジション ³	左下 右下	表示位置を選択します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)		
スケール	オート IRE ST 2084 (PQ) Full ST 2084 (PQ) Limited Hybrid Log-Gamma Canon Log Canon Log 2 Canon Log 3 Preset Log 1 Preset Log 2 ARRI (Rec2100-PQ-1K-100) ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	波形モニターのスケールを設定します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]の設定内容に応じて設定します。	
基準ライン	4 ~ 1023	指定した位置にガイドが表示されます。[1023]で非表示になります。	
基準レベル	オート マニュアル	基準レベルの範囲を設定します。基準レベルの範囲外を着色します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]の設定内容に応じて設定します。 • HDRレンジに対応した[ガンマ/EOTF]の場合、HDRレンジを超えた部分を着色します。 • [カラーレンジ] ➡ [リミテッド]の場合、リミテッドの範囲外を着色します。	
基準レベル 高	468 ~ 1023	基準表示レベル(高)を設定します。[1023]で非表示になります。	
基準レベル 低	0 ~ 468	基準表示レベル(低)を設定します。[0]で非表示になります。	
カラー	表示する信号と、基準レベルを超えた信号の表示色を設定します。		
Y	ホワイト	[Y]、[Cb]、[Cr]、[R]、[G]、[B]: 選択した信号の色を選択します。各信号の初期値は次のとおりです。 Y(ホワイト)、Cb(ホワイト)、Cr(ホワイト)、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー) [基準レベル 高]、[基準レベル 低]: 選択した基準レベルの信号の色を選択します。各基準レベルの初期値は次のとおりです。 基準レベル 高(マゼンタ)、基準レベル 低(シアン)	
Cb	レッド		
Cr	グリーン		
R	ブルー		
G	イエロー		
B	シアン		
基準レベル 高	マゼンタ		
基準レベル 低			
OPTION 明るさ	オート ノーマル 暗		波形モニターの明るさを設定します。 [オート]: コントラストの値や入力信号の平均輝度値に応じて、自動で明るさを調整します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ベクトルスコープ ⁵	ベクトルスコープの各種設定をします。ベクトルスコープは、横軸に色差信号Cb、縦軸にCrを配置し、色信号の強さや色相を表示します。 <div style="text-align: center;"> <p>(Cb, Cr)=(255, 255)</p> <p>Cr</p> <p>(Cb, Cr)=(0, 0)</p> <p>Cb</p> </div>	
表示	オン、 オフ	ベクトルスコープの表示／非表示を切り換えます。
ターゲット	75% 100%	ターゲットを設定します。
ポジション ³	左下 右下	表示位置を選択します。
オーディオレベルメーター ⁶	オーディオレベルメーターの各種設定をします。選択したチャンネル数の音声レベルを表示します。	
表示	オン、 オフ	オーディオレベルメーターの表示／非表示を切り換えます。
チャンネル数(SDI)	2CH 4CH 6CH 8CH	SDI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。[オーディオ設定]の[SDIグループ]に応じて選択肢が変わります。 [SDIグループ] ▶ [CH1-CH8]のとき [2CH]: CH1 ~ CH2 [4CH]: CH1 ~ CH4 [6CH]: CH1 ~ CH6 [8CH]: CH1 ~ CH8 [SDIグループ] ▶ [CH9-CH16]のとき [2CH]: CH9 ~ CH10 [4CH]: CH9 ~ CH12 [6CH]: CH9 ~ CH14 [8CH]: CH9 ~ CH16
チャンネル数(HDMI)	2CH 4CH 6CH 8CH	HDMI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。 [2CH]: CH1 ~ CH2 [4CH]: CH1 ~ CH4 [6CH]: CH1 ~ CH6 [8CH]: CH1 ~ CH8
サイズ	大 中 小	表示の大きさを設定します。
ピークホールド	オン 、オフ	音声信号がピーク時の1秒間分を保持します。
基準レベル	-40 ~ 0(-20)	基準レベルを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピクセル値チェック ⁷	[ガンマ/EOTF] ▶ [SMPTE ST 2084(PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のとき指定したピクセル(カーソル)位置の輝度とRGB値を測定して表示します。[ピクセル値チェック]は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。	
表示	オン、 オフ	ピクセル値チェックの表示/非表示を切り換えます。
H ポジション	1 ~4096(960)	ピクセル位置(水平)を設定します。
V ポジション	1 ~2160(540)	ピクセル位置(垂直)を設定します。
リセットポジション	ノーマル ピーク輝度周辺	RESETボタンを押下したときの動作を設定します。 [ノーマル]: 初期値にリセットします。 [ピーク輝度周辺]: 表示画像内のピーク輝度エリアの近辺に移動します。
フレーム輝度モニター ⁷	[ガンマ/EOTF] ▶ [SMPTE ST 2084(PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]の場合に、画面全体(フレーム)の「最大/平均輝度」を表示します。それ以外の場合は、「最大/平均階調値」を表示します。[フレーム輝度モニター]は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。	
	<p style="text-align: center;">平均輝度の現在値(累積最大値)</p> <p style="text-align: center;">ピーク輝度の現在値(累積最大値)</p>  <p style="text-align: right;">ピーク輝度</p> <p style="text-align: right;">平均輝度</p>	
表示	オン、 オフ	フレーム輝度モニターの表示/非表示を切り換えます。
リセット		表示内容をリセットします。
ピーク輝度上昇基準レベル	0 ~1000(400)	ピーク輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み)
平均輝度上昇基準レベル	0 ~1000(200)	平均輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み)
テストパターン ⁸	ホワイト(1023)、 ホワイト(940)、 グレー、 ブラック(64)、 ブラック(0)、 Ramp、カラーバー、 カラーバー(PQ Full)、 カラーバー(PQ Limited)、 カラーバー(HLG)、 PLUGE、 PLUGE(PQ/HLG)、 オフ	本機に内蔵されているテストパターンを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スクリーンキャプチャー	画面をキャプチャーします。	
キャプチャー実行		キャプチャーを実行します。USBメモリのルートフォルダーに「YYYYMMDD_hhmmss.bmp」または「YYYYMMDD_hhmmss.jpg」というファイル名で保存します。
フレームホールド	オン、 オフ	映像を一時停止します。
キャプチャー対象	すべて 映像のみ	キャプチャーする対象を選択します。 [すべて]: マーカーや波形モニターなどの映像補助機能やOSDメニューも含めてキャプチャーします。 [映像のみ]: 映像信号のみキャプチャーします。
ファイル形式	JPEG Bitmap	キャプチャーする画像のファイル形式を設定します。
ファイル再生 ⁹	ファイル選択 実行	キャプチャーした画像を再生します。 [ファイル選択]: ファイルを選択します。 [実行]: 再生を実行します。
ファイル再生終了		再生を終了します。
カメラリンク 	CINEMA EOS SYSTEMのカメラ、ARRI社製/パナソニック社製シネマカメラと連携する機能を設定します。	
自動画質設定 (CINEMA EOS)	[ピクチャーモード]  [CINEMA EOS SYSTEM]、[入力設定]  [6G/3G/HD-SDI (V1711 12-3G/HD-SDI)]または[3G-SDI RAW]のとき カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。	
	オン、オフ	[カラーガマット/ガンマ/EOTF]、[色温度]、[カラーレンジ]のすべてを[オン]にした場合の設定値対応表をご参照ください。( 85)
カラーガマット/ガンマ/EOTF	オン、オフ	カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。
色温度	オン、オフ	
表示カラーガマット	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 DCI-P3	カメラの[Color Space]が[Cinema Gamut]または[DCI-P3+]の場合、ディスプレイで表示する色域を設定します。
自動画質設定(ARRI)	[ピクチャーモード]  [User 6]~[User 7]、[入力設定]  [6G/3G/HD-SDI (V1711 12-3G/HD-SDI)]のとき カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。	
	オン、オフ	[CDL/User LUT]  [User LUT]のとき [ARRI]を選択した場合の設定値対応表をご参照ください。( 86)
User LUT	Rec2100-PQ-1K-100 Rec2100-HLG-1K-200 User LUT 1~8	[自動画質設定(ARRI)]  [オン]のとき ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
自動画質設定 (VARICAM)	[ピクチャーモード] ▶ [User 6]～[User 7]、[入力設定] ▶ [6G/3G/HD-SDI (V1711 12-3G/HD-SDI)]のとき カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。	
	オン、オフ	[CDL/User LUT] ▶ [User LUT]のとき [VARICAM]を選択した場合の設定値対応表をご参照ください。 (P.86)
User LUT	V-Log to V-709 User LUT 1～8	[自動画質設定(VARICAM)] ▶ [オン]のとき ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。
アナモフィック	オン、オフ	キヤノン製カメラを本機に接続時、カメラのメタデータにアナモフィックレンズの表示設定が含まれている場合は、設定内容に応じて表示します。
エリアマーカ ¹⁰	ARRI Frame line 1A ARRI Frame line 1B オフ	ARRI社製シネマカメラを本機に接続時、メタデータに応じて、[エリアマーカ]の[Hポジション]、[Vポジション]、[幅]、[高さ]が変わります。
タリー	オン、オフ	カメラが撮影を開始すると、ディスプレイのタリーが赤く点灯します。カメラの撮影停止時には、タリーは消灯します。
ファン ¹¹	オン、オフ	カメラが撮影を開始すると、連動してファンを停止するかを設定します(本機に対応するCINEMA EOS SYSTEMカメラ、キヤノン製業務用ビデオカメラ、ARRI社製シネマカメラ)。[システム設定]の[ファンコントロール]を[オン]にすると、ファンを停止できるモードになり、[ファン]を[オン]にすると、カメラの撮影開始時にファンを停止できます。停止時間は、常温(25℃)で約1分です(DC電源を使用時は約10分)。ファンは、停止前後に、内部温度を低下させるため、通常より速く回転します。
カメラインフォメーション	オート オン オフ	カメラ情報の表示を設定します。 [オート]: カメラ情報が変化したときに、4秒間自動表示します。 [オン]: 常時カメラ情報を表示します。 [オフ]: カメラ情報を表示しません。

- ¹ • 次の場合、タイムコードは表示できません。
- [フレームホールド]が[オン]のとき
 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中
 - [オーディオレベルメーター]と表示位置が重なったとき
 - [テストパターン]を表示中
- [Multi View(Dual)]表示時、[H オフセット]の設定は無効です。
- ² HDMI信号の場合、設定は無効です。[VITC]固定になります。
- ³ [Multi View (Dual)]表示時、設定は無効になります。

- 4 ● 次の場合、[波形モニター]は表示できません。
 - 画像がズーム表示されているとき
 - [フレームホールド] (インターレース信号またはPsF信号時)が[オン]のとき
 - [ピーキング]が[オン]のとき
 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中
 - [テストパターン]を表示中
 - [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時は、[Marker/TC/WFM/VEC端子]で設定した信号のみ表示されます。
 - [波形モニター]を[オン]にすると、[ベクトルスコープ]は[オフ]になります。
 - [スケール] ▶ [オート]を選択時：[チャンネル設定] ▶ [ピクチャーモード] ▶ [タイプ]が[L/R]のときは、左画面の[ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]のスケールが表示されます。[Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]の場合、[チャンネル設定]の[Marker/TC/WFM/VEC端子]で設定した端子の[ガンマ]と[カラーレンジ]のスケールが表示されます。
- 5 ● 次の場合、[ベクトルスコープ]は表示できません。
 - 画像がズーム表示されているとき
 - [フレームホールド] (インターレース信号またはPsF信号時)が[オン]のとき
 - [フォルスカラー]が[オン]のとき
 - [ピーキング]が[オン]のとき
 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中
 - [テストパターン]を表示中
 - [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時は、[Marker/TC/WFM/VEC端子]で設定した信号のみ表示されます。
 - [ベクトルスコープ]を[オン]にすると、[波形モニター]は[オフ]になります。
- 6 [フレームホールド]が[オン]、[スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中、または[テストパターン]を表示中は、[オーディオレベルメーター]は表示できません。
- 7 ● 次の場合、[ピクセル値チェック]と[フレーム輝度モニター]は表示されません。
 - 画像がズーム表示されているとき
 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中
 - [テストパターン]を表示中
 - [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時
 - [チャンネル設定] ▶ [ピクチャーモード] ▶ [タイプ]が[L/R]のとき
 - 無信号または非対応信号を入力時
 - [ピクセル値チェック]または[フレーム輝度モニター]の表示中にOSDメニューを操作すると、更新に時間がかかったり、[フレーム輝度モニター]のグラフ表示がリセットされることがあります。
- 8 ● 電源を入れ直した場合、テストパターンは表示されません。
 - 次の場合、テストパターンは消去されます。
 - キャリブレーションが開始されたとき
 - CHボタン、チャンネルアップ/ダウンが登録されたFボタン、[チャンネル設定]の[セレクトチャンネル]でチャンネルを切り換えたとき
 - [チャンネル設定]の[入力設定]または[入力信号選択]を切り換えたとき
 - [全設定リセット]を実行したとき
- 9 キャプチャーした画像を、本機以外で再生すると、正確な色で再生されない場合があります。
- 10 [マーカプリセット]が[オフ]の場合は、表示されません。
- 11 ● ファン停止中に本体内の温度が高くなった場合には、[温度が高くなったため、まもなくファンの回転を再開します]のメッセージが表示され、約10秒後に回転を始めます。本体の温度が高くなっているため、通常より速く回転します。
 - 本体内の温度上昇により、ファンの回転が再開する時間は、カメラより早い場合があります。
 - 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。

■ CINEMA EOS SYSTEMと本機の設定値対応表

CINEMA EOS SYSTEM	DP-V1710 / DP-V1711	
Color Space	カラーガマット	色温度
BT.709	ITU-R BT.709	D65
BT.2020	ITU-R BT.2020	D65
DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3
DCI-P3+	DCI-P3+ to 709	D65
	DCI-P3+ to DCI-P3	DCI-P3
Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65
	Cinema Gamut to 2020	D65
	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3
RAW Gamut	Cinema Gamut to 709	D65
	Cinema Gamut to 2020	D65
	Cinema Gamut to DCI-P3	DCI-P3

CINEMA EOS SYSTEM	DP-V1710 / DP-V1711	
ガンマ/EOTF	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
Canon Log	Canon Log (HDR)	—
Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)	
RAW Gamma		
Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)	1000
ST 2084, PQ	SMPTE ST 2084(PQ)	
Normal(BT.709)	2.2	
Wide DR		
EOS Std.		
DCI-P3	2.6	

■ ARRI社製シネマカメラと本機の設定値対応表

ARRI社製シネマカメラ	DP-V1710 / DP-V1711				
Color Space	表示カラー ガンマット	CDL/ User LUT	カラー ガンマット	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
REC 709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
REC 2020	—	—	ITU-R BT.2020	2.2	—
Wide Gamut Log C	Rec2100-PQ- 1K-100	ARRI (Rec2100-PQ- 1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000
	Rec2100-HLG- 1K-200	ARRI (Rec2100-HLG- 1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma	—
	User LUT 1～8	User LUT 1～8	—	—	—

■ パナソニック社製シネマカメラと本機の設定値対応表

パナソニック社製 シネマカメラ	DP-V1710 / DP-V1711				
Color Space	表示カラー ガンマット	CDL/ User LUT	カラー ガンマット	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
V-709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
V-Log	V-Log to V-709	VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2	—
	User LUT 1～8	User LUT 1～8	—	—	—

ピクチャーファンクション設定

映像補助機能などを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピーキング ¹	輪郭を着色して表示し、フォーカスの確認などに使用します。ピーキングをカスタマイズして、ピーキング1、2に設定します。	
表示	ピーキング1 ピーキング2 オフ	ピーキングの表示モードと非表示を切り換えます。 [ピーキング1]または[ピーキング2]の詳細な設定をします。
モノクロ	[ピーキング1]のとき オン 、オフ [ピーキング2]のとき オン、 オフ	映像をモノクロ表示にします。
周波数	[ピーキング1]のとき 低 中 高 [ピーキング2]のとき 低 中 高	輪郭強調信号の中心周波数を設定します。
レンジ	-3 ~ 3(0)	着色する帯域の幅を設定します。
カラー	ホワイト、 レッド 、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ	着色の色を設定します。
フォルスカラー ²	映像の輝度レベルごとに異なる色で表示し、露出状態や輝度の分布が確認しやすくなります。	
表示	フォルスカラー1 フォルスカラー2 オフ	フォルスカラーの表示モードと非表示を切り換えます。 [フォルスカラー1]または[フォルスカラー2]の各設定をします。
タイプ	オート IRE SMPTE ST 2084 (PQ) Hybrid Log-Gamma	着色する色の表示方法を設定します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて設定します。
HDRレンジ	[フォルスカラー1]の とき オン、 オフ [フォルスカラー2]の とき オン 、オフ	[HDRレンジ]の設定値を超えた部分のみを別の色で表示できます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
レンジ	着色する色の範囲を設定します。	
タイプ	SMPTE ST 2084 (PQ) Hybrid Log-Gamma	<p>[ガンマ/EOTF] ➤ [Hybrid Log-Gamma]の場合は[Hybrid Log-Gamma]、それ以外の場合は[SMPTE ST 2084(PQ)]を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [SMPTE ST 2084(PQ)]のときの設定値(100～1000：10刻み、1000～4000：100刻み、4000～10000：1000刻み) モノクロ/青：100～200 青/水色：150～400 水色/緑：400～1000 緑/黄：600～4000 黄/橙：800～8000 橙/赤：1000～10000 [Hybrid Log-Gamma]のときの設定値(10刻み) モノクロ/青：100～200 青/水色：150～300 水色/緑：200～500 緑/黄：300～700 黄/橙：400～900 橙/赤：500～1000
オーバーレンジ ³	映像をモノクロで表示し、設定した範囲を超える部分を着色して表示します。	
表示	オン、 オフ	[オーバーレンジ]の表示/非表示を切り換えます。
レンジ(HDR)	オート 、マニュアル	<p>[オート]：[ガンマ/EOTF] ➤ [SMPTE ST 2084]または[Hybrid Log-Gamma]のとき、[HDRレンジ]の設定値を超えた部分のみを着色します。</p> <p>[マニュアル]：[SMPTE ST 2084(PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]で設定した範囲の超えた部分のみを着色します。</p>
SMPTE ST 2084 (PQ)	100～10000(1000)	着色する色の範囲を設定します。(100～1000：10刻み、1000～4000：100刻み、4000～10000：1000刻み)
Hybrid Log-Gamma	100～1000(1000)	着色する色の範囲を設定します。(10刻み)
レンジ(SDR)	512～1023(940)	着色する色の範囲を設定します。(1刻み)
2020 色域外表示 ³	[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➤ [ITU-R BT.2020]のとき映像をモノクロで表示し、選択したカラーガマットを超える色域の部分を赤色で表示します。	
表示	オン、 オフ	[2020 色域外表示]の表示/非表示を切り換えます。
カラーガマット	ITU-R BT.709 Native	色域外とする[カラーガマット]を設定します。
レンジ	0～512(0)	<p>暗部を着色するときの範囲を設定します。(1刻み)</p> <p>0：暗部すべてに着色します。</p> <p>512：設定値以下の暗部には着色しません。</p>
モノクロ ⁴	オン、 オフ	モノクロで表示します。
ブルーオンリー ⁵	オン、 オフ	赤と緑信号をカットし、青信号のみをモノクロで表示します。
レッドオフ ⁴	オン、 オフ	赤信号をカットして表示します。
グリーンオフ ⁴	オン、 オフ	緑信号をカットして表示します。
ブルーオフ ⁴	オン、 オフ	青信号をカットして表示します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
比較表示 ⁶	画質の設定が異なる画像を左右2画面で表示して比較することができます。(左右画面の[ピクチャーモード]が同じとき)	
表示	オン、 オフ	比較モードでの表示／非表示を設定します。
タイプ	HDR/SDR CDL/User LUT	比較する画像のタイプを設定します。 [HDR/SDR]：HDRとSDRの画像を表示します。 [CDL/User LUT]：左画面のみ、[CDL]または[User LUT]を適用した画像を表示します。
HDR/SDR 変換方式	[タイプ] ➡ [HDR/SDR]のとき 2020 HDR to 709 SDR 2020 HDR to 2020 SDR User LUT 1～8 オフ	SDRに設定された画面の表示方法を設定します。 [2020 HDR to 709 SDR]、[2020 HDR to 2020 SDR]：[ガンマ/EOTF]の設定値に応じて、設定が異なります。 [SMPTE ST 2084(PQ)]：各設定に対応した[User LUT]を適用します。 [Hybrid Log-Gamma]：各設定に対応した[User LUT]を適用します。[User LUT] ➡ [2020 HLG to 709 HLG]の場合、[2020 HDR to 709 SDR]を選択時の[ガンマ/EOTF]は[2.4]になります。 [Canon Log(HDR)]、[Canon Log 2(HDR)]、 [Canon Log 3(HDR)]：[Canon Log]、[Canon Log 2]または[Canon Log 3]を適用します。 [Preset Log 1]、[Preset Log 2]：[HDRレンジ] ➡ [Preset Log 1]または[Preset Log 2]の設定値[100]を設定します。 [User LUT 1～8]：指定した[User LUT]を適用します。 [オフ]：輝度のみを下げます。

- ¹
 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中は、[ピーキング]は表示できません。
 - [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
 - [表示]は、電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
- ²
 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中は、[フォルスカラー]は表示できません。
 - [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
 - [表示]は、電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
 - [タイプ]の[IRE]を選択時、[HDRレンジ]の設定は無効になります。
- ³
 - [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
 - [表示]は、電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
- ⁴
 - [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
 - 電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
- ⁵
 - [CDL/User LUT]の[User LUT]を選択時、[ブルーオンリー]は設定できません。
 - [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
 - 電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
- ⁶
 - 次の場合、[比較表示]は設定できません。
 - [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [L/R]のとき
 - [ピーキング]、[フォルスカラー]、[オーバーレンジ]または[2020 色域外表示] ➡ [表示] ➡ [オン]のとき
 - [モノクロ]、[ブルーオンリー]、[レッドオフ]、[グリーンオフ]または[ブルーオフ] ➡ [オン]のとき

システム設定

本機のシステムに関する設定をするときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ファンクション/チャンネルボタン	FボタンやCHボタンに登録する機能やチャンネルを設定します。	
ディスプレイファンクション/ディスプレイファンクション(CDL)	本機のFボタンに登録する機能を設定します(96)。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(96)。	
ディスプレイチャンネル	ディスプレイのCHボタンに登録するチャンネルを設定します。	
CH1	CH1 ~ CH20(CH1)	CHボタンを選択して、チャンネル番号を登録します。リストは[チャンネル設定] (64)で設定されている内容が表示されます。
CH2	CH1 ~ CH20(CH2)	
CH3	CH1 ~ CH20(CH3)	
言語	English 日本語 簡体中文	OSDやメッセージの表示言語を設定します。
日時		年/月/日/時/分を設定します。
ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定		
ネットワーク ¹	本機のネットワークの設定をします。	
IPアドレス取得	自動 手動	[自動]: DHCP/Auto IPにより自動で取得します。 [手動]: IPアドレスとサブネットマスクを手動で設定します。
ディスプレイ		192.168.0.1
サブネットマスク		255.255.255.0
Wi-Fi		
コントロール	オン、 オフ	Wi-Fiを使って本機をネットワークに接続し、外部機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。(42)
アクセスポイント		接続するアクセスポイントを設定します。[アクセスポイント]の初期値は未設定です。パスワードの入力が必要な場合は、半角英数字記号24文字以内で設定できます。パスワードの初期値は未設定です。(42)
Web		
コントロール	オン、 オフ	ネットワークまたはWi-Fiに接続した機器のWebブラウザから、本機をリモートで操作するときに、外部機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。(43)
ユーザー ID		ユーザー IDとパスワードを設定します。[ユーザー ID]と[パスワード]は、半角英数字記号16文字以内で設定できます。[ユーザー ID]と[パスワード]の初期値は[user]です。(43)
パスワード		

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
インモニターディスプレイ(IMD)	本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。本機から直接、任意の文字を入力することもできます。文字は、半角英数字記号16文字以内で設定できます。(P41)	
コントロール	TSL Ver. 5.00 マニュアル オフ	接続機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。 [マニュアル]：本機で文字を入力するときを選択します。接続機器からの制御信号は受け付けません。
ポジション	上 下	文字とタリーの表示位置を、画面の上部または下部に設定します。
マニュアル表示種別	オート Single Dual A,B Dual C,D Quad A,B,C,D	[オート]：入力設定に応じて、表示を変更します。 [Single]：1画面表示します。 [Dual A,B]、[Dual C,D]：2画面に表示します。 [Quad A,B,C,D]：4画面に表示します。
マニュアル表示名 (Single)		[コントロール] ▶ [マニュアル]のとき 選択した[マニュアル表示名]に、表示する文字を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
マニュアル表示名 (Dual/Quad A)		
マニュアル表示名 (Dual/Quad B)		
マニュアル表示名 (Dual/Quad C)		
マニュアル表示名 (Dual/Quad D)		

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
リモート(GPI) ²	REMOTE端子に接続したスイッチャーなどの外部機器から、本機を操作できます。GND(No.8ピン)をNo.1～7に接続することで、ショートされている間、動作します。	
Pin1	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020	各GPIのピンに機能を登録します。(P.40) • [タリー グリーン] [タリー レッド]を組み合わせると、[タリー アンバー]になります。
Pin2	Adobe RGB DCI-P3 User 1(2020 PQ) User 2(2020 HLG) User 3(DCI PQ)	
Pin3	User 4～User 7 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy	
Pin4	(Ver. 1.0.1) CH1～CH5 アスペクトマーカ ³ 、 セーフティゾーンマ ³	
Pin5	カー1/2 ³ 、 エリアマーカ ³ 、 センターマーカ ³ 、 グリッドマーカ ³	
Pin6	タイムコード、 波形モニター、 ベクトルスコープ オーディオレベルメ ³	
Pin7	タリー グリーン タリー レッド 電源オン ⁴ －(未設定)	
ディスプレイ名	本機の名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。	
OSD設定		
バナー表示	オート 、オン、オフ	電源を入れたり、チャンネルを変更したりしたときに表示されるバナーの表示方法を設定します。バナーには、チャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。 OSD非表示中にジョグダイヤルを押したときにもバナーを表示しますが、[オート]または[オフ]のときは、約6秒後に消去します。 [オート]: バナーを表示したら、約4秒後に自動的に消えます。 [オン]: バナーを表示し続けます。 [オフ]: バナーを表示しません。
ファンクションボタンガイド	オン 、オフ	[オン]: OSD非表示中にジョグダイヤルを押すと、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を表示します。 [オフ]: ファンクションボタンガイドを表示しません。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
設定プロテクト	設定内容を変更できないようにします。MENUボタンを押した場合[シグナル/システムインフォメーション]は表示しますが、それ以外は操作できないためグレー表示になります。	
パスワード		プロテクトをする場合のパスワードを設定します。数字4桁(0000～9999)です。パスワードの初期値は未設定です。
プロテクト対象	ピクチャーモードとセレクトチャンネルは、プロテクト設定の対象からはずすことができます。	
ピクチャーモード	オン 、オフ	[オン]:[ピクチャーモード]の設定内容をプロテクトします。 [オフ]:[ピクチャーモード]の設定内容をプロテクト対象からはずします。
セレクトチャンネル	オン 、オフ	[オン]:[セレクトチャンネル]の設定内容をプロテクトします。 [オフ]:[セレクトチャンネル]の設定内容をプロテクト対象からはずします。
ファンクション設定	オン 、オフ	[オン]:[ファンクション設定]の設定内容をプロテクトします。 [オフ]:[ファンクション設定]の設定内容をプロテクト対象からはずします。
プロテクト		プロテクトするときは[OK]を選択します。パスワード設定時はパスワードを入力後、[OK]を選択します。 ※設定プロテクトの解除のしかた [プロテクト]にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押しします。パスワード設定時はパスワードを入力後、[OK]を選択します。
電源ランプ/本体ボタンLED設定		
電源ランプ 明るさ	オフ 1～5(3)	本機の電源ランプの明るさを調整します。数字が大きくなるほど明るくなります。
本体ボタン 点灯設定	オン 、オフ	Fボタンと文字盤のランプを設定します。
本体ボタン名 点灯時間(秒)	60 、30、10、5	何も操作しないときに、文字盤のランプが消灯するまで時間(秒)を設定します。
ファン設定	本体内のファンの動作を設定します。	
ファンコントロール	オン、 オフ	撮影や静かな環境などで本機を使用するときに、ファンの音を消去できます。 手動でファンを停止させるとき、または、カメラの撮影開始時に連動してファンを停止させる(83)ときに、事前に設定します。[オン]にすると、ファンを停止できるモードになります。
ファン停止 ⁵	オン、 オフ	[ファンコントロール]を[オン]にしているときに、[ファン停止]を[オン]にすると、ファンを停止できます。停止時間は、常温(25℃)で約1分です(DC電源を使用時は約10分)。ファンは、停止前後に、内部温度を低下させるため、通常より速く回転します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
互換設定	HDMI機器との接続互換性や、本機のファームウェアのバージョンによって異なる機能の動作を設定します。	
HDMI	ノーマル 互換優先1 互換優先2	[ノーマル]: すべてのフォーマットに対応します。 [互換優先1]: [通常]で映像が正しく表示されない場合に設定します。 ディスプレイ本体のもつ輝度以上のHDR信号は非対応です。 [互換優先2]: [通常]または[互換優先1]で映像が正しく表示されない場合に設定します。[4K50.00P/60.00P]とHDR信号は非対応になります。
カラーレンジ	ノーマル 互換優先	[ノーマル]: [カラーレンジ]の設定を、本機のファームウェアのVersion 1.2以降の新方式にします。 [互換優先]: [カラーレンジ]の設定を、本機のファームウェアのVersion 1.1以前の従来方式にします。
バックライトコントロール	ノーマル 互換優先	[ノーマル]: ファームウェアがVersion1.1以前の場合と比較して、HDRの動画視認性が向上します。 [互換優先]: ファームウェアがVersion1.1以前の場合と同等の表示になります。
バックライトフラッシュ低減	オン 、オフ	[画質設定] ➡ [バックライトコントロール]の[オフ]以外を選択時、暗いシーンから明るいシーンに切り替わるときなど、輝度差のある映像表示時に発生するフラッシュのように見える現象を低減します。
ファームウェア/ライセンスアップデート	ファームウェアをアップデートしたり、ライセンスファイルを適用するときに使用します。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。	
エクスポート/インポート ⁶	メインメニューのエクスポート/インポートの設定をします。	
エクスポート		
ターゲット	USB User 1 ~ User 3	エクスポート先を選択します。 [USB]: USBメモリーにエクスポートします。 [User 1]~[User 3]: 本体内のメモリーにエクスポートします。
ファイル名		工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv1710.dat」(V1711 [dinfo_dpv1711.dat])です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。
実行		エクスポートを実行します。
インポート		
ターゲット	USB User 1 ~ User 3	インポートするファイルの保存先を指定します。
ファイル名		拡張子(.dat)のファイルを表示し、選択します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
設定種別	すべて 画質設定 チャンネル設定 ディスプレイ設定 オーディオ設定 マーカー設定 ファンクション/システム設定	インポートする設定を選択します。
実行		インポートを実行します。
パワーオン設定	ラストメモリー User 1 ~ User 3	電源投入後のディスプレイの設定状態を選択できます。 [ラストメモリー]: 前回電源を切ったときの設定で起動します。 [User 1]~[User 3]: [エクスポート]で [User 1]~[User 3]に保存した設定で起動します。
全設定リセット	OK キャンセル	すべての設定を工場出荷時に戻します。選択すると[すべての設定を工場出荷時の設定に戻しますか?]というメッセージが表示されます。 [OK]: リセットを実行します。 [キャンセル]: リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

¹ [パワーオン設定]が[User 1]~[User 3]の場合は設定できません。

² 次の場合、正しく機能が動作しません。

- 複数のPinに同じ機能を登録したとき
- [リモート(GPI)]や各ピンに登録した機能の設定内容の変更を、各ピンをショートさせた状態で行ったとき

³ [マーカープリセット]が[オフ]の場合は、表示できません。

⁴ [Pin7]にのみ、登録できます。

- ⁵
- [オン]を選択しても[温度が高いため、ファンを停止できません。]のメッセージが表示された場合は、停止できません。本体内部の温度が下がるまでお待ちください。
 - ファン停止中に本体内の温度が高くなった場合には、[温度が高くなったため、まもなくファンの回転を再開します]のメッセージが表示され、約10秒後に回転を始めます。本体の温度が高くなっているため、通常より速く回転します。
 - [オフ]にするとファンの回転が再開します。通常より速く回転します。
 - 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。

⁶ • 次の設定内容はエクスポート/インポートされません。

画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)
ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド
ピクチャーファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、オーバーレンジ(表示)、2020 色域外表示(表示)、テストパターン、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示(表示)
システム設定	日時、ファン停止、エクスポート/インポート、パワーオン設定

- User LUTのデータは、[ターゲット]の[User 1]~[User 3]にはエクスポート/インポートされません。
- 本機からエクスポートしたデータは、ファームウェアのバージョンが本機より前の製品にはインポートできない場合があります。インポートしたいときは、最新のファームウェアのバージョンにアップデートしてからお使いください。

■ ディスプレイのFボタンに登録できる機能(📖90)

項目	機能
画質設定	ピクチャーモード
	コントラスト
	ブライトネス
	クロマ
	クロマアップ
	シャープネス
	バックライトコントロール
	ガンマ/EOTF
	HDR
	HDRレンジ
	ブースト(コントラスト)
	OPTION
	HDR/SDR比較表示
	ゲイン
	バイアス
	xy
ピクチャーモード	SMPTE-C
	EBU
	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	User 1 (2020 PQ)
	User 2 (2020 HLG)
	User 3 (DCI PQ)
	User 4 ~ User 7
	CINEMA EOS SYSTEM
	ACESproxy (Ver. 1.0.1)
	CDL/User LUT
User LUT	
CDL RGB	
CDL R	
CDL G	
CDL B	
CDL SOP/SAT	
CDL Slope	
CDL Offset	
CDL Power	
CDL Saturation	
CDL/User LUTバイパス	
CDLエクスポート/インポート	

項目	機能
チャンネル設定	チャンネルアップ ¹
	チャンネルダウン ¹
	入力信号選択
	音声端子
	1入力 Dual View
	CH1 ~ CH20
ディスプレイ設定	スクリーンスケールリング
	アナモフィック
	スケールリング法
	ズームプリセット
	ズーム 1
	ズーム 2
	ズーム 3
フレームホールド	
オーディオ設定	SDIグループ
	CH L
	CH R
	音量 音声切換
マーカー設定 ²	マーカープリセット
	マーカー1
	マーカー2
	マーカー3
	マーカー4
	マーカー5
	アスペクトマーカー
	セーフティゾーンマーカー1
	セーフティゾーンマーカー2
	エリアマーカー
センターマーカー	
グリッドマーカー	
ファンクション設定	タイムコード
	WFM/VEC
	波形モニター
	波形モニター信号選択
	ベクトルスコープ
	オーディオレベルメーター
	ピクセル値/フレーム輝度
	ピクセル値チェック
	フレーム輝度モニター
	キャプチャー
カメラインフォメーション	

項目	機能
ピクチャーファンクション設定	ピーキング
	ピーキング1
	ピーキング2
	フォルスカラー
	フォルスカラー1
	フォルスカラー2
	オーバーレンジ
	2020 色域外表示
	モノクロ
	ブルーオンリー
	レッドオフ
	グリーンオフ
	ブルーオフ
	比較表示
システム設定	OSD一時消去 ³
	ファン停止

¹ [チャンネルアップ/ダウン]でチャンネルを切り換える場合、[入力設定] (📖64)が[-]のチャンネルはスキップします。

² Fボタンで[マーカ-]関連の設定を切り換えると、現在選択されている[マーカ-プリセット]の[表示]に反映されます。

³ [OSD一時消去]は、すべてのOSDを非表示にする機能です。[オン]を選択すると、OSDと[セパレーター]が非表示となりますが、メニューの操作はできません。

シグナルインフォメーション

信号の情報を表示します。[入力信号選択]が[Quad Input]のときは、信号全体と各入力の情報が表示できます。メニュー右上のガイドに従ってジョグダイヤルで選択してください。画面に表示されていない場合でも信号情報が取得されている場合には、その内容をグレーアウト表示します。

SDI信号		HDMI信号	
項目	表示例	項目	表示例
チャンネル	CH1	チャンネル	CH4
入力設定	6G/3G/HD-SDI (3G Level A)	入力設定	HDMI
入力信号選択	Quad Input	フォーマット	オート
Image Division	オート	解像度	4096x2160
フォーマット	オート	Picture Rate, I/P/PsF	60.00P
解像度	4096x2160	Pixel Encoding, Color Depth	4:2:2 YCbCr 10-bit
Picture Rate, I/P/PsF*	24.00P	Matrix	ITU-R BT.709
SDI Payload ID	89 C3 46 01	Range	フル
Video Standard	3G-SDI	EOTF	SMPTE ST 2084 (PQ)
Sampling Structure	4:4:4:4 GBRA	Max Luminance (Peak/Avg.)	1000 / 500 cd/m ²
Bit Depth	10-bit	Display Luminance (Max/Min)	1000 - 0.005 cd/m ²
Picture Rate	24.00	White Point	x=0.313, y=0.329
Scanning Method	Progressive/Progressive (Transport/Picture)	Primary Color Red	x=0.640, y=0.330
Link Number	Single/Link_1	Primary Color Green	x=0.300, y=0.600
Colorimetry	UHD	Primary Color Blue	x=0.150, y=0.060

* グレーアウト表示しているときに、[24.00P *]のように[Picture Rate]の精度が低いことを示す[*]が表示される場合があります。

システムインフォメーション

本機のステータスやネットワーク情報を表示します。

項目	表示例
ディスプレイ	DP-V1710
シリアルNo.	000000000000
ファームウェア/ライセンスVer.	1.2
使用時間*	5 h
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF
Wi-Fi IPアドレス	192.168.0.1
Wi-Fi サブネットマスク	255.255.255.0

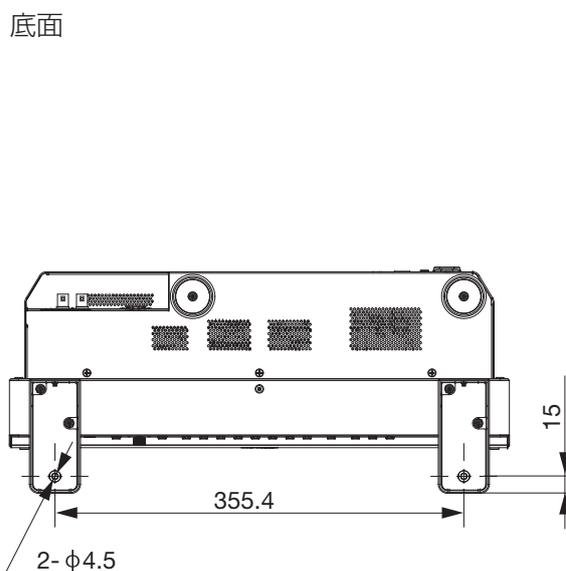
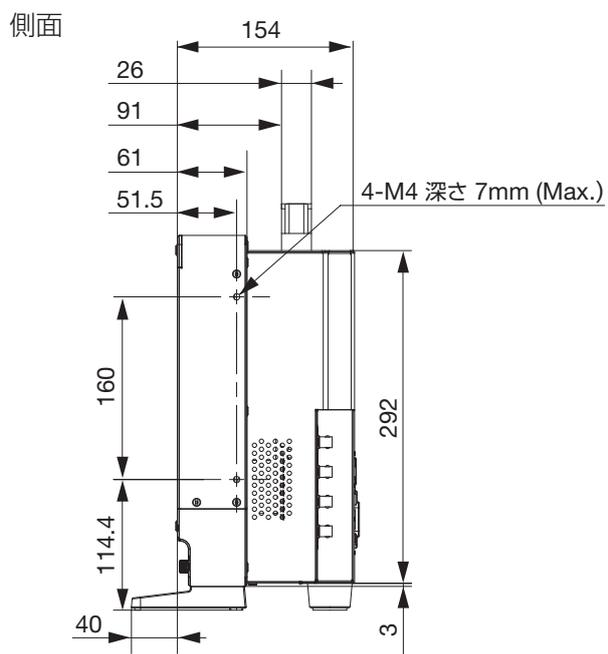
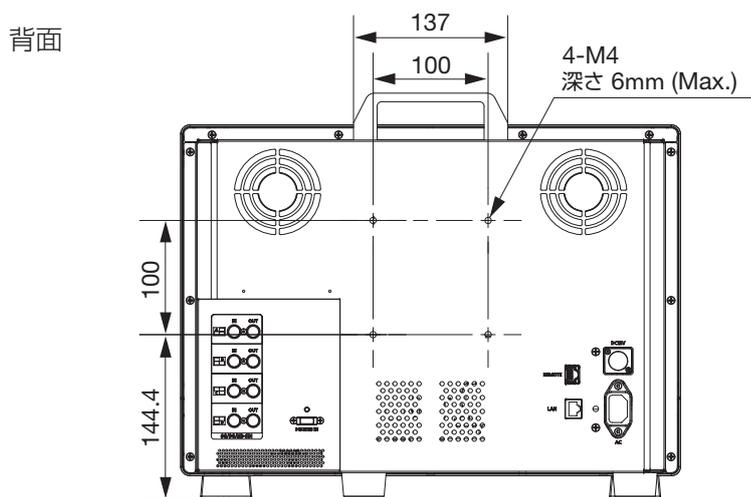
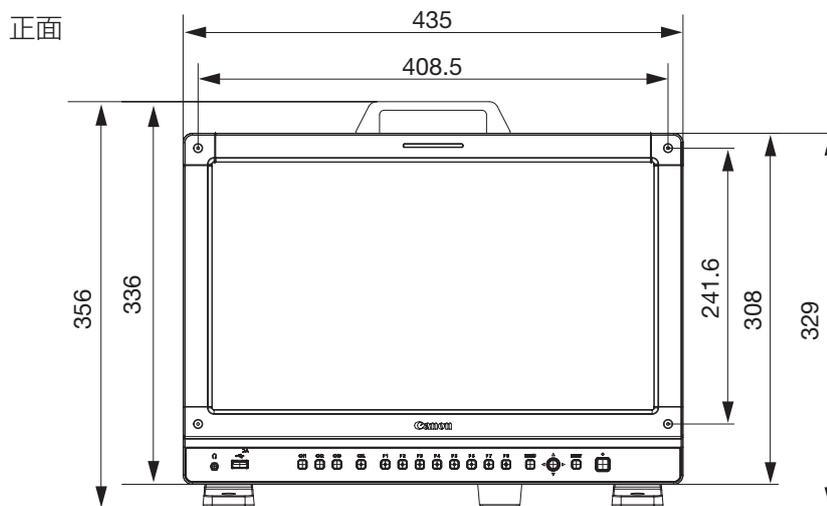
* 工場出荷時の検査などにより、購入時の使用時間は[0]ではない場合があります。

主な仕様／性能

パネル		
パネルタイプ	IPS液晶パネル	
画面サイズ	17.3型(43.8 cm)	
アスペクト比	16 : 9	
解像度	3840 x 2160(8.3メガピクセル)	
有効表示領域	約381.9 x 214.8 mm	
ピクセルピッチ	99 μ m/255 ppi	
画質		
輝度(標準)	100 cd/m ²	
視野角(上、下、左、右)	89°(コントラスト比 10 : 1以上)	
表面処理	アンチグレア	
一般		
バックライト タイプ	直下型LED	
電源	定格電圧 : AC 100 ~ 240 V 定格周波数 : 50/60 Hz DC 12 V 最大10 A、XLR端子	
消費電力	最大負荷時(経年変化に伴う輝度変化を含む) : 約140 W 工場出荷状態 : 約85 W	
環境条件	使用	温湿度 : 0 ~ 40 °C (20 ~ 85 % RH 結露がないこと) 推奨温度 15 ~ 30 °C 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
	保存／輸送	温湿度 : -20 ~ 40 °C (20 ~ 85 % RH 結露がないこと) 41 ~ 60 °C (20 ~ 30 % RH 結露がないこと) 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約435×356×194 mm (スタンド・ハンドル含む)、約435×308×154 mm(本体のみ、突起部除く)	
質量	約8 kg	
取り付け穴ピッチ	VESA規格 100×100 mm	

インターフェース		
入力	V1710 6G/3G/HD/SD-SDI	4個(1系統) BNC (75 Ω) レセプタクル端子 V1711 12G-SDI : SMPTE 2082準拠 6G-SDI : SMPTE 2081準拠 3G-SDI : SMPTE 2048-2/274M/296/372/425-5/425-3/425-1/ 428-19/428-9準拠 HD-SDI : SMPTE 2048-2/274M/292-1/296/428-19/428-9準拠 SD-SDI : SMPTE 259M準拠
	V1711 12G/6G/3G/HD/ SD-SDI	
	HDMI	1個(1系統) Type A端子 コンテンツ保護規格 : HDCP 2.2
出力	V1710 6G/3G/HD-SDI	4個(パススルー1系統)
	V1711 12G/6G/3G/HD-SDI	
	ヘッドホン	1個 ステレオミニジャック、適合インピーダンス 32 Ω~64 Ω
その他	USB	1個 USB A レセプタクル端子 Universal Serial Bus Specification Revision 2.0準拠LS (Low Speed)/FS (Full Speed)/HS (High Speed)モード対応 Enhanced Host Controller Interface Specification for Universal Serial Bus Revision 1.0準拠
	LAN	1個 RJ-45端子 IEEE802.3 10BASE-TX / IEEE802.3u 100BASE-TX準拠
	REMOTE	1個 RJ-45端子、GPI 8ピン

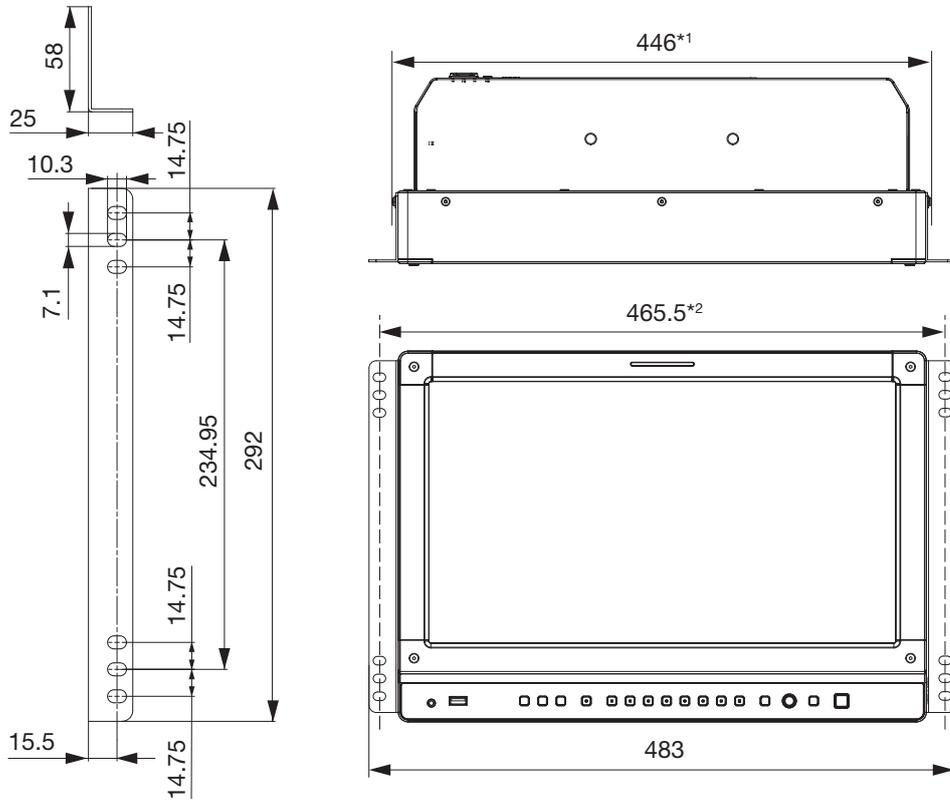
外形寸法



単位：mm

■ラックマウント金具RB-02(別売)

ディスプレイ本体にラックマウント金具RB-02を
取り付けたとき



*1 外寸(取り付けネジとラックマウント金具の厚みを含む)

*2 取り付けピッチ

単位：mm

対応信号フォーマット

SDI

* 音声信号に対応していないフォーマットです。

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
SD-SDI	720x487i 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE-259M
	720x576i 50.00 Hz*			
HD-SDI	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz			
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz			
	1920x1080i 50.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080P 25.00 Hz			
	1920x1080PsF 25.00 Hz			
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz			
	2048x1080i 50.00 Hz			
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080P 25.00 Hz			
2048x1080PsF 25.00 Hz				
2048x1080P 23.98/24.00 Hz				
2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz				
3G-SDI (Level A)	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
			10-bit	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
4:2:2 YCbCr	12-bit			
1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit		
		12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
		10-bit		
4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M		
1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
4:2:2 YCbCr	12-bit			
1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit		
		12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
		10-bit		
4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M		
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
4:2:2 YCbCr				
2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格	
3G-SDI (Level A)	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
		4:4:4 X'Y'Z'			
		4:2:2 YCbCr			
		2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
4:2:2 YCbCr		12-bit			
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit			
	4:2:2 YCbCr	12-bit			
2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit			
	4:2:2 YCbCr	12-bit			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 25.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
4:2:2 YCbCr		10-bit		
1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:2:2 YCbCr	12-bit/10-bit		
2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
4:2:2 YCbCr		12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
Dual Link 3G-SDI (Level A)	1920x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
4:4:4 X'Y'Z'		12-bit		
2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
Dual Link 3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	2048x1080P 50 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
4:4:4 X'Y'Z'		12-bit		
2048x1080P 47.95/48 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Dual Link 3G-SDI Square Division (Level B)	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160PsF 29.97/30 Hz			
	3840x2160P 25 Hz			
	3840x2160PsF 25 Hz			
	3840x2160P 23.98/24 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24 Hz			
	4096x2160P 29.97/30 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30 Hz			
	4096x2160P 25 Hz			
	4096x2160PsF 25 Hz			
	4096x2160P 23.98/24 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24 Hz			
Dual Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 25 Hz			
	3840x2160P 23.98/24 Hz			
	4096x2160P 29.97/30 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25 Hz			
	4096x2160P 23.98/24 Hz			
Quad Link HD-SDI	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 50.00 Hz			
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160PsF 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160PsF 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4:2:2 YCbCr			
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4:2:2 YCbCr			
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4:2:2 YCbCr			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4:2:2 YCbCr			
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
12-bit				
4:4:4 YCbCr		12-bit		
4:4:4 YCbCr		10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M	
4:2:2 YCbCr	12-bit			
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
4:2:2 YCbCr				
3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit		
		12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M	
4:2:2 YCbCr	12-bit			
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'			
4:2:2 YCbCr				

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2	
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2	
	4:2:2 YCbCr	12-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level A)	3840x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 274M
	3840x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
4096x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
4:2:2 YCbCr		12-bit		
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 50 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 29.97/30 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
4:4:4 X'Y'Z'		12-bit		
4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit		
4:2:2 YCbCr		12-bit		
4096x2160P 23.98/24 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
6G-SDI	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2081-10
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
Dual Link 6G-SDI Square Division、 2 Sample Interleave	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2081-11
	3840x2160P 50.00 Hz			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
V1711 12G-SDI	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 2082-10
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr		12-bit		
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		
3840x2160P 50.00 Hz				
4096x2160P 47.95/48.00 Hz				
4096x2160P 59.94/60.00 Hz				
4096x2160P 50.00 Hz				
4096x2160P 50.00 Hz				

RAW

信号フォーマット

3840x2160P 59.94 Hz、 50.00 Hz、 29.97 Hz、 25.00 Hz、 24.00 Hz、 23.98 Hz

4096x2160P 59.94 Hz、 50.00 Hz、 29.97 Hz、 25.00 Hz、 24.00 Hz、 23.98 Hz

HDMI

信号フォーマット	カラーフォーマット/カラーデプス
640x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
800x600P 60.00 Hz	
1024x768P 60.00 Hz	
720x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
720x576P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
1280x720P 50.00 Hz	
1920x1080P 59.94/60.00 Hz	
1920x1080i 59.94/60.00 Hz	
1920x1080P 50.00 Hz	
1920x1080i 50.00 Hz	
1920x1080P 29.97/30.00 Hz	
1920x1080P 25.00 Hz	
1920x1080P 23.98/24.00 Hz	
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	
2048x1080P 50.00 Hz	
2048x1080P 29.97/30.00 Hz	
2048x1080P 25.00 Hz	
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
3840x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit 4:2:2 YCbCr 12-bit 4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
4096x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit 4:2:2 YCbCr 12-bit 4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit

画像・フレーム表示

SDI

	信号システム		表示のしかた	
720×487	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
720×576	50.00	i	50.00	P
1280x720	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

信号システム			表示のしかた	
3840x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

* : フレーム2度描き

HDMI

信号システム			表示のしかた	
640x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
800x600	60.00	P	60.00	P
720x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
720x576	50.00	P	50.00	P
1024x768	60.00	P	60.00	P
1280x720	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1280x720	50.00	P	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	P	50.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
1920x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
1920x1080	25.00	P	50.00	P*
1920x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
2048x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	P	50.00	P
2048x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
2048x1080	25.00	P	50.00	P*
2048x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
3840x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
3840x2160	50.00	P	50.00	P
3840x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
3840x2160	25.00	P	50.00	P*
3840x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
4096x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	P	50.00	P
4096x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
4096x2160	25.00	P	50.00	P*
4096x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*

* : フレーム2度描き

エラーメッセージ

	メッセージ	説明と対処法
キャリブレーション	外付けセンサーの初期化に失敗しました。	CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
	エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。	<ul style="list-style-type: none"> 外付けセンサーの設置や接続を確認し、キャリブレーションをし直してください(☞32)。 CA-310、CA-210のマトリクス校正を行ってください(☞32)。
	キャリブレーションを終了しました。 (目標輝度より低い輝度で設定しました)	キャリブレーションの[ルミナンス]を再設定してください(☞57)。
	外付けセンサーの検出に失敗しました。 センサーの接続を確認してください。	外付けセンサーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
ネットワーク	通信エラーが発生しました。	IPアドレスが重複している、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
	IPアドレスが不正です。	正しいIPアドレスを入力してください。
	サブネットマスクが不正です。	正しいサブネットマスクを入力してください。
各種設定、 CDLのエキスポート	USBメモリーの空き容量が不足しています。	別のUSBメモリーを接続するか、メモリー内の情報を削除してください。
	ファイルの書き込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
LUT、各種設定、 CDLのインポート	(LUTインポート時)異なるLUTタイプのファイルです。 (CDLインポート時)異なるファイル形式です。	正しいファイル形式を選択してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	インポートに失敗しました。	インポートするファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	インポートファイルがありません。	USBメモリー、または[User 1]～[User 3]にインポートファイルが入っているかをご確認ください。

	メッセージ	説明と対処法
スクリーン キャプチャー	キャプチャーに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	無効な映像信号です。	無信号や、非対応の信号が入力されているなど、映像が表示されていない画面をキャプチャーしています。信号を確認後に再入力し、キャプチャーしてください。
	コピープロテクトされています。	キャプチャーしようとした信号は、HDMIのコピー保護規格HDCP 2.2でプロテクトされている可能性があります。この場合、キャプチャーはできません。HDMI信号をご確認ください。
	キャプチャーファイルの再生に失敗しました。	USBメモリーまたはファイルに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーまたはファイルをご確認ください。
	キャプチャーファイルがありません。	USBメモリーにキャプチャーファイルが入っているかをご確認ください。
ハードウェア	バックライトの異常を検出しました。	電源コードをいったん抜いてから再度接続し、電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合には、お客様相談センターにご相談ください。
	ファンの異常を検出しました。	
	パネルの異常を検出しました。	
	I/F部の異常を検出しました。	
	システムエラーを検出しました。	
	温度が高いため、ファンを停止できません。	本体内部の温度が高くなっています。電源を切ってファンが止まるまでしばらくお待ちください。
入力信号	無信号	映像信号が入力されていないときに表示されます。
	非対応信号	非対応の映像信号が入力されています。対応信号フォーマット(103)をご確認ください。
操作	操作は無効です。	操作ができません。各設定項目をご確認ください。
	プロテクト設定中です。	OSDメニューを操作する場合には、[プロテクト]にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押ししてください。
	CDL/User LUTバイパス設定中です。	[CDL/User LUTバイパス]が[オン]のときは、[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]の調整はできません。
	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力してください。
	ライセンスがありません。	ライセンスファイルが適用されていないため、本機能を使用できません。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。
USBメモリー	USBメモリーが接続されていません。	USBメモリーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	非対応USBメモリーです。	USBメモリーのフォーマット種別やセキュリティがかかっていないかをご確認ください。

メッセージ		説明と対処法
Wi-Fiアダプター	Wi-Fiアダプターが接続されていません。	Wi-Fiアダプターを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	Wi-Fiアクセスポイントに接続できませんでした。	パスワードが異なる、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
ファームウェアのアップデート	アップデートファイルがありません。	ファームウェアのアップデートファイルがUSBメモリーなどに保存されていません。
	アップデートファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	ファームウェア/ライセンスはアップデート済みです。	本機でのアップデートが適用されているファイルです。
DC電源	DC入力電圧が低下しています。	バッテリーをご使用の場合、バッテリーの残量が少なくなっています。 その他の電源をご使用の場合は、DC電源の入力電圧をご確認ください。
	DC入力電圧が低下しています。電源オフします。	DC電源の入力電圧が動作できない状態まで低下したため、電源を切りました。 バッテリーをご使用の場合、残量がなくなっている可能性があります。充電されたバッテリーを接続し、本機の電源を入れてください。 その他の電源をご使用の場合は、DC電源の入力電圧をご確認ください。
	DC入力電圧が異常です。電源オフします。	DC電源の入力電圧が動作可能範囲を超えたため、電源を切りました。DC電源の入力電圧をご確認ください。

こんなときは

124

症状	原因と対処	📖
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> 🔌ボタンを押してください。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> AC電源またはDC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 	24
	<ul style="list-style-type: none"> [電源ランプ 明るさ]が[オフ]になっている可能性があります。[オフ]以外に設定してご確認ください。 	93
画面が表示されない	電源ランプが点灯しない場合 <ul style="list-style-type: none"> 🔌ボタンを押してください。 AC電源またはDC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 	12 24
	電源ランプが橙色に点灯している場合 <ul style="list-style-type: none"> 🔌ボタンを押してください。 	24
	電源ランプが橙色に点滅している場合 <ul style="list-style-type: none"> 点滅が3秒間に1回るとき：お客様相談センターにご相談ください。 点滅が3秒間に2回るとき： <ul style="list-style-type: none"> 🔌ボタンで電源を入れてください。 使用環境によっては、本体の温度が予想以上に高く(低く)なる場合があります。環境条件をご確認ください。 また、直射日光が当たらないようにしてください。 それでも電源が入らない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	24 99
DC電源使用時に電源が急に切れる	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のDC電源の機種によっては、しきい値になると出力電圧が急激に低下したり、出力電圧を「0」にすることがあります。その場合、入力電圧の低下を示すメッセージは表示時間が短くなる、または表示されません。充電されたDC電源またはAC電源を接続してください。 	—
希望の画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号に合わせて、[チャンネル設定]の各項目を適切に設定してください。 	64
3G-SDI RAW信号の映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> CINEMA EOS SYSTEMカメラの機種により、3G-SDI RAW信号の映像を表示できない場合があります。対応製品については、キヤノンのホームページで確認ください。 	—
Quad Input/Dual Inputのときに、表示されないエリアがある	<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない可能性があります。信号をご確認ください。 	22
	<ul style="list-style-type: none"> 端子ごとに異なる解像度、周波数の信号が入力されている可能性があります。信号をご確認ください。 	98
映像が遅れて見える	[バックライトフラッシュ低減]の設定が[オン]の場合、シーンによっては、映像が遅れて見えることがあります。その場合は、[オフ]にしてください。	94
映像が一時的に静止する	Webブラウザーを使用して[Capture]を実行している場合、画面が静止することがあります。[Capture]を終了する、または[Web] ➡ [コントロール]を[オフ]にすると、通常の画面に戻ります。	43

症状	原因と対処	
画面が明るすぎる／暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> OSDメニューの[コントラスト]を調整してください。 OPTION OSDメニューの[ブースト(コントラスト)]の設定を変更してください。 液晶ディスプレイのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになった場合には、お客様相談センターにご相談ください。 	49 55
焼き付きが現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをお勧めします。 	—
画面に点灯しないドットがある、または赤、青、緑、白のドットがある	<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。 	—
画面上に干渉縞が見られる／液晶パネルを押したあとが消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してください。症状が解消されることがあります。 	—
OSDメニューが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> [設定プロテクト]が設定されていないことをご確認ください。 	93
[アスペクトマーカ―]、[セーフティゾーンマーカ―]、または[エリアマーカ―]が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 無信号、非対応信号、または[入力設定]が設定されていないチャンネルを選択している可能性があります。信号をご確認ください。 	98
[カメラリンク]の[ファン]を[オン]、または[ファン停止]を[オン]にしているのに、ファンが回転を始める	<ul style="list-style-type: none"> AC電源使用時の停止時間は約1分です。長く停止させたい場合は、DC電源をご使用ください。 本体内部の温度を下げるためにファンを回転させます。内部温度が下がると、再度、ファン停止が可能になります。 [カメラリンク]の[ファン]を[オン]にしているとき、停止時間はカメラと一致しない場合があります。 	83 93
[カメラリンク]の[ファン]を[オン]、または[ファン停止]を[オン]にしたのに、ファンが停止しない	<ul style="list-style-type: none"> 本体内部の温度が高い場合、ファンは停止しません。内部温度が下がってから、設定してください。 高温下など周囲の環境によっては、ファンが停止しない場合があります。使用温度(📖99)以下でご使用ください。 	83 93
ファンの音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 本体内部の温度が高くなったとき、[ファンコントロール]を[オン]にしていると、内部温度を下げるため、ファンが通常より速く回転します。[ファンコントロール]を[オフ]にすると、通常の回転になります。 高輝度なコンテンツを表示し続けると、推奨使用温度の範囲内であっても、本体内部の温度が高くなり、内部の温度を下げるために、ファンが通常よりも速く回転します。本機の輝度を下げて使用することをお勧めします。 	93
[設定プロテクト]のパスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> 本機がスタンバイ状態のとき、ジョグダイヤルと🔍ボタンを押してください。パスワードが未設定状態にリセットされます。 	12

症状	原因と対処	📖
電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態で起動しない	<ul style="list-style-type: none"> OSDメニューの[パワーオン設定]をご確認ください。[ラストメモリー]に設定すると、前回電源を切ったときの状態で起動します。 	95
[ピクチャーモード]のUserモードの画質がプリセットの画質と異なる	<ul style="list-style-type: none"> [ピクチャーモードコピー]でプリセットモードを選択し、設定内容をコピーしてください。 	58
左右の画面の画質が異なる	<ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード]の設定をご確認ください。 	30
画質が自動で変更される		67
同一の映像が2画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➤ [1入力 Dual View]の設定をご確認ください。 	68

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

127

保証書

本機には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

ディスプレイのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種への本機交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

修理について

128 修理に出すまえに

ご自身で変更した各種設定については、修理の前に必ずUSBメモリーにバックアップしてください(094)。なお、修理によって設定がリセットされた場合の補償についてはご容赦ください。

修理のお問い合わせは

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006 (全国共通)

平日：9:00～17:00

土日祝日と年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送)やお届けについてご案内いたします。

本機で使用しているソフトウェアについて

本機に組み込まれているソフトウェアには、当社または第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

129

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの中には、GNU General Public License v2(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License v2.1(以下、LGPL)またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。

本機に組み込まれているフリーソフトウェアモジュール

- linux kernel
- SquashFS
- avahi-autoipd
- Newlib(libc)
- openssl
- busybox
- FUSE
- libxml
- Newlib(libm)
- libnl
- glibc
- libfuse
- zlib
- wireless_tools
- RealTek_WiFi_linux driver
- JFFS2
- libupnp
- libpng
- wpa_supplicant

フリーソフトウェアのソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL、およびその他のライセンス契約の確認方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアモジュールには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そのライセンス表示を、以下に提示します。

■libupnp License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■libxml License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

■Newlib(libc) License

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1991, 2000 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■Newlib(libm) License

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

■openssl

Copyright (C) 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■wpa_supplicant

Copyright (C) 2002-2016, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors

All Rights Reserved.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

番号

1入力Dual View	68
2 Sample Interleave	65
3G-SDI RAW	64
200%(スクリーンスケールリング)	69
2020 ガマットマッピング	56
2020 コンスタントルミナンス	56
2020 色域外表示	88

A

ACESproxy	49
Adobe RGB	49

C

Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	51
CDL/User LUT	54
CDL/User LUTバイパス	54
CDLエクスポート/インポート	35
CINEMA EOS SYSTEM(ピクチャーモード)	49
Cinema Gamut to 709	50
Cinema Gamut to 2020	50
Cinema Gamut to DCI	50

D

DCI-P3	49
DCI-P3+ to 709	50
DCI-P3+ to DCI	50
Dual Input	64
Dual Link 3G-SDI	65

E

EBU	49
-----	----

G

Gamma LUT	51
Gamut LUT	50

H

HDMI	13、23、94
HDMIリンク	57
HDR/SDR比較表示	57

HDRレンジ	52、87
Hybrid Log-Gamma	51
Hybrid Log-Gamma System	57

I

Image Division	65
Input Transform	53
I/PsF	70
I/P変換	71
ITU-R BT.709	49
ITU-R BT.1886	51
ITU-R BT.2020	49

L

LAN	13
LTC	78
LUTインポート	33、55

M

MACアドレス	98
Marker/TC/WFM/VEC端子	66
Multi View (Dual/Quad)	65

N

Native Input Resolution(スクリーンスケールリング)	69
---------------------------------------	----

O

Offset	54
OSD一時消去	97
OSD設定	92
OSDメニュー	26、45
Output Transform	53
Output Transform Surround	53

P

PLUGE(テストパターン)	81
Power	54
Preset Gamut	50
Preset Log	51
PsF	71

Q			
Quad Input	64		
R			
Ramp(テストパターン)	81		
S			
Saturation	54		
SDI	13、22		
Single Input	64		
Slope	54		
SMPTE-C	49		
Square Division	65		
U			
USB	12		
User 1-7	49		
User LUT	54		
V			
VITC	78		
W			
Web	43、90		
Wi-Fi	42、90		
Y			
YCbCr カラーマトリクス	56		
ア			
アスペクトマーカ	73		
アナモフィック	69、83		
色温度	50		
インターナルシンク	66		
インモニターディスプレイ	91		
エクスポート/インポート	33、94		
エリアマーカ	75		
エリアマーカ(カメラリンク)	83		
オーディオ設定	72		
オーディオレベルメーター	80		
オーバーレンジ	88		
音声端子	66		
カ			
画質設定	49		
画質設定アンカー	29、58		
画質設定リセット	58		
画質優先	71		
カスタム(xy)(色温度)	50		
カメラインフォメーション	83		
カメラリンク	82		
カラーガマット	50		
カラーバー(テストパターン)	81		
カラーレンジ	53、94		
ガンマ/EOTF	51		
キャリブレーション	32、57		
グリーンオフ	88		
グリッドマーカ	76		
グレー(テストパターン)	81		
グローバルディミング	49		
クロマ	49		
ゲインR/G/B	50		
言語	90		
互換設定	94		
コントラスト	49		
サ			
サブネットマスク	90		
シェプトレース	70		
シグナルインフォメーション	98		
システムインフォメーション	98		
システム設定	90		
自動画質設定(CINEMA EOS/ARRI/VARICAM)	82		
シャープネス	49		
詳細設定			
CDL	54		
画質設定	55		
使用時間	98		
シリアルNo.	98		
ズーム	70		

スクリーンキャプチャー	82	パワーオン設定	95
スクリーンスケールリング	69	ピーキング	87
スケールリング法	70	比較表示	89
セーフティゾーンマーカー1、2	74	ピクセル値チェック	81
設定プロテクト	93	ピクチャーファンクション設定	87
セパレーター	68	ピクチャーモード	49、67
セレクトチャンネル	64	ピクチャーモードコピー	58
全設定リセット	95	ファームウェア/ライセンスVer.	98
センターマーカー	76	ファームウェア/ライセンスアップデート	94
速度優先	71	ファン(カメラリンク)	83
タ		ファンクション設定	78
タイムコード	78	ファンクション/チャンネルボタン	90
タリー(カメラリンク)	83	ファンクションボタンガイド	92
タリーランプ	12	ファン設定	93
チャンネル設定	64	フィルムケイデンス	71
チャンネル名	36、66	ブースト(コントラスト) OPTION	55
ディスプレイ設定	69	フォーマット	65
ディスプレイチャンネル	90	フォルスカラー	87
ディスプレイファンクション	90	ブライツネス	49
ディスプレイ名	36、92	ブラック(テストパターン)	81
テストパターン	81	ブルーオフ	88
電源ランプ 明るさ	93	ブルーオンリー	88
電源ランプ/本体ボタンLED設定	93	フレーム輝度モニター	81
ナ		フレームホールド	70
ニアレストネイバー	70	ベクトルスコープ	80
日時	35、90	ホワイト(テストパターン)	81
入力信号選択	64	本体ボタン 点灯設定	93
入力設定	64	本体ボタン名 点灯時間	93
ネットワーク	90	マ	
ネットワーク/IMD/リモート(GPI)設定	90	マーカー設定	73
ハ		マーカープリセット	73
バイアスR/G/B	50	モノクロ	88
バイキュービック	70	ラ	
波形モニター	78	リモート(GPI)	92
パスワード	90、93	レッドオフ	88
バックライトコントロール	49、94	ローカルディミング	49
バナー表示	92		



製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006(全国共通)

平日：9:00～17:00

※土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用いただけない方は、03-5428-1208にお問い合わせください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

キヤノン 動画ディスプレイホームページ

動画ディスプレイホームページを開設しています。

最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

キヤノン 動画ディスプレイ製品情報

canon.jp/v-display

キヤノン サポートページ

canon.jp/support

■保証書は必ず「購入店・購入日」などの記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は、2018年5月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の情報および説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6